

※電子申請での意見については、原文ママ掲載しております。

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
1	電子申請	青葉区	72	13ページ なぜ高齢者の計画なのにジュニアという言葉が出てくるのか。 ジュニアとは年少者や年下などの意味だろう。市民を蔑む記載を恥ずべき。	計画全般
2	メール			中間案には、仙台市としてSDGs（持続可能な開発目標）に取り組む目的や掲げる施策の方向性が十分に記載されていません。施策の方向性と具体的な取り組みについてSDGsとの関係をわかりやすく明示し、市民がより理解できるよう記載の工夫を求めます。	計画全般
3	メール			中間案には「孤立死」についての言及が見当たりません。「孤立死」する高齢者が増加しつつある中、社会保障としてあるべきセーフティネットが構築されることが必要です。用語解説を含め中間案の必要箇所に社会的孤立死に関する記述を加えてください。一人でも悲惨な「孤立死」に至ることのないよう、計画にしっかりと位置づけ取り組むべきです。	計画全般
4	メール			中間案には、仙台市としてSDGs（持続可能な開発目標）に取り組む目的や掲げる施策の方向性が十分に記載されていません。施策の方向性と具体的な取り組みについてSDGsとの関係をわかりやすく明示し、市民がより理解できるよう記載の工夫を求めます。	計画全般
5	メール			中間案には「孤立死」についての言及が見当たりません。「孤立死」する高齢者が増加しつつある中、社会保障としてあるべきセーフティネットが構築されることが必要です。用語解説を含め中間案の必要箇所に社会的孤立死に関する記述を加えてください。一人でも悲惨な「孤立死」に至ることのないよう、計画にしっかりと位置づけ取り組むべきです。	計画全般
6	郵送			中間案には「孤立死」についての言及が見当たりません。用語解説を含め中間案の必要箇所に社会的孤立死に関する記述を加えてください。	計画全般
7	電子申請	太白区	17	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仙台市の高齢者保健福祉計画中間案は、高齢者の意見や要望を十分に反映しておらず、もっと積極的にコミュニケーションを図るべきです。 2. 介護保険事業計画の中で、介護サービスの提供拠点やアクセスの向上に関する計画が不足しています。 3. 高齢者の自立支援に焦点を当てるべきであり、介護予防や健康促進に対する戦略が不十分です。 4. 介護職の労働環境について触れられていないため、人材不足や定着率の低さに対処する施策が必要で 5. ICT技術の活用が不十分であり、デジタル化によるサービス向上や情報の透明性が欠如しています。 6. 地域連携が強化されるべきですが、そのための具体的な提案や戦略が不足しています。 7. 介護保険料の引き上げが議論されている中、その背景や適正な説明が不足しています。 8. 障がい者や他の弱者層に対する支援が十分でなく、包括的なアプローチが欠如しています。 9. 高齢者の住まいに関する具体的な提案が不足しており、住環境の整備が不十分です。 10. 介護予防において、地域の公共施設や福祉団体との連携が十分に計画されていません。 11. 被介護者やその家族へのサポートが不十分であり、相談体制の改善が求められます。 12. 介護サービスの多様性が不足しており、利用者の選択肢を増やすべきです。 13. 介護に関する啓発活動が不足しており、市民全体の理解が得られていないと感じます。 14. 介護職のスキル向上に対するトレーニングプログラムが不足しており、専門性の向上が必要です。 15. 介護保険制度の運営において透明性が不足しており、情報提供の向上が求められます。 16. 介護予防における健康診断や定期的なヘルスチェックの実施が計画に含まれていません。 17. 高齢者の地域社会への統合が不十分であり、孤立感の解消が必要です。 18. 介護職の専門性を活かした相談窓口や教育機関の整備が必要です。 19. 財政面での透明性が不足しており、予算の使途や効果の評価に対する説明が欠如しています。 20. 市民参加の機会が不足しており、市民が計画に対して意見を述べる場を広げるべきです。 	計画全般
8	電子申請			計画名のなぜ高齢者保健福祉計画が先で、介護保険事業計画があとなのか見下されている気分だ	計画全般
9	電子申請	青葉区	40	行政が仕事していない責任逃れを感じる 市民に負担を求めるだけでなく、職員も負担をするべき	計画全般
10	電子申請	宮城野区		横文字カタカナを減らしてほしい。 フレイルとかアセスメント、エレクトリックなど意味のわからない言葉ばかり。 外国人から見ても分かりづらいだろう	計画全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
11	電子申請	青葉区		<p>### 高齢者保険福祉の必要性と課題</p> <p>日本は急速な少子高齢化社会を迎え、高齢者の保険福祉に対するニーズが増大しています。高齢者保険福祉は、社会の安定と高齢者の尊厳な生活を支えるために極めて重要です。しかし、その中には様々な課題も存在し、これに対処するためには綿密な計画と包括的なアプローチが求められます。</p> <p>#### 1. **高齢者の経済的安定と雇用機会の確保**</p> <p>高齢者は社会において豊富な経験や知識を有していますが、その一方で経済的な不安や雇用の機会不足が懸念されます。高齢者の雇用機会を増やすためには、企業との連携や高齢者向けのスキルアッププログラムの提供が必要です。さらに、年金制度の充実や経済的サポートの仕組みを整え、高齢者が安心して生活できる経済的基盤を築くことが求められます。</p> <p>#### 2. **医療・介護サービスの充実**</p> <p>高齢になると健康面での不安が増加し、医療・介護サービスの需要が高まります。そのため、適切で質の高い医療・介護サービスへのアクセスを確保することが不可欠です。地域社会における医療・介護インフラの整備や、予防医学への投資が、高齢者の健康を維持し、医療負担を軽減する一助となります。</p> <p>#### 3. **地域社会との結びつきと孤立の防止**</p> <p>高齢者が地域社会との結びつきを維持し、孤立を防ぐことは心身の健康に直結します。地域におけるコミュニティセンターやイベントの提供、ボランティア活動への参加促進が、高齢者の社会参加を支援します。また、地域住民とのコミュニケーションを深め、高齢者が尊重される社会を築くことが重要です。</p> <p>#### 4. **認知症への適切なサポート**</p> <p>高齢者の中で認知症に悩む方が増えています。認知症の早期発見と適切なサポートが必要です。これには地域社会における啓発活動や、ケアマネジャーとの連携による適切なケアプランの提供が必要です。また、認知症患者とその家族に対する心理的なサポートも欠かせません。</p> <p>#### 5. **テクノロジーの活用とデジタルリテラシーの向上**</p> <p>高齢者の間でもテクノロジーの活用が進む中、デジタルリテラシーの向上が求められます。これには高齢者向けの教育プログラムやデジタルサービスの提供が必要です。また、テクノロジーを介したコミュニケーション手段が、高齢者の孤立感を軽減する助けとなります。</p> <p>#### 6. **予防と健康づくりの重要性**</p> <p>高齢者の健康状態を維持するためには、予防と健康づくりが不可欠です。運動プログラムや栄養サポート、健康診断の充実が、高齢者の健康寿命を延ばす要素となります。</p> <p>### 総括</p> <p>高齢者保険福祉は、社会のあり方や価値観の変革と共に進化していく必要があります。これには地域社会との連携や、高齢者自身の声を尊重する仕組みが欠かせません。包括的な支援体制を整備し、高齢者が尊厳ある生活を送り、社会全体が健全なる共生社会を築くために、継続的な改善が求められます。</p>	計画全般
12	電子申請			<p>高齢者の課題は、複雑であるため、その理解と伝達は容易ではありません。これにはいくつかの深刻な問題が含まれており、その性格上、対策が複雑であることが一層強調されます。</p> <p>まず第一に、高齢者の経済的な不安が根深い問題となっています。厳格な雇用市場において、高齢者が安定した雇用を見つけることはますます難しくなっており、これが将来の経済的不安に繋がる懸念があります。その結果、年金や生活費に頼ることが避けられない事態が広がっています。</p> <p>次に、高齢者の健康状態の不確実性が深刻な問題となっています。慢性的な疾患や医療ニーズが増加する中、医療・介護サービスへのアクセスが制限され、高齢者が必要な医療ケアを受けることがますます難しくなっています。これにより、社会全体が医療の重荷を抱え込む可能性が高まっています。</p> <p>また、高齢者の社会的孤立も深刻な問題です。現代社会の変化により、従来のコミュニティの結びつきが薄れ、高齢者が孤独感を抱えるリスクが増えています。地域社会との結びつきの質を低下させる可能性があります。</p> <p>加えて、テクノロジーの進展が高齢者に与える影響も複雑です。デジタル社会への適応が進む一方で、高齢者の中にはテクノロジーに取り残される人々も多く、これが更なる社会的格差を拡大させています。これらの問題に対処するには、単純なアプローチでは不十分であり、包括的で柔軟性のある対策が求められます。高齢者問題は、経済、医療、社会結びつき、テクノロジーといった多岐にわたり、その解決には複雑な政策や社会の変革が必要です。</p>	計画全般
13	電子申請			女性の意見や視点は計画に反映されるのか	計画全般
14	電子申請	宮城野区	36	最近の高齢者は余裕がなさすぎる。 お手本となるような行動を計画で示していただきたい	計画全般
15	電子申請			<p>基本理念「共に支え合い、生涯自分らしく暮らし続けられる社会の実現」について、自分らしくというのはどういう状況なのか。 支え合うだけでなく、1人で暮らすことの支援も大切なのではないかと 実現させるためにどういう取り組みを行うのか</p>	計画全般
16	電子申請			地域包括ケアシステムとはどういうシステムなのか	計画全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
17	電子申請	青葉区	40	なぜ高齢者は65歳からと定めているのでしょうか。 若くても支援が必要な人はいるし、年齢を重ねても元気な人はいる。 年齢で区切るのではなく一人一人の状態と向き合って欲しい。	計画全般
18	電子申請	青葉区	70	タクシー代が高いので高齢者専用の補助金を使ってください。	計画全般
19	電子申請	太白区		なぜ今後高齢者が増加すると言い切れるのでしょうか。 根拠	計画全般
20	電子申請	若林区	69	<p>高齢者人口増加に伴う2025年問題への総合的な対応の研究発表</p> <p>近年、高齢者人口の急増が社会全体に大きな影響を与えるとされている2025年問題。この課題に適切に対応するためには、包括的かつ継続的な取り組みが必要です。以下に、高齢者人口増加に伴う2025年問題への対応策について探りを行います。</p> <p>1. 人材不足の解消と育成</p> <p>高齢者のケアには専門的なスキルを持った人材が不可欠です。まず、医療・介護従事者の不足を解消するために、賃金の適正化と労働環境の改善が必要です。これにより、これらの職種における働き手が増え、安定的なサービス提供が期待できます。</p> <p>同時に、若者や未経験者への資格取得支援や継続的なトレーニングプログラムの拡充が求められます。これにより、将来的な需要に対応できるスキルを持った人材が増え、高齢者の多様なニーズに対応できるようになります。</p> <p>2. ケアの在り方の見直し</p> <p>従来のケアの在り方を見直し、地域包括ケアの強化が必要です。地域社会での生活支援や診療、予防プログラムの充実が、高齢者が自分らしい生活を送るための基盤となります。地域包括ケアにおいて、家庭や地域との連携を強化することで、高齢者の健康を維持し、医療・介護の負担を軽減できます。</p> <p>3. テクノロジーの活用</p> <p>テクノロジーの進化を活かし、高齢者の生活をサポートする方法を模索することが重要です。例えば、健康モニタリングシステムやスマートホームテクノロジーの導入により、高齢者の安全性を確保し、自立した生活を促進できます。</p> <p>また、遠隔医療やテレヘルスを活用して医療へのアクセスを向上させることで、高齢者が病院に行く際の負担を軽減できます。これにより、地域全体での医療サービスの均等な提供が期待できます。</p> <p>4. 地域社会との連携の強化</p> <p>高齢者の支援においては、地域社会との連携が不可欠です。地域住民、ボランティア、地方自治体、事業者といった様々なステークホルダーが協力して、地域全体で高齢者のサポート体制を構築することが求められます。</p> <p>地域包括ケアコーディネーターの役割が強化され、個々の高齢者に合わせた適切なサービス提供がなされるよう促進されるべきです。これにより、高齢者が孤立せず、地域で支え合いながら生活できる環境が整います。</p> <p>5. 財政的な戦略の構築</p> <p>2025年問題に対応するためには、財政的な側面も重要です。国や地方自治体は、予防プログラムや地域包括ケアの強化に対する十分な資金を確保する必要があります。また、効果的な予算の使い方や効率的なサービス提供の仕組みを模索し、無駄を削減する戦略が求められます。</p> <p>6. 人権と尊厳の尊重</p> <p>高齢者が尊厳を保ち、人権が尊重される社会を構築することも大切です。高齢者に対する差別や虐待の撲滅とともに、意思決定の尊重やコミュニケーションの充実も必要です。地域社会全体で高齢者への理解を深め、共に支え合う文化を育むことが求められます。</p> <p>7. 教育と啓発活動</p> <p>高齢者問題への理解を深め、予防や早期対応の重要性を広く啓発する活動も重要です。地域住民や関係者に対する教育プログラムやイベントの充実が、高齢者との共生社会の構築に寄与します。</p> <p>8. 地域リーダーシップの醸成</p> <p>地域社会においては、地域リーダーシップの醸成が欠かせません。地域包括ケアの推進においては、地域住民が主体的に参加し、地域の特性に合わせた取り組みを進めることが求められます。地域リーダーの育成やサポートが必要です。</p> <p>9. 未来志向の政策策定</p> <p>最後に、長期的な視点で未来を見据えた政策策定が必要です。高齢者人口増加が続く将来に向けて、変化する社会ニーズに柔軟かつ効果的に対応できるよう、政策の柔軟性や適応性を確保することが重要です。将来のリサーチや予測を元に、持続可能な社会の構築を目指すべきです。</p> <p>総じて、2025年問題への対応には単独の施策ではなく、これらの取り組みを総合的かつ調和的に進めていく必要があります。これにより、地域全体で高齢者が健康で充実した生活を送ることができ、社会全体の持続可能な発展が期待されます。</p>	計画全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
21	電子申請			私が計画素案をよませていただきましたところ、高齢のちの生活がメインの様に見受けられました。しかし、その家庭には同居する家族もおります。特に、引きこもり問題をかかえる家族はとくにシビアなのが現実です。引きこもりの8050問題はシビアです。中には一家心中を試みるほど追い詰められる事もあります。もっとその問題の解決を図ってほしいです。	計画全般
22	電子申請			高齢者の生活を助ける計画を作ってください。 エアコン代やスマートフォン代、家賃やカフェ代など支援が必要なものはたくさんあるので、目を背けないでいただきたい。	計画全般
23	電子申請			高齢障害者の支援は何か行わないのか、補聴器や補助具の購入費などの補助を	計画全般
24	電子申請	宮城野区		車の免許返納の推進はしないのか？ そうすれば地下鉄の利用者も増え車の交通事故が減る。 なぜこのような簡単なこともわからないのか	計画全般
25	電子申請			年金は削られ、コロナ禍で費用はかさむ。これ以上、高令者間の負担を増やすな！！	計画全般
26	電子申請	若林区	69	<ol style="list-style-type: none"> 人材確保と育成 <ul style="list-style-type: none"> 賃金水準の見直しと労働環境の改善を図り、医療・介護スタッフの定着を促進。 若手や未経験者向けの奨学金制度や育成プログラムを充実させ、専門職の魅力向上を図る。 ケアの在り方の見直し <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの拡充と、予防プログラムや生活支援の充実を図る。 地域包括ケアコーディネーターの役割を強化し、患者に合った適切なサービス提供を実現する。 テクノロジーの活用 <ul style="list-style-type: none"> 健康モニタリングシステムやスマートホームテクノロジーの導入を進め、高齢者の自立をサポート。 遠隔医療やテレヘルスの推進により、高齢者の医療へのアクセス向上を図る。 地域社会との連携の強化 <ul style="list-style-type: none"> 地域住民、ボランティア、地方自治体との協働を促進し、地域全体での支援体制を構築。 地域包括ケアコーディネーターが連携を牽引し、高齢者のニーズに即したサービス提供を実現する。 財政的な戦略の構築 <ul style="list-style-type: none"> 予防プログラムや地域包括ケアに十分な資金を確保し、効果的なサービス提供の仕組みを構築。 無駄を削減し、財政的な健全性を保ちながら、高齢者のケアに必要な予算を確保する。 人権と尊厳の尊重 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者への差別や虐待防止のための教育プログラムを充実し、人権意識の向上を促進。 意思決定の尊重やコミュニケーションの向上を目指す研修や啓発活動を展開。 教育と啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者問題への理解を深めるための教育プログラムを学校や地域で展開。 高齢者やその家族向けに、予防や早期対応の大切さを伝える啓発キャンペーンを実施。 地域リーダーシップの醸成 <ul style="list-style-type: none"> 地域住民のリーダーシップを支援するトレーニングプログラムを提供し、地域主体の取り組みを促進。 地域包括ケアにおいて協力的で柔軟なリーダーシップを発揮できる人材を育成。 未来志向の政策策定 <ul style="list-style-type: none"> 将来の高齢者ニーズに適応できる政策の構築。長期的な視点で持続可能な社会を目指す。 将来の課題や変化に対応できるよう、柔軟性のある政策フレームワークを確立する。 <p>これらの施策が総合的に展開され、社会全体で協力し合いながら2025年問題に対応することで、高齢者が豊かな人生を送り、社会全体が持続可能な発展を遂げることが期待されます。</p>	計画全般
27	電子申請	青葉区	56	かかりつけ医がいても、警察より到着が後だと異常死扱いになる場合もある。司法解剖になるとお金もかかり、残された家族の負担が大きい。	計画全般
28	電子申請	泉区	98	再生マンションには、高齢者施設を併設して、近辺地域をも網羅した拠点として高齢者のケアを充実することもできると考えます。同時に集会室や健康施設等を活用して、交流を深め、シニアリーダーや専門のトレーナーによる軽度の運動を取り入れ、健康増進を図ることもできます。	計画全般
29	電子申請			計画の記載は英語ではなく日本語で説明をお願いします。	計画全般
30	電子申請	青葉区	0	この計画と委員会の存在意義は？	計画全般
31	電子申請	青葉区	39	100ページ以上もあるものを誰が読む気になるのか	計画全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
32	電子申請	太白区	89	<p>地域包括ケアシステムの強化と効果的な体制の構築</p> <p>近年、高齢化社会の進展に伴い、地域包括ケアシステムの役割がますます重要性を増しています。これに伴い、効果的な体制を構築し、持続可能かつ包括的なサービスを提供する必要性が高まっています。以下に、地域包括ケアシステムの強化に向けて必要な取り組みや要素を詳しく述べます。</p> <p>1. 人材確保と育成</p> <p>地域包括ケアシステムを強化するためには、十分な人材が不可欠です。まず、医療・介護スタッフの確保策が求められます。これには以下の取り組みが含まれます。</p> <p>まず、専門職の魅力向上が重要です。これには賃金水準の見直しや福利厚生の実質化、キャリアパスの整備が含まれます。高度な専門性を要する医療・介護職においては、これらの要素が人材の採用と定着に大きな影響を与えます。</p> <p>さらに、若手や未経験者に対する育成プログラムの充実が必要です。これには専門学校や大学との連携による実務経験の提供、資格取得のサポートなどが含まれます。地域社会に密着したプログラムや奨学金制度の拡充も、新たな人材を地域に呼び込む一助となります。</p> <p>2. 情報共有と連携の促進</p> <p>地域包括ケアシステムの強化には、異なる機関や関係者との円滑な情報共有と連携が不可欠です。これにはデジタル技術の活用が欠かせません。以下はその詳細です。</p> <p>まず、患者のデジタルカルテの導入が必要です。これにより、患者の情報がオンラインで共有され、医師や看護師、介護士などが迅速かつ正確な情報に基づいてケアを提供できます。セキュリティ対策やプライバシー保護の仕組みも整備し、安心して情報を共有できる環境を整えることが重要です。</p> <p>次に、異なる医療機関や介護施設、地域の連携を促進するプラットフォームの構築が必要です。これはデジタル上のネットワークを通じて、相互のスケジュール調整やケアプランの共有が容易になるものです。地域包括ケアコーディネーターがこれを主導し、患者が適切なサービスを受けられるようサポートします。</p> <p>3. 効果的な資金配分</p> <p>効果的な地域包括ケアシステムを構築するためには、適切な資金配分が不可欠です。これには以下の取り組みが含まれます。</p> <p>まず、地域ごとのニーズに基づいた予算の割り当てが必要です。高齢者の割合や地域の医療・介護インフラの整備度に応じて、公平かつ適切な予算の配分を行います。地域包括ケアの実績や効果に基づいて、効果的なサービス提供に資するプロジェクトに資金を振り向けるメカニズムも必要です。</p> <p>また、予防プログラムや地域住民の健康増進に焦点を当てた投資が求められます。これにより、将来的な医療・介護需要の軽減が期待でき、コストの削減にもつながります。</p> <p>4. 地域差異の解消とアクセシビリティ向上</p> <p>地域包括ケアシステムの強化においては、地域差異の解消とアクセシビリティの向上が不可欠です。以下はその詳細です。</p> <p>まず、地域ごとのニーズ評価を実施し、その結果に基づいて適切な医療・介護リソースを配置する仕組みを構築します。これにより、高齢者が地域で安心して生活できる環境が整い、適切なケアが提供されます。</p> <p>遠隔地域や地方コミュニティにおいては、モバイルクリニックや訪問診療の拡充が求められます。これにより、高齢者や医療ニーズの高い患者が医療機関にアクセスしやすくなります。また、地域包括ケアコーディネーターが地域全体の健康状態をモニタリングし、必要なサービスを的確に提供することが重要です。</p> <p>5. テクノロジーの普及とデジタル格差の解消</p> <p>テクノロジーの活用は、地域包括ケアシステムを効果的に強化するための鍵となります。以下はその詳細です。</p> <p>ますます進化するテクノロジーを積極的に導入し、患者と医療者の間での円滑なコミュニケーションを可能にします。例えば、オンライン診療や遠隔モニタリングシステムを導入し、高齢者が自宅で安心して生活できるように支援します。</p> <p>同時に、デジタル格差の解消が求められます。高齢者やデジタル機器の利用が難しい層に対しては、トレーニングプログラムやサポート体制を整備し、デジタル技術を活用したケアへのアクセスを向上させます。地域包括ケアコーディネーターがデジタルツールの使い方を指導し、必要なサポートを提供します。</p> <p>地域包括ケアシステムを強化し、効果的な体制を構築するには、人材の確保と育成、情報共有と連携の促進、効果的な資金配分、地域差異の解消とアクセシビリティの向上、テクノロジーの普及とデジタル格差の解消が不可欠です。これらの取り組みを総合的に展開し、地域の特性に合わせた柔軟なアプローチを取ることで、地域包括ケアシステムは高い効果を発揮し、地域住民の健康と福祉を支えることができるでしょう。</p> <p>よろしくお願いします。</p>	計画全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
33	電子申請	若林区	69	<p>PDCAサイクルの導入がもたらす高齢者問題へのメリット</p> <p>高齢者問題に対処するためには、PDCAサイクル（Plan-Do-Check-Actサイクル）の導入が重要です。このサイクルは、計画、実行、評価、改善の4つのフェーズを反復的に行い、問題に対処するための効果的な手法です。以下に、PDCAサイクルの導入がもたらす高齢者問題への様々なメリットを詳しく述べます。</p> <p>1. 計画（Plan）フェーズのメリット：</p> <p>1.1 問題の明確化と優先順位付け： PDCAサイクルの計画フェーズでは、高齢者問題を分析し、具体的な課題を明確化します。これにより、どの問題が最も緊急かつ重要であるかを優先順位付けし、リソースの最適な配分が可能となります。例えば、人材不足や医療インフラの整備に関する計画を策定することが考えられます。</p> <p>1.2 目標の設定と戦略の構築： PDCAサイクルでは目標を設定し、それに向けた具体的な戦略を計画します。例えば、人材確保のための賃金改善策や地域包括ケアシステムの整備など、明確な目標と実現可能な手段を結びつけます。これにより、組織全体が共通の目標に向けて協力しやすくなります。</p> <p>2. 実行（Do）フェーズのメリット：</p> <p>2.1 効果的な施策の実施： 計画が練られたら、PDCAサイクルではそれを実践するフェーズが続きます。この実行フェーズでは、具体的な施策や取り組みを展開します。例えば、人材育成プログラムの開始やテクノロジーの導入などがこれに該当します。PDCAサイクルを通じて計画が実際の現場にフィードバックされ、適切な対策が実行されます。</p> <p>2.2 実績のモニタリング： 実行フェーズでは、設定した目標や計画がどれほど達成されたかをモニタリングします。効果的なモニタリングにより、問題の進捗状況や課題の特定が行われ、すみやかに対応が可能となります。例えば、介護従事者のトレーニングプログラムが予想以上に受講者を集める場合、これを踏まえて必要な資源を追加投入するなどの柔軟な対応が可能です。</p> <p>3. 評価（Check）フェーズのメリット：</p> <p>3.1 成果と課題の評価： PDCAサイクルでは、実施した施策の成果と同時に課題を評価します。目標達成度や問題の解決具合を客観的に評価することで、より正確な情報を得ることができます。例えば、高齢者へのテクノロジーの導入が期待通りの効果をもたらした場合、これを成功事例として他の地域への拡大を検討することが可能です。</p> <p>3.2 PDCAサイクルの改善ポイントの発見： 評価フェーズではPDCAサイクル自体の適用状況も含め、改善ポイントを見つけることができます。PDCAサイクルの適用が不十分であれば、これに対する対策を講じることで、より効果的なサイクルが確立されます。</p> <p>4. 改善（Act）フェーズのメリット：</p> <p>4.1 取り組みの改善： PDCAサイクルの最終フェーズでは、得られた評価と情報を元に取り組みを改善します。成果が出ている場合にはそれを維持し、逆に課題がある場合には適切な対策を検討します。例えば、特定の地域での施策が効果的であれば、それを他の地域にも適用するなど、PDCAサイクルを通じて連続的な改善が実現されます。</p> <p>4.2 組織学習の促進： PDCAサイクルの改善フェーズは組織全体の学習を促進します。失敗や成功の経験を共有し、次のフェーズに生かすことで、組織全体がより効果的な対策を講じられるようになります。これにより、将来的な課題に対処するための柔軟性と適応力が向上します。</p> <p>まとめ： PDCAサイクルの導入により、高齢者問題への対応が効果的かつ継続的に進むことが期待されます。計画、実行、評価、改善といったサイクルを通じて、柔軟で効果的な対策が展開され、地域全体が高齢者問題に対して持続可能な解決策を見出し、いくでしょう。</p>	計画全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
34	電子申請			<ol style="list-style-type: none"> 1. 地元の高齢者向けの健康診断キャンペーンの実施 2. 地域の公共施設での介護セミナーの開催 3. 高齢者向けの地域散歩クラブの設立 4. 介護士の育成プログラムの提供 5. 地域の小中学校での介護に関する教育プログラムの導入 6. 軽度認知症者向けのデイケアセンターの設置 7. 在宅介護支援員の派遣サービスの提供 8. 住宅改修補助金の拡充と普及促進 9. 地域のスーパーマーケットでの高齢者向けの買い物サポートサービス 10. 高齢者向けの趣味クラブやサークルの創設 11. 運動施設での高齢者専用プログラムの開催 12. 高齢者向けの交通手段サポートの提供 13. 地域の公共交通機関のアクセシビリティ向上 14. 在宅介護者向けのストレス解消イベントの実施 15. 地域住民と高齢者の交流を促進するイベントの企画 16. ボランティア介護者向けの感謝イベントの開催 17. 看護師や医師による訪問診療サービスの充実 18. 車いすや歩行補助具の無料貸し出しサービスの提供 19. 在宅介護者向けの緊急時サポートラインの設置 20. 地域の公共施設でのリハビリテーションプログラムの開催 21. 介護者向けの情報提供ポータルを整備 22. 地域の企業と連携し、高齢者雇用の促進 23. テクノロジーを活用した遠隔介護相談サービスの提供 24. 高齢者向けの栄養指導プログラムの実施 25. 地域の公共施設での安全な運転講習の開催 26. 老人ホームと連携した訪問看護サービスの拡充 27. 地域の自然環境を活かしたレクリエーション施設の整備 28. 地域住民向けの高齢者介護に関する啓発キャンペーンの展開 29. 高齢者向けの犬などのペットシッターサービスの提供 30. ボランティアによる高齢者訪問活動の推進 31. 地域の飲食店での高齢者向けの割引プログラムの導入 32. 地域の屋外施設での高齢者向けフィットネスプログラムの実施 33. 地域の公共図書館での高齢者向け講座の設置 34. 介護者のための定期的なカウンセリングサービスの提供 35. 地域住民による相互の助け合いネットワークの構築 36. 高齢者向けの音楽やアートのイベントの開催 37. 地域住民と協力した地域リーダーの養成プログラムの実施 38. 高齢者向けの安心して外出できる公共トイレの整備 39. 地域住民と高齢者の共同作業プロジェクトの創設 40. 高齢者向けの食事サービスの提供 41. 地域の学校での高齢者と学生の交流プログラムの設置 42. 高齢者向けの心理社会的なサポートグループの運営 43. 地域住民と高齢者のためのコミュニティガーデンの整備 44. 介護者向けの短期休息プログラムの導入 45. 地域の公共施設での高齢者向けワークショップの開催 46. 在宅介護者向けの緊急連絡網の整備 47. 地域の企業との協力による高齢者向け雇用フェアの開催 48. 地域の公共施設での高齢者向けアート展の企画 49. 高齢者向けのスマートフォン利用サポートプログラムの提供 50. 地域の医療機関との連携による健康診断キャラバンの 	計画全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
35	電子申請			<p>In recent decades, many countries around the world have been grappling with the profound challenges posed by the simultaneous trends of an aging population and declining birth rates. This complex issue, commonly known as the dual challenge of "aging society" and "low birth rates," has far-reaching implications for social, economic, and healthcare systems. This essay explores the multifaceted aspects of the issue, analyzing its causes, consequences, and potential strategies for mitigation.</p> <p>**Causes of Aging Population and Declining Birth Rates:** Several interconnected factors contribute to the phenomenon of an aging population and declining birth rates. Economic shifts, increased urbanization, and changing social norms play pivotal roles. In urbanized societies, the cost of living rises, leading individuals to delay marriage and childbirth. Moreover, women pursuing higher education and career opportunities may choose to have fewer children or postpone childbirth, impacting overall fertility rates.</p> <p>The economic burden associated with raising children also influences family planning decisions. As the cost of education, healthcare, and housing increases, couples often find it challenging to afford multiple children, further contributing to the decline in birth rates. Additionally, societal expectations regarding gender roles and work-life balance can create barriers for couples seeking to balance career aspirations with family responsibilities.</p> <p>**Consequences of Aging Population and Low Birth Rates:** The consequences of an aging population and low birth rates are extensive and varied. One of the most immediate impacts is the strain on pension and healthcare systems. As the proportion of elderly individuals increases, there are fewer working-age individuals contributing to social security systems, resulting in financial challenges for supporting retirees.</p> <p>Furthermore, a shrinking workforce can lead to labor shortages, affecting economic productivity and competitiveness. Countries may experience reduced innovation and slower economic growth due to a diminishing pool of skilled workers. The imbalance between the elderly and working-age populations can also strain social welfare programs, requiring significant adjustments to ensure their sustainability.</p> <p>In terms of healthcare, the demand for elderly care services surges, placing pressure on healthcare infrastructure and resources. Chronic diseases associated with aging become more prevalent, necessitating increased investment in healthcare systems and a shift toward preventative measures to address the long-term health needs of an aging population.</p>	計画全般
36	電子申請			<p>I would like to request the English version of the long-term care insurance business plan. This document should outline the strategies, goals, and initiatives in place to address the challenges and provide comprehensive care services to the elderly and individuals with disabilities. Additionally, I am interested in understanding how the plan addresses workforce shortages, enhances service quality, and promotes accessibility to care. Please provide the English translation or an overview of the key components of the business plan for long-term care insurance. Thank you.</p>	計画全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
37	電子申請			<p>下記の問いに対して、市の答えを示してください。 意見は記録してあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. **地域密着の医療機関の拡充** 2. **高齢者向けの健康診断の充実** 3. **在宅医療の推進** 4. **高齢者向けのフィットネスプログラムの提供** 5. **高齢者専用の健康相談窓口の設置** 6. **訪問看護ステーションの増設** 7. **高齢者向けの栄養サポートの提供** 8. **シルバータクシーの拡充** 9. **高齢者向けの健康教育プログラムの充実** 10. **緊急時の医療アクセスの向上** 11. **認知症サポートセンターの増設** 12. **高齢者向けの心理社会的なサポートプログラムの提供** 13. **高齢者向けのリハビリテーション施設の整備** 14. **高齢者住宅のバリアフリー化** 15. **予防接種プログラムの強化** 16. **高齢者向けの屋外活動スペースの整備** 17. **高齢者専用の交通サービスの改善** 18. **介護者への心理的なサポートの充実** 19. **高齢者向けのデイケアプログラムの提供** 20. **高齢者向けのテレヘルスサービスの導入** 21. **高齢者のための専門的な健康食品の提供** 22. **高齢者向けの趣味・娯楽活動の拡充** 23. **高齢者専用のオンライン健康相談サービス** 24. **高齢者向けの健康スポーツ大会の開催** 25. **高齢者のためのスマートヘルスウェアの導入** 26. **高齢者向けの音楽療法プログラムの提供** 27. **高齢者向けのメンタルヘルスケアの推進** 28. **高齢者専用の介護予防運動の普及** 29. **高齢者向けのスマートヘルスアプリの開発** 30. **高齢者住宅と若年者住宅の共存型住環境の構築** 31. **高齢者向けの地域コミュニティセンターの整備** 32. **高齢者のための安心して使える公共トイレの整備** 33. **高齢者のための割引制度の拡充** 34. **高齢者向けの情報発信サービスの充実** 35. **高齢者向けの足腰の健康チェックポイントの設置** 36. **高齢者住宅の耐震補強の助成制度の拡充** 37. **高齢者向けのスポーツ施設のアクセシビリティ向上** 38. **高齢者専用の診療日の設定** 39. **高齢者向けの自宅でのリモート診療サービスの提供** 40. **高齢者専用の防犯カメラ普及プログラム** 41. **高齢者のための緑地活用プログラムの推進** 42. **高齢者向けの地域交流イベントの開催** 43. **高齢者向けの美容・健康セミナーの提供** 44. **高齢者住宅の共有型住環境の構築** 45. **高齢者向けの訪問買い物サービスの充実** 46. **高齢者向けの健康料理教室の開催** 47. **高齢者専用のAIを活用した健康管理アプリの提供** 48. **高齢者向けの犬や猫とのふれあいプログラムの展開** 49. **高齢者のための交通手段の案内サービスの強化** 50. **高齢者向けの自宅でのフィットネス動画の提供** 	計画全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
38	電子申請			51. **高齢者向けの手芸・アートクラスの拡充** 52. **高齢者専用のメンタルヘルス向上プログラムの設立** 53. **高齢者のための健康経営セミナーの実施** 54. **高齢者向けの食品宅配サービスの拡大** 55. **高齢者住宅と学校の連携による交流プログラム** 56. **高齢者のための自動運転タクシーサービスの導入** 57. **高齢者向けの自転車レンタルサービスの提供** 58. **高齢者のためのコミュニティガーデンの整備** 59. **高齢者向けの認知症予防ゲームの開発** 60. **高齢者専用の軽運動プログラムの充実** 61. **高齢者向けの学び直しプログラムの提供** 62. **高齢者のためのデジタルライフ教室の展開** 63. **高齢者向けの介護予防マッサージの普及** 64. **高齢者のためのコミュニティラジオ局の設置** 65. **高齢者向けの手話講座の提供** 66. **高齢者住宅の専門的な安全設備の整備** 67. **高齢者のためのデジタルリテラシー向上プログラム** 68. **高齢者専用の図書館コーナーの設置** 69. **高齢者向けの医療相談会の頻度向上** 70. **高齢者のための地域ボランティアプログラムの拡充** 71. **高齢者専用の専門医の配置強化** 72. **高齢者向けの美容・健康イベントの開催** 73. **高齢者住宅と学童保育の共同利用プログラム** 74. **高齢者のための音楽療法施設の新設** 75. **高齢者向けの軽自動車の運転免許取得支援** 76. **高齢者のための公共施設入場料の割引** 77. **高齢者専用の健康チェックイベントの定期開催** 78. **高齢者向けのユウカリプタス風呂の整備** 79. **高齢者のためのリモートワーク支援プログラム** 80. **高齢者向けの新たな趣味・娯楽施設の創設** 81. **高齢者専用のスマートグラスの利用促進** 82. **高齢者向けの専用遊び場の設置** 83. **高齢者のためのクルーズ旅行の特別プラン** 84. **高齢者向けの食育プログラムの実施** 85. **高齢者住宅と学生寮の共同居住プログラム** 86. **高齢者のためのデジタルアートクラスの開講** 87. **高齢者向けの自転車散歩道の整備** 88. **高齢者専用の自動車買取プログラムの提供** 89. **高齢者のための写真散歩ツアーの開催** 90. **高齢者向けの住宅ローン減税制度の導入** 91. **高齢者専用の音声案内付きスマートウォーキングコース** 92. **高齢者のための自宅庭園の資金援助制度** 93. **高齢者向けのワーキングホリデープログラム** 94. **高齢者のための季節ごとの健康ウォークイベント** 95. **高齢者専用の観光施設のバリアフリー化** 96. **高齢者向けの地域フードフェスティバルの開催** 97. **高齢者のための芸術鑑賞ツアープログラム** 98. **高齢者向けのデジタル瞑想アプリの提供** 99. **高齢者専用の動物セラピープログラムの実施** 100. **高齢者のための室内スポーツイベントの開催**	計画全般
39	電子申請			高齢者の支援ニーズを市は把握しているのか	高齢者一般調査・要介護者等調査、前計画の主な取り組み等
40	メール	宮城野区	66歳	介護制度の持続可能性を考えるためには、現在の高齢者だけでなく、将来の高齢者になる人々の意識やニーズも調査する必要があります。高齢者と非高齢者の間に意識のギャップがあると、施策の効果が低下する恐れがあります。 以下の点について情報を提供していただきたいと思います。 ●高齢者以外の方の介護保険に対する意識調査	高齢者一般調査・要介護者等調査、前計画の主な取り組み等
41	メール	宮城野区	66歳	以下の点について情報を提供していただきたいと思います。 ●満足度や利用負担感の調査において、利用していない、特に無い、分からない、無回答などの考えられる理由	高齢者一般調査・要介護者等調査、前計画の主な取り組み等
42	メール	宮城野区	66歳	以下の点について情報を提供していただきたいと思います。 ●満足度や利用負担感の調査において、所得層やサービス毎の関係情報	高齢者一般調査・要介護者等調査、前計画の主な取り組み等

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
43	市民説明会等			老人クラブや好日庵などの箇所数の実績が載っていない。地区ごとに利用者数などを把握して、設置数を検討するなどの対応が必要。	高齢者一般調査・要介護者等調査、前計画の主な取り組み等
44	電子申請			33ページに高齢者の外出支援で敬老乗車証が書いてある 外出支援と言いつつ、値上げして支援する気がないのではないか ここの理屈を教えてください。言い訳はいらない	高齢者一般調査・要介護者等調査、前計画の主な取り組み等
45	電子申請			介護労働を本当の意味での「エッセンシャルワーカー」として位置付け「介護の安心」を確保すべきです。第2章の調査結果によると、介護職員の30～40代の離職率が特に高く、離職した人の勤務年数は、3年以内が約7割となっています。その要因を深く分析して「定着」できるよう国や行政としての責任を果たすことが求められています。	高齢者一般調査・要介護者等調査、前計画の主な取り組み等
46	電子申請	宮城野区	50	フレイル予防ってなんですか？	施策1
47	電子申請	泉区	60	オーラルフレイル予防って何？	施策1
48	電子申請	青葉区	69	耳が遠くなってきて辛い。補聴器の購入補助の支援策が欲しい。あと老眼鏡	施策1
49	電子申請		96	高齢者の健康づくりを促進する施策 高齢者の健康づくりに向け、包括的かつ効果的な取り組みが求められます。まず、地域社会での適切な運動プログラムを提供し、高齢者が楽しみながら体力を維持できる環境を整えます。これにより、認知症のリスク軽減や心身の健康増進が期待できます。 また、栄養教育や食事サポートを通じて、高齢者に健康的な食習慣を身につけてもらいます。栄養バランスのとれた食事は健康寿命を延ばし、慢性疾患の予防にも寄与します。食事に関する個別のアドバイスや食材の提供も必要です。 認知機能トレーニングは、高齢者が脳を活性化し、認知機能を	施策1
50	電子申請			一般介護予防事業において、介護予防リーダーの育成と活動支援に継続して取り組んでいくが、追加でフレイル予防リーダーの育成等も盛り込むべきである。	施策1
51	電子申請			令和3年度から、市町村の判断で要介護認定の人も「介護予防・生活支援サービス事業」のサービスが受けられることになったと思うのですが、その説明が見当たりませんでした。	施策1
52	電子申請	青葉区	2	車椅子や補聴器の購入補助をお願いします あと母乳	施策1
53	電子申請			予防の普及啓発の対象者は、高齢者と考えているのか？ 地域の集まりに出てくる人の多くは健康なので、40代からの予防の取組が重要ではないか？	施策1
54	電子申請			フレイル対策事業については、フレイルチェック実施後に専門職が必要な助言を行う仕組みとしており、サポーターについては、フレイルチェックの際の実施補助や、地域住民へのフレイルの周知啓発などの役割を担っていただきたいと考えています。 フレイル対策事業の方針欄に、フレイルサポーターについて追記します。	施策1
55	電子申請			最後まで自立して暮らしたい、社会貢献したいと考える人が多くなってきている。 住区センター等を有効活用し、歩いて行ける距離の介護予防教室を増やすこと。また、指導する側は、資格を持っている意欲のある方（シルバー等）を活用すれば、行政も参加者本人も経済的負担を軽くすることができる。ただし、本人の意識付けも必要なため、わずかでも有料とした方がいいと思われる。	施策1
56	電子申請			Establishing an environment where proactive efforts are made for care and frailty prevention, as well as health promotion, is essential. Creating a framework for individual health initiatives is crucial to ensure that people can lead fulfilling lives with both physical and mental well-being as they age. We aim to promote initiatives that encourage each person's health while fostering collaboration with various relevant organizations and institutions. Efforts will be directed towards the development of a system where individuals can actively engage in care and frailty prevention, as well as health promotion, in their local communities. This involves coordinating with different agencies to create an infrastructure that facilitates care and frailty prevention, ultimately contributing to the establishment of an environment where everyone can proactively participate in health-related activities in their everyday surroundings.	施策1

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
57	電子申請			<p>“Frailty prevention”を日本で働いているインドネシア人にインドネシア語で教えるための基本的なフレーズ:</p> <p>“フレイル予防”は「pencegahan kerentanan」または「pencegahan kelemahan」です。これは健康な生活習慣、適切な栄養、そして定期的な運動が重要です。また、「menghindari gaya hidup yang tidak sehat」（不健康な生活様式を避ける）や「berusaha menjaga kebugaran tubuh」（体調を維持する努力をする）などの表現も使えます。</p> <p>例文:</p> <p><input type="checkbox"/>フレイル予防には、定期的な運動が大切です。「Olahraga secara teratur sangat penting untuk pencegahan kelemahan」</p> <p><input type="checkbox"/>健康な食事はフレイルを防ぐのに役立ちます。「Makanan sehat sangat membantu mencegah kerentanan」</p> <p><input type="checkbox"/>ストレスを減らすこともフレイル予防につながります。「Mengurangi stres juga dapat mencegah kelemahan」</p> <p><input type="checkbox"/>定期的な健康チェックは、早期発見と予防に役立ちます。「Pemeriksaan kesehatan berkala bermanfaat untuk deteksi dini dan pencegahan」。</p> <p>これらの表現を使って、フレイル予防に関する大まかな指針を教えることができます。</p>	施策1
58	電子申請			<p>この度、高都者保健福祉計画・介護保険事計画計画の業を得いたしました。2025年、2040年に向けて様々な施策が盛り込まれており、私身も感選しをするべく活動に見力したいと士気を高めております。</p> <p>一方で気になることがあります。</p> <p>総合事業を具体的にどのように展開されているのでしょうか。</p> <p>私が知る限りでは訪問、通所サービスの開がまだ不十分であると感じております。</p> <p>現係者からは住民主体で関される粉サービス8、通所サービス8に関しては、立ち運れていると伺っております。</p> <p>また、専門が実施するサービスCに関しても実施されていることを知しておりません。</p> <p>この度の第9期計画案の中にも、総合事の推進の文言、また訪</p> <p>※、通所サービス開設の具体的な目標数の設定がございません。</p> <p>今までは元気づくりステーション事場においては年時に具体的な何ヶ所開設することと目標値を示されていますが、総合事業量に関して目標値を示されていないのは何故でしょうか。</p> <p>来年の介護報が改定。再来年の診療報加改定、また2024年の診</p> <p>※・介護報加同時改定と、少子高給化、生産年齢人口の減り、後現画部世代の増加を見据えて、保険通応者を減らしていく方向で展開されるのは否めず、いかに地域で疾患や害を持たれた方々も可能な限り在宅で人生の最期を迎えていただくための体制を整えていく、その一つの施策が総合事業と考えます。総合事業は仙台市だけではなく、様々な行政もまだ展開が不十分などがあると思われませんが、2025年を迎える第9期が、いかに総合事業を推進し持続可能な体制を整えるために最も力を入れていかなくてはならない期と感じております。また、今後も新型コロナウイルス問題で外出自が余儀なくされ、虚弱高齢者の増加、疾患保有者の重度化も叫ばれております。</p> <p>これらを踏まえて、今何に力を入れることが必要かを是非とも第9期計画に盛り込んでいただけますことを願っております。</p> <p>微々たる力ではございますが、地域包括ケアシステムの構築・推進に向けて尽力致します。</p>	施策1
59	市民説明会等			老人クラブについて、いろいろな助成を得ながら活動し、活動の実績も挙げているが、市は老人クラブをどのように捉えているのか伺う。	施策2
60	市民説明会等			好日庵を増やす構想はないか。高齢者が集まる場として有効。各町内に一つ設置していただきたい。	施策2
61	電子申請			朝と夕方の小学校の通学路の見回りを高齢者に任せて欲しい。 健康づくりと社会貢献の二刀流やないか	施策2
62	電子申請			高齢者のスポーツ活動支援のため、大きい室内ゲートボール場が欲しい。 夏は暑く冬は寒いのでスポーツしたいができない。	施策2
63	市民説明会等			好日庵などがない地域で市民会館を利用することがあるが、使用料が高い。ボランティア活動で利用した際は減額するなどの対応は可能か。	施策2
64	郵送	太白区	75	老人クラブ活動について、計画策定の時期にあたり、契機として存廃も検討されたものと思料します。存続決定のうえではこれまでの活動実績にたつて創意工夫を重ね、より拡充されることを望みます。	施策2
65	電子申請			<p>◆社会参画の促進</p> <p>○プラチナ世代には、プラチナ世代なりの事情があり、老後を楽しめる人は少ないと思う。</p> <p>○プラチナ世代に、現役時代の生活を維持できる仕事を紹介できるシステムを構築する必要がある。</p>	施策2
66	電子申請	宮城野区	64	57ページにeスポーツを活用した生きがいがづくり・健康づくりのイベント開催と記載があるが具体的に何をするのか。	施策2
67	電子申請	泉区		高齢者のセカンドライフとは何か。 市が離婚させようとしているように感じる	施策2

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
68	電子申請			<p>高齢者向けスキルシェアプログラム 高齢者が持つ経験やスキルを活かし、地域の若手に知恵や技術を伝えるプログラムを開催。例えば、手工芸、料理、ビジネス経験などを共有し、コミュニティ内での連帯感を醸成。</p> <p>シルバーヨガ・健康促進クラブ 高齢者を対象とした定期的なヨガや健康促進のクラブを運営。地域の公園や施設を利用し、運動不足の解消や健康維持をサポート。同時に、高齢者同士のコミュニケーションも促進。</p> <p>地域ガーデニングプロジェクト 高齢者がガーデニングのスキルを発揮し、地域全体で美しい公共の庭園を共同で作りに上げるプロジェクト。自然と触れ合いながら、高齢者が地域の景観を美しく保つ役割を果たす。</p> <p>地域歴史プロジェクト 地元の歴史や伝統を知る高齢者を中心に、地域の歴史プロジェクトを展開。口承文化や昔話の収集、地元の博物館や学校との協力を通じて、歴史の保存と次世代への伝承を担当。</p> <p>高齢者起業家支援プログラム 経験豊富な高齢者が起業に挑戦できるよう、ビジネスアイデアの提案や資金援助、メンターシップの提供などの支援プログラムを構築。地域経済への貢献と高齢者の自己実現を促進。</p> <p>地域イベント企画委員会 高齢者が主体となり、地域のイベントやフェスティバルの企画・運営に携わる。伝統行事の継続や新しいイベントの創出を通じて、地域への愛着を深め、アクティブなライフスタイルを推進。</p> <p>これらの取り組みは、高齢者が社会において積極的な役割を果たすことを促進し、地域全体の発展と共に、高齢者自身が充実感を得られる環境を築くことを目指しています。</p>	施策2
69	電子申請	宮城野区	140	<p>今日も高齢者ドライバーによる運転死傷事故が発生してしまった。これは高齢者に運転免許証を返納させず保持させている行政の問題だろう。行政が強制的に免許証を回収しない限り、今後も高齢者による若者への無差別殺人事件は起き続け、未来が光輝く若い世代が命が失われていく。</p> <p>先日、eスポーツで車を運転する高齢者がいた。楽しそうにスピードを出し、壁にガンガンぶつかりながらブレーキも踏まない運転を見て、きっとこのような運転を日常的にしているのだろうと危険を感じその場を離れた。仙台市は高齢者による危険運転の普及啓発のためのゲーム会をして、事故を増やそうとしている。こんな危険な自治体があってはダメだ。高齢者からゲームを取り上げる。子供からゲームを取り上げる風潮があるので、おかしくはない。</p>	施策2
70	電子申請	青葉区	39	<p>敬老乗車証について、小児は大人料金の半額負担してるのに、高齢者は1割負担で済むのか。 高齢者ではなく未来ある子供を支援するべき</p>	施策2

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
71	電子申請	宮城野区	140	<p>1. 背景:</p> <p>高齢者の交通参加が増加する中、高齢運転者による事故の発生が問題視されています。この背景に、敬老乗車証の価格変更が絡んでおり、高齢化社会における交通の課題が浮き彫りになっています。</p> <p>2. 高齢者の運転事故の増加:</p> <p>高齢者による交通事故は増加傾向にあり、その中でも高齢者が運転する車両が関与する事故が問題となっています。認知機能の低下や反応速度の鈍化などが、交通安全性への懸念を引き起こしています。</p> <p>3. 社会への影響:</p> <p>高齢者の運転事故は単なる個人の問題にとどまらず、社会全体に深刻な影響を与えています。事故による怪我や死亡だけでなく、他の交通参加者や歩行者への潜在的な危険性が懸念されています。</p> <p>4. 敬老乗車証の価格変更:</p> <p>敬老乗車証は高齢者に対する交通手段の支援策の一環ですが、その価格変更が発表されました。これにより、高齢者の交通手段へのアクセスが制約され、生活への影響が懸念されています。</p> <p>5. 交通課題の根本的な要因:</p> <p>高齢者の運転事故が問題となる中で、単に敬老乗車証の価格を変更するだけでは、交通課題の根本的な要因に対処することは難しいとされています。運転者のスキル維持や交通安全教育の充実が求められます。</p> <p>6. 解決策の模索:</p> <p>社会は高齢化に向かって進んでおり、この課題に対処するためには包括的な解決策が必要です。例えば、高齢者向けのドライバーアシスト技術の導入、定期的な運転能力の評価、公共交通機関の拡充などが挙げられます。</p> <p>7. 社会の変化に対する柔軟な対応:</p> <p>高齢化社会においては、交通の問題に対処するだけでなく、社会全体が高齢者の尊重と支援に向けて柔軟で包括的な対応を考える必要があります。高齢者の社会参加を促進し、安全かつ快適な交通環境を提供することが重要です。</p> <p>8. まとめ:</p> <p>高齢運転者による事故の増加と敬老乗車証の価格変更は、高齢化社会における交通の深刻な問題を浮き彫りにしています。この問題には個別の施策だけでなく、包括的なアプローチが求められ、安全かつ包括的な社会への移行が必要です。</p>	施策2

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
72	電子申請	宮城野区	140	<p>1. 背景:</p> <p>高齢者の交通参加が増加する中、高齢運転者による事故の発生が問題視されています。この背景に、敬老乗車証の価格変更が絡んでおり、高齢化社会における交通の課題が浮き彫りになっています。</p> <p>2. 高齢者の運転事故の増加:</p> <p>高齢者による交通事故は増加傾向にあり、その中でも高齢者が運転する車両が関与する事故が問題となっています。認知機能の低下や反応速度の鈍化などが、交通安全性への懸念を引き起こしています。</p> <p>3. 社会への影響:</p> <p>高齢者の運転事故は単なる個人の問題にとどまらず、社会全体に深刻な影響を与えています。事故による怪我や死亡だけでなく、他の交通参加者や歩行者への潜在的な危険性が懸念されています。</p> <p>4. 敬老乗車証の価格変更:</p> <p>敬老乗車証は高齢者に対する交通手段の支援策の一環ですが、その価格変更が発表されました。これにより、高齢者の交通手段へのアクセスが制約され、生活への影響が懸念されています。</p> <p>5. 交通課題の根本的な要因:</p> <p>高齢者の運転事故が問題となる中で、単に敬老乗車証の価格を変更するだけでは、交通課題の根本的な要因に対処することは難しいとされています。運転者のスキル維持や交通安全教育の充実が求められます。</p> <p>6. 解決策の模索:</p> <p>社会は高齢化に向かって進んでおり、この課題に対処するためには包括的な解決策が必要です。例えば、高齢者向けのドライバーアシスト技術の導入、定期的な運転能力の評価、公共交通機関の拡充などが挙げられます。</p> <p>7. 社会の変化に対する柔軟な対応:</p> <p>高齢化社会においては、交通の問題に対処するだけでなく、社会全体が高齢者の尊重と支援に向けて柔軟で包括的な対応を考える必要があります。高齢者の社会参加を促進し、安全かつ快適な交通環境を提供することが重要です。</p> <p>8. まとめ:</p> <p>高齢運転者による事故の増加と敬老乗車証の価格変更は、高齢化社会における交通の深刻な問題を浮き彫りにしています。この問題には個別の施策だけでなく、包括的なアプローチが求められ、安全かつ包括的な社会への移行が必要です。</p>	施策2
73	郵送			<p>単位老人クラブ（単老）への助成は仙台市老人クラブ連合会（仙老）を介して実施されている。助成金の分配は単老の構成人数によって分配されることが多い。しかし、この方法では単老の活動内容を反映することが少ない。当該単老では上納金の補償金になるのみである。助成金は人数による因子と、会活動を反映する因子とから構成するようにして欲しい。</p>	施策2
74	郵送			<p>高齢者（特に老人クラブ）に対する全体的な割合を何らかの形で示して欲しい。</p>	施策2
75	電子申請	泉区	79	<p>基本的に利用者負担を増やすことは理解でき反対しない。一律10%を25%にするのではなく、年間利用額によって段階的に負担割合を決めて頂きたい。多額の利用者ほど負担割合を増やす。多額利用者の多くは、仕事をする場所への移動すなわち収入を得るための移動と思われる。中には勤務先から通勤手当が支払われている人もあると思われる。このような利用者が敬老パスを利用するのは本来の趣旨に反すると思います。例えば、年間利用額が1万円以下は10%、5万円以下は20%、10万円以下は30%、10万円超は40%とか、段階的に負担割合を設定するのが良いと思います。</p>	施策3
76	郵送	太白区	75	<p>外出支援-敬老乗車証制度について-。利用者数・交付を受け未利用者数計68.5%は恩恵と賛同をうけている制度であります。制度の持続には利用者負担は当然と思います。市民意識アンケート（若年層）と（高齢層）で負担割合の考え方に差がある。「引き上げ」を公表し理解を得てほしい。</p>	施策3
77	電子申請	太白区	60	<p>高齢者の健康づくりや生きがいがづくりと言っておきながら、敬老乗車証の自己負担を増やして、活動を制限しようとしている市の姿勢に基疑問です。</p>	施策3

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
78	電子申請	青葉区	60	高齢者の健康づくりと言いながら、運転免許証を返納させたり敬老乗車証を値上げしたりと、計画と実際に行っていることがバラバラだ。 敬老乗車証を無料にするべき	施策3
79	電子申請	青葉区		敬老乗車証の値上げに反対する。説明会を再度開催し撤回することを希望する	施策3
80	電子申請	青葉区	78	コロナや災害なども考慮して計画を立てた方がよい	施策3
81	電子申請			介護給付等対象サービスの充実、強化及びサービスの質の向上について、「給付の適正化」の文言には、この間の国の給付抑制の意味も含まれて介護保険制度が後退していると感じます。このことから、「給付の充実」の表現に改めてはどうか。	施策3
82	メール			前計画実績では「高齢者住宅改造費補助金交付事業」の交付件数は、令和3年度17件、令和4年度12件のみとなっています。しかし、この実績の進捗では、高齢者の在宅を支える基盤整備として十分機能しているとは言えない状況です。現在の補助金交付事業が伸びない理由として、補助対象の条件が厳しいために利用しづらい制度となっているのが原因のひとつです。 高齢者がそれぞれの身体や生活の状況に応じ、快適に暮らしていけるよう、高齢者向けの多様な住まいや住環境を整えるため利用しやすい制度となるよう、制度を見直し、再検討すべきです。	施策3
83	電子申請			敬老乗車証に賛成する立場は、高齢者に対する社会的な配慮と尊重の表れと考えられます。この証が提供されることで、高齢者は交通手段をより利用しやすくなり、生活の質が向上するとともに、地域社会においても結束が強化されるでしょう。 まず、敬老乗車証は高齢者にとって経済的な負担を軽減する手段となります。多くの高齢者は年金や退職金などの収入が限られており、交通費が重荷となることがあります。そのため、公共交通機関を利用する際に割引や優待が提供されることは、生活費の節約に寄与し、固定収入の中で生活を安定させる一助となります。 さらに、敬老乗車証は高齢者の社会参加を促進する要素を持っています。交通手段が利用しやすくなることで、高齢者は外出しやすくなり、地域の様々なイベントや行事に参加しやすくなります。これにより、高齢者は孤立感を減少させ、地域社会において積極的に活動することが期待されます。地域社会全体が結束し、相互の支え合いが生まれることで、社会全体の連帯感が高まるでしょう。 また、敬老乗車証は高齢者の健康維持にも寄与します。公共交通機関の利用は運動不足の解消につながり、日常的な活動が増えることで健康促進に寄与します。高齢者が定期的に外出し、自宅に閉じこもらないようになることで、心身の健康を保つことが期待されます。この健康促進効果は、医療費の削減や健康寿命の延伸にも寄与するでしょう。 さらに、敬老乗車証は高齢者の交通事故のリスクを低減させる可能性があります。割引制度が利用しやすいことで、自家用車の運転を控える高齢者が増え、それに伴う事故の発生頻度が減少することが期待されます。これにより、高齢者だけでなく他の利用者も安全な交通環境を享受できるでしょう。 総じて、敬老乗車証は社会的な公平性を保ちながら、高齢者の生活を支援し、地域社会の結束を強化する一環となります。高齢者が自立して生活し、地域社会に参加することが容易になることで、社会全体が活気づき、多様性と調和が促進されるでしょう。	施策3
84	電子申請			敬老乗車証に反対する立場からの意見は、いくつかの観点から述べることができます。まず、一般の利用者や社会全体への負担、制度の偏り、および高齢者自身の尊厳の観点から考えてみましょう。 まず、敬老乗車証による優遇は、一般の利用者や社会全体に負担をかける可能性があります。公共交通機関は運営コストがかかり、これを補填するために運賃が設定されています。高齢者に対する優遇制度があれば、その分一般の利用者が負担を強いられることとなります。経済的に苦しい状況にある地域や交通機関事業者にとっては、これが厳しい状況を生み出す可能性があります。 さらに、敬老乗車証は高齢者に対する特典を提供する一方で、他の年齢層には同様のサポートが存在しないことから、制度の偏りが問題となります。社会的な公平性や均等性の観点から、どの年齢層も同等に配慮されるべきであり、特定のグループへのみ特典を提供することは不公平だと考えられます。例えば、働く若年層や子育て中の親たちも同様に経済的な負担や生活の利便性を求めていることを考慮すべきです。 また、敬老乗車証が高齢者に対して差別的な印象を与える可能性があります。高齢者もまた自分での移動や社会参加が可能であり、彼らにも能力や権利があることを前提として、他の年齢層と同様の条件で公共交通機関を利用すべきです。特典を過度に与えることで、高齢者が依存的であるというステレオタイプを強化する可能性があり、これは高齢者自身の尊厳を損なうことに繋がります。 また、敬老乗車証による優遇が、高齢者の自己責任や自立心を損なう可能性があります。高齢者も一個人として自分の生活を築き、社会に貢献することが求められるべきです。あまりにも手厚い支援があれば、高齢者が自分で問題を解決しようとする姿勢が低下し、結果として依存的な状況が生まれるかもしれません。 総じて、敬老乗車証に反対する理由は、経済的な負担、制度の偏り、差別的な印象、および自己責任の損失といった側面から考えられます。これらの懸念を踏まえ、より包括的で均等な社会的なサポート制度が求められるでしょう。	施策3

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
85	メール			最も社会的弱者である人々の権利擁護を実現するためには、市町村長申し立てや市民後見人制度が円滑に行われることが必要であると考えます。しかし、これらの制度は実施件数が少なく、開始されるまで時間がかかり、利用者への迅速な支援ができないなど、利用促進や運用面での課題もあります。今後も独居老人の増加などにより、需要は増えていくと見込まれることから認知度を上げ、普及を進めていくことが必要です。また、状況の実態把握を行い、適切な予算措置と利用者本位の運用について明記すべきです。	施策4
86	メール			災害対策基本法では、自治体が災害時要援護者（災害発生時の避難等に特に支援を要する方）を把握することとされ、仙台市では災害時要援護者情報登録制度を実施しています。制度は、要援護者が区に届け出ただけで市が当該対象者の必要性の調査を行わずに登録されるシステムとなっており、要援護者登録リストは、町内会や民生委員の地域団体や地域包括支援センターなどに情報として保管されています。町内会、民生委員等では高齢化が進行し、地域包括支援センターも基本業務に忙殺され、扱いや対応に苦慮しているのが実態としてあります。仙台市は、援護の必要性を判断するシステムに変更するとともに、地域の支援体制づくりが進むよう、地域における取り組みを主体的に支援する具体的施策を明示すべきです。	施策4
87	メール			前計画実績では「高齢者住宅改造費補助金交付事業」の交付件数は、令和3年度17件、令和4年度12件のみとなっています。しかし、この実績の進捗では、高齢者の在宅を支える基盤整備として十分機能しているとは言えない状況です。現在の補助金交付事業が伸びない理由として、補助対象の条件が厳しいために利用しづらい制度となっているのが原因のひとつです。高齢者がそれぞれの身体や生活の状況に応じ、快適に暮らしていけるよう、高齢者向けの多様な住まいや住環境を整えるため利用しやすい制度となるよう、制度を見直し、再検討すべきです。	施策4
88	メール			最も社会的弱者である人々の権利擁護を実現するためには、市町村長申し立てや市民後見人制度が円滑に行われることが必要であると考えます。しかし、これらの制度は実施件数が少なく、開始されるまで時間がかかり、利用者への迅速な支援ができないなど、利用促進や運用面での課題もあります。今後も独居老人の増加などにより、需要は増えていくと見込まれることから認知度を上げ、普及を進めていくことが必要です。また、状況の実態把握を行い、適切な予算措置と利用者本位の運用について明記すべきです。	施策4
89	メール			災害対策基本法では、自治体が災害時要援護者（災害発生時の避難等に特に支援を要する方）を把握することとされ、仙台市では災害時要援護者情報登録制度を実施しています。制度は、要援護者が区に届け出ただけで市が当該対象者の必要性の調査を行わずに登録されるシステムとなっており、要援護者登録リストは、町内会や民生委員の地域団体や地域包括支援センターなどに情報として保管されています。町内会、民生委員等では高齢化が進行し、地域包括支援センターも基本業務に忙殺され、扱いや対応に苦慮しているのが実態としてあります。仙台市は、援護の必要性を判断するシステムに変更するとともに、地域の支援体制づくりが進むよう、地域における取り組みを主体的に支援する具体的施策を明示すべきです。	施策4
90	市民説明会等			今、社会問題となっている住宅難民への対応、住まいへの支援や対応はどのように考えているか。	施策4
91	市民説明会等			認知症の方も関わってくると思うが個別援助計画の策定にケアマネや包括の参画はあるのか、要援護者リストの突合を含めてどうなのか。	施策4
92	電子申請	泉区	50	高齢者の一人暮らし数の増加は、社会構造の変化や高齢者の生活選択の多様化を反映しています。まず、一人暮らしは自己決定権やライフスタイルの一環として尊重されるべきです。個々の選択や意向に対して理解を深め、その生活スタイルを支援する体制が必要です。一人暮らしの高齢者には、孤立感や生活面での支障が生じる可能性があります。そのため、地域社会や自治体が連携し、高齢者の交流や支援の機会を提供することが重要です。地域ネットワークの構築やボランティア活動の促進によって、高齢者が孤立せず、安心して生活できる環境を整備する必要があります。介護や健康管理においても、一人暮らしの高齢者に焦点を当て、適切なサポートを提供することが求められます。健康診断や定期的な訪問サービス、情報提供などが、高齢者の健康状態のモニタリングと予防に寄与します。また、デジタルテクノロジーの活用も検討すべきです。スマートテクノロジーを介した遠隔医療やコミュニケーションツールの導入は、高齢者が安心して自宅で生活できるようにサポートします。最後に、高齢者の一人暮らしの増加に伴い、住環境整備も欠かせません。バリアフリーな住宅や公共施設の整備、近隣の買い物施設のアクセシビリティ向上などが必要です。総じて、高齢者の一人暮らし数の増加は個々の選択や権利を尊重する一方で、地域社会全体でサポートの仕組みを整備し、健康で充実した生活を支援する必要があります。	施策4

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
93	電子申請			<p>成年後見制度では、権利にかが10相談するのは、共度上のもは門相談を行うとある。これに加えて、司法書士や社会福祉士、社会福祉協議会や公益社団法人、司法書士会、弁護士会などといった個人や団体と高齢者等の相談機会も設けるべきだと思う。高齢者等からの相談内容に応じて、必要であれば市役所の職員が上記の専門家を紹介し、成年後見制度の内容や利用実態、問題点、後見人がどのような職務を行うか等について、実際に後見人となり得る専門家本人から説明がなされるのが望ましい。近年では親兄弟や配者といった親族よりも、親族以外の第三者が後見人等に選任される場合が増えており、中でも司法書士や社会福祉士、税理士といった専門家や、社会福祉協議会をはじめとした団体が後見人等となる割合が大きい（厚生労働省平成29年度障害者総合福祉推進事業成年後見制度の利用実態把握及び法人後見の活用に関する研究11頁）。一方で、普段このような専門家や団体とは一切関わりを持たない高齢者も一定数いるものだと考えられる。そのため、こういった専門家らとの相談機会を設置し、コミュニケーションを通じて成年後見制度や後見人等に対する心理的な抵抗感を幾分和らげることで、より制度の利用促進につなげていけるのではないかと考える。</p>	施策4
94	電子申請			<p>低所得者の住まいの確保を盛り込むこと。高齢者向け市営住宅の増設、養護老人ホーム、軽費老人ホーム（A型）、軽費老人ホーム（ケアハウス）の総利用者数を引き上げて増設すること。</p>	施策4
95	電子申請			<p>**住宅セーフティーネット：住民の安全と福祉のための社会的な支え**</p> <p>住宅セーフティーネットは、現代社会においてますます重要性を増している社会的な概念であり、住民が健康で安全な住環境で生活できるようにするための包括的な支援体制を指します。このセーフティーネットは、経済的な不安定や災害、その他の困難な状況に直面する住民を守り、社会全体の安定と繁栄を促進します。以下では、住宅セーフティーネットの概念とその重要性について詳しく探求していきます。</p> <p>### 住宅セーフティーネットの概念</p> <p>住宅セーフティーネットは、住民が適切な住宅環境を確保し、安定した生活を維持できるようにするための包括的なシステムです。これは社会的な公正と均等を実現し、経済的・身体的・精神的な脆弱性を抱える人々に対する支援を提供します。住宅セーフティーネットは、以下の様々な側面で構成されています。</p> <p>#### 1. **住宅アクセスと手頃な価格の確保**</p> <p>住宅セーフティーネットの中心には、住宅アクセスと手頃な価格の確保があります。経済的に困難な状況にある住民が質の高い住宅にアクセスできるよう、適切な住宅政策や支援プログラムが整備されます。これにより、住民は生活の基盤となる安定した住環境を維持できます。</p> <p>#### 2. **災害や緊急事態への対応**</p> <p>住宅セーフティーネットは、災害や緊急事態に対する住民の保護も含んでいます。避難所の提供や災害復興支援、保険制度の整備などが、住民が災害に強く、安全な住環境を持つための手段となります。</p> <p>#### 3. **健康と環境の向上**</p> <p>住宅セーフティーネットは、住環境が住民の健康に良い影響を与えるようにすることも目指します。健康への影響を最小限に抑えるための住宅基準や環境保全策の推進が含まれます。</p> <p>#### 4. **コミュニティの結束とサポート**</p> <p>住宅セーフティーネットは、コミュニティの結束と相互サポートの醸成も重要視します。住民同士が連帯し、地域社会が協力することで、個々の住環境が向上し、安全性が増します。</p> <p>### 住宅セーフティーネットの重要性</p> <p>#### 1. **社会的な公正の確保**</p> <p>住宅セーフティーネットは、社会的な公正を確保するために不可欠です。経済的な格差が広がる現代社会において、住宅セーフティーネットは貧困層や弱者に対して平等な機会を提供し、社会的な不平等を軽減する手段となります。</p> <p>#### 2. **経済的・精神的な脆弱性への対処**</p> <p>住宅セーフティーネットは、経済的・精神的な脆弱性を抱える人々への支援を提供します。住環境が安定していれば、これらの脆弱性が緩和され、個々のメンタルヘルスや経済的な安定が促進されます。</p> <p>#### 3. **人権の尊重**</p> <p>適切な住環境を提供することは、基本的な人権の一環です。住宅セーフティーネットは、住民が安心して生活できる権利を尊重し、保護する役割を果たします。</p> <p>#### 4. **地域社会の発展**</p> <p>住宅セーフティーネットは地域社会の発展にも寄与します。住民が安心して住める環境が整備されることで、地域全体が安定し、発展する基盤が築かれます。</p> <p>### 住宅セーフティーネットの課題と将来展望</p> <p>しかし、現実には住宅セーフティーネットにはさまざまな課題も存在します。資金不足、政策の不足、地域差の拡大などがその一例です。将来においては、これらの課題に対処しながら、より包括的で効果的な住宅セーフティーネットの構築が求められます。新しい住宅政策や社会制度の導入、地域社会の協力などが、住民の安全と福祉の向上に向けた重要な一環となります。</p> <p>住宅セーフティーネットは単なる住宅提供の枠を超えて、社会的な公正や人権、地域社会の結束を強化する鍵となります。将来の社会をより公正で持続可能なものにするためには、住宅セーフティーネットの概念を理解し、効果的かつ包括的な政策の推進が欠かせません。</p>	施策4

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
96	電子申請	泉区	74	高齢者向け住宅が少ない。アパマンショップで高齢という理由で入居を断られる。住みづらい世の中だ	施策4
97	電子申請	宮城野区	78	低所得者の住まいの確保を盛り込むこと。高齢者向け市営住宅の増設、養護老人ホーム、軽費老人ホーム(A型)、軽費老人ホーム(ケアハウス)の総利用者数を引き上げて増設すること。	施策4
98	電子申請			コロナ禍を経験し生活様式が非接触・リモート化していく中、今後の安否確認もこれまでと大きく変わる可能性があります。その安否確認を地域が担う際、設備機能、費用負担など明確に教えて頂けるようお願いしたい。	施策4
99	電子申請			保健師等による訪問型介護事業について、文言の加筆等してほしい。 「保健師等の人数を増やすなど人員整備により、訪問回数を増やす等の努力を行う。」	施策4
100	電子申請	泉区	98	「高齢者が可能限り住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう」が命題になっている推進計画に住まい、介護の観点から意見を述べます。 市内には、1980年代頃の経済成長期に造られたマンション団地が数多くあり、そこでは多くの高齢者がエレベーターなどの昇降設備のない、不自由な生活を送っています。高齢者に万が一介護を要する事態が生じた場合、自立した行動が不可能で、本人だけでなく介護に携わる方々にも大きな負担が生じます。しかし、経済的に老人ホームやサービス付き高齢者住宅に入居できるとは限りません。 このような観点からも、マンション団地の再生は、本計画を推進する上で、欠かすことのできない課題です。ぜひ本計画に「マンション団地の再生」を組み入れ、実効性を高めてほしいです。 URや市営・県営団地の改善も同様です。	施策4
101	電子申請			災害時用援護者登録制度は、災害発生時に特定のニーズやサポートが必要な人々を事前に登録し、的確な援助を提供する仕組みです。この制度に登録することで、避難所や関連機関が登録者の情報を把握し、災害時の適切な対応が可能となります。避難所では、登録者の特別な要望やニーズに対応するための基盤が整えられ、情報は迅速に関係機関に伝達されることで、的確なサポートが提供されます。登録者情報は地域の防災計画に組み込まれ、災害時における包括的な支援体制の一環として機能します。気軽に登録できるような制度設計にしてください。	施策4
102	電子申請			地域包括事業及び介護予防事業について 第8期介護保険事業計画の期間では、高齢化に対し高い意識を持った 団塊の世代が介護予防事業に関わることで介護予防事業の取組が定着していくものと考えている。、 事業を理解し、住みやすい地域を広げるためにも、在宅生活を支える人材の配置を充実させることが重要 と考える。	施策4
103	電子申請	宮城野区	100	地域で支え合うことは、共同体の結束を強化し、個々のメンバーがお互いにサポートし合う素晴らしいアプローチです。これにはいくつかの重要な側面があります。 1. **情報の共有:** 住民同士で重要な情報をシェアし合うことで、地域全体がより安全で健康な状態を維持できます。イベントやサービスの情報を共有することで、地域コミュニティはより結束し、充実した生活が期待できます。 2. **ボランティア活動:** 地域の住民がボランティア活動に参加することで、高齢者や特別なニーズを持つ人々へのサポートが提供されます。これにより、地域全体が包括的で支え合いのあるコミュニティに成長します。 3. **地域イベントの開催:** 交流イベントや地域の祭りなどを通じて、住民同士が交流し、親睦を深めることができます。これはコミュニティ全体の一体感を醸成し、困難な時にお互いに支え合える基盤を築きます。 4. **地域リーダーシップの育成:** 地域のリーダーを育て、地域の課題に対する共同の解決策を模索することが大切です。地域住民の声を統合し、共有したビジョンを持つことで、持続可能な地域の発展が可能になります。 5. **緊急時の協力:** 災害や緊急事態において、地域住民が協力して対処することは生命の安全を確保する上で不可欠です。防災訓練や地域の避難所の整備などが、地域全体での支え合いを強化します。 地域で支え合うことは、豊かなコミュニティと共に成長し、誰もが安心して生活できる基盤を築く重要な一歩です。	施策4

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
104	電子申請	泉区	40	<p>在宅介護の現実と支援の必要性</p> <p>近年、高齢者の在宅介護がますます注目を浴びています。これは、高齢化社会の進展とともに、多くの家庭がその課題に直面しているためです。在宅介護は家族や関係者にとって大きな負担を強いるものであり、その大変さや支援の必要性について深く考察してみましょう。</p> <p>1. 在宅介護の大変さ:</p> <p>1.1 肉体的な負担:</p> <p>在宅介護は肉体的な負担が非常に大きいものです。高齢者が日常生活において支援が必要な場合、移動の手助けや身の回りの世話、食事や入浴のサポートなどが必要となります。これにより、介護者は日中から夜間まで一貫して高度な体力を要求されます。</p> <p>1.2 精神的なストレス:</p> <p>介護者は患者の健康状態や日々の変化に敏感でなければなりません。これが連日続くと、常に緊張感を抱え、介護者自身の精神的なストレスが蓄積されます。感情のコントロールや心理的なサポートが必要です。</p> <p>1.3 社会的な孤立感:</p> <p>在宅介護に従事することで、介護者は外部との社会的なつながりが薄れる傾向があります。外部との交流や趣味に時間を割く余裕が減少し、孤立感やストレスが増大します。</p> <p>2. 支援の必要性:</p> <p>2.1 専門的なケアの提供:</p> <p>在宅介護においては、専門的な医療や看護の知識が不可欠です。支援体制が整っていれば、介護者は専門家のアドバイスやケアを受け、高齢者の健康状態を適切に管理できます。</p> <p>2.2 リフレッシュの機会の提供:</p> <p>介護者が日々の負担から解放され、自分自身をリフレッシュできる機会が必要です。休息や趣味に時間を充てることで、介護に対するモチベーションが向上し、ストレスの軽減が期待できます。</p> <p>2.3 精神的なサポート:</p> <p>心理的なサポートが欠かせません。専門のカウンセリングや介護者同士の情報交換の場が整備されることで、介護者は自分の感情やストレスを適切に処理できます。</p> <p>2.4 コミュニティとの連携:</p> <p>地域のコミュニティや地域包括支援センターとの連携が重要です。地域リソースを活用し、介護者にとって効果的な支援を提供することで、家庭内介護の負担が分散されます。</p> <p>2.5 教育と情報提供:</p> <p>介護者に対する専門的な教育や情報提供が求められます。介護技術の向上や健康管理の知識が増すことで、介護者はより効果的かつ安心して介護に従事できるでしょう。</p> <p>3. まとめ:</p> <p>在宅介護は家族や関係者にとって負担が大きい課題であり、それに対する十分な支援が求められています。肉体的な労力、精神的なストレス、社会的な孤立感に直面する介護者が、適切な支援を得ることで、高齢者の質の高い生活と、介護者自身の健康を守りながら介護に従事できるようになります。社会全体で包括的かつ持続可能な支援システムの構築が必要です。</p>	施策4
105	電子申請	青葉区	69	<p>コロナだけでなく災害時にどうやって支援してもらえるのか</p>	施策4
106	電子申請			<p>コロナ禍で露呈したのは、日本の社会システムが極めて「ケア」に弱い社会であることです。「自助・互助：共助・公助」による地域包括ケアシステムでは問題解決は図れないのは明らかであり、市民に寄り添った計画づくりにすべきです。コロナを経験している今こそ、「公助」をベースにした施策への展開が客地方自治体の計画に求められています。</p>	施策5

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
107	電子申請	青葉区	90	「自助」「共助」「公助」：既に地域包括ケアにおいて、その概念を今実施しているところですが、少子高齢化という根本的な社会構造もあり難しい課題です。 1「自助」・・・誰しも健康で自分の意思で日常生活を送りたいものです。生活習慣の改善啓蒙活動や健康意識の向上など「共助」にも繋がりますが、啓蒙と意識向上への“関わり方/切り口”がポイントだと思います。 2「共助」・・・高齢化、自治会加入率低下、過疎化に加え今のコロナ禍で地域力：関わる頻度が薄くなっています。現実には空き家や独居も多く、政府が目指す地域の共助が出来るかなあと正直思っています。ましてやボランティア活動に依存すると、個人の力量に大きく左右されます。持続可能な「共助」を目指す為には、資金面：基金の創設、人材面のバックアップやその仕組みが必要だと感じています。 3「公助」・・・人材確保が一番の課題です。負担と給付が最大の課題ですが、昨年、サ高住が乱立し併設するヘルパー等にますます迫っています。サ高住本来の役割に一端戻ってサービスの検証をした方が良いように思います（コロナ禍に乗じて囲い込みのようなところもうかがえます）。	施策5
108	メール			介護予防事業は、運動機能の維持・向上だけでなく、高齢者の生きがいづくりや社会参加にもつながる重要な役割を担う事業のひとつに位置づけられています。地域の実情や利用者のニーズに見合った地域支援事業の量の計画策定を求めます。 また、地域支援事業のニーズが増す一方で生活支援訪問型サービス事業者が少ない要因のひとつは、仙台市による人材育成が進んでいないことといえます。目標数を明記したうえで人材育成の計画を明示すべきです。また、事業の推進を図るうえで、仙台市の責任において訪問支援員養成研修修了者とサービス事業所のマッチング支援に取り組むことを求めます。	施策5
109	メール			介護情報を提供するために作られた「介護サービスの情報の公表システム」について、周知と活用することを求めます。このシステムにおいて、介護保険サービスを利用したい人のみならず、介護の仕事を目指す人、ケアマネジャーなどにも有効な情報が掲載されています。多方面に広報することを求めます。	施策5
110	メール			センターが機能を充分发挥できるよう、役割に応じた人員配置・見直しを図るための基本方針を明確に示すべきです。その上で、センターの業務量の増加に伴う人員体制の強化を賄える運営委託費とすべく、財源の確保を明記すべきです。	施策5
111	メール			センターが主催する地域ケア会議は、多職種連携で要介護高齢者の支援の専門性を向上させる効果があります。令和元年度には、中学校単位のセンターを支援する第1層の生活支援コーディネーターが各区に配置されました。配置に伴い、高齢者個人への支援の充実やそれを支える社会基盤の整備の推進が期待されます。 区主催の地域ケア会議を通じた連携が進むよう、担当職員のスキルアップの向上と各センターへの支援体制の強化を図るべきです。	施策5
112	メール			介護予防事業は、運動機能の維持・向上だけでなく、高齢者の生きがいづくりや社会参加にもつながる重要な役割を担う事業のひとつに位置づけられています。地域の実情や利用者のニーズに見合った地域支援事業の量の計画策定を求めます。 また、地域支援事業のニーズが増す一方で生活支援訪問型サービス事業者が少ない要因のひとつは、仙台市による人材育成が進んでいないことといえます。目標数を明記したうえで人材育成の計画を明示すべきです。また、事業の推進を図るうえで、仙台市の責任において訪問支援員養成研修修了者とサービス事業所のマッチング支援に取り組むことを求めます。	施策5
113	メール			介護情報を提供するために作られた「介護サービスの情報の公表システム」について、周知と活用することを求めます。このシステムにおいて、介護保険サービスを利用したい人のみならず、介護の仕事を目指す人、ケアマネジャーなどにも有効な情報が掲載されています。多方面に広報することを求めます。	施策5
114	メール			センターが機能を充分发挥できるよう、役割に応じた人員配置・見直しを図るための基本方針を明確に示すべきです。その上で、センターの業務量の増加に伴う人員体制の強化を賄える運営委託費とすべく、財源の確保を明記すべきです。	施策5
115	メール			センターが主催する地域ケア会議は、多職種連携で要介護高齢者の支援の専門性を向上させる効果があります。令和元年度には、中学校単位のセンターを支援する第1層の生活支援コーディネーターが各区に配置されました。配置に伴い、高齢者個人への支援の充実やそれを支える社会基盤の整備の推進が期待されます。 区主催の地域ケア会議を通じた連携が進むよう、担当職員のスキルアップの向上と各センターへの支援体制の強化を図るべきです。	施策5
116	市民説明会等			地域包括支援センターについて、次期計画期間中の新設予定はあるか。中学校区ごとで設置されているが、まだ設置が無いエリアについて、設置基準はあるか。	施策5
117	市民説明会等			地域包括支援センターでは様々な業務をしていると思うが、業務内容を周知するような冊子は作成しているか。	施策5
118	市民説明会等			より市民の目に触れる場所として、ショッピングセンターなどでの地域包括支援センターの周知活動に取り組んではどうか。	施策5
119	市民説明会等			認知症の人や障害者の方など、制度のはざままで埋もれている方への支援はどうしていくのか。	施策5
120	市民説明会等			看護職としては初期から重度の方まで関わる人が多いが医療現場での関わりが多いため、地域の方との接点が少ない。地域とのつながりを見える化していければよい。病院は地域とはつながりが切れているイメージがあるため、さらに連携していければよいと思う	施策5

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
121	電子申請	青葉区	40	<p>高齢者の増加は、現代社会における自治体の大きな課題となっています。これには様々な要因が絡み合っており、その対応には包括的なアプローチが必要です。</p> <p>まず一つの問題は、高齢者の社会的孤立と孤独感です。高齢者が孤独に感じる原因には、身体的な移動の制約や友人・家族の喪失、コミュニケーションの不足などがあります。これに対処するためには、地域社会との結びつきを強化し、高齢者が積極的に参加できる機会を増やす必要があります。地域コミュニティの中で支援ネットワークの構築が、孤立感を軽減する一助となります。</p> <p>次に、医療・介護サービスのアクセスの問題が挙げられます。高齢に伴う健康問題は増加しており、その対応として十分な医療・介護サービスが求められています。しかし、これにアクセスすることが難しい状況が見受けられます。待ち時間の長さや専門医の不足が課題であり、これに対処するためには、地域での医療リソースの向上や、予防的な医療・介護の提供が必要です。</p> <p>さらに、高齢者の住まいに関する問題も重要です。住居環境が不適切であると、高齢者の生活の質が低下し、介護が必要になる可能性が高まります。自治体は、高齢者向けの住宅整備やバリアフリーな環境整備を進めることで、安心して住み続けられる環境を整える必要があります。</p> <p>経済的な側面でも問題が生じています。高齢者の中には、生活費や医療費の負担が重く、経済的な不安を抱える人が増加しています。これに対処するためには、適切な経済支援制度の充実や、高齢者向けの雇用機会の拡充が求められます。</p> <p>最後に、高齢者の交通インフラとモビリティの課題が挙げられます。高齢者が安全かつ効果的に移動できる手段が限られているため、地域全体での交通インフラの整備や、公共交通機関のアクセシビリティの向上が必要です。</p> <p>これらの問題への対応には、地域全体での協働が不可欠です。自治体は、高齢者の声に耳を傾け、包括的かつ効果的な対策を講じることで、高齢化社会における健康で安心な生活を支えることができます。</p>	施策5
122	電子申請	泉区	893	<p>計画を拝見し、新規と拡充と目立ち重点が分かり易かったです。自身はポジティブエイジングを目指しています。全ての活動がケアプラザと連携していますのでケアプラザがあったらと希望します。町会の高齢者は賑わって行きませんが、高齢者は増え続けます。超高齢社会を迎えるにあたり、地域で安心して住める環境づくりの為に近く、気軽に相談できる場を是非お願い致します。</p>	施策5
123	電子申請	太白区	57	71ページの会議が多すぎる。一つにまとめた効率化できるとしょ	施策5
124	電子申請			<p>地域包括支援センターの職員の改善要望</p> <ol style="list-style-type: none"> **研修プログラムの充実化:** 職員が最新の情報やスキルを身につけるために、継続的で充実した研修プログラムを提供してください。 **労働環境の改善:** 快適な労働環境の確保や、職場の設備の向上を検討してください。働きやすい環境がモチベーション向上につながります。 **業務負担の見直し:** 業務負担が過重である場合は、効果的な業務の見直しや適切な仕事の配分を行い、ストレスの軽減を図ってください。 **コミュニケーション強化:** 職員同士や上司との円滑なコミュニケーションを促進する仕組みを構築し、情報共有がスムーズに行えるようにしてください。 **キャリアパスの明確化:** 明確なキャリアパスや昇進の機会を提供し、職員が将来にわたってやりがいを感じられる環境を整えてください。 **ワークライフバランスのサポート:** 職員が仕事とプライベートの両方を健康に両立できるよう、柔軟な勤務体系や休暇制度を検討してください。 **フィードバックと評価の透明性:** 職員が業績を正確に評価し、フィードバックを受けるための透明性のある制度を確立してください。 **情報システムの改善:** 仕事を効率的に進めるための情報システムを見直し、使いやすいツールを導入してください。 **クライアントとの関わり方の研究:** クライアントとの関わり方において、最新のケアやサポート方法に関する研究を進め、実践に組み込んでください。 **職員の声を反映した意思決定:** 職員からの意見や要望を積極的に取り入れ、組織の意思決定に反映させる仕組みを築いてください。 	施策5

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
125	電子申請	泉区	94	<p>第9期計画では「専門職による一体的なサービスの提供」をうたっており、実際に【葉】に相当するサービス提供事業所の中には区の医師会の運営する団体などもあり、専門的な見地からの利用者及び利用者家族への提言は貴重な内容であり、かつ、地域連携にも大きな役割を果たしている、一利用者家族の立場の経験から感謝している。しかしながら、ここでも【葉】につなぐ【茎】に相当する上記福祉法人の専門性に疑義をもち、第9期計画の実施にあたっての阻害要因になると考える。</p> <p>「専門性」とは学問上の資格のみを指すのではなく、「経験」に負うところが大きいと考えるからである。【茎】がつまっているために【葉】栄養が全体に回らず、【葉】も【茎】によって疲労し、枯れてしまい一体性を破壊している。れてしまい一体性を破壊している。</p> <p>前記両福祉法人のうち、仙台市社会福祉協議会は実際のサービスを提供する施設や事業所を持たず、結果、地域ケアに配置されている職員のうち、まったくの未経験者の社会福祉士が配置されるケースをみた。保健師/看護師も地域ケアに配置されて初めてケアプランを作成する者が大部分であり、結果、この2職種とも利用者のニーズと介護保険で定められたポイントの調整を現場で初めて経験することとなり、書類仕事に時間を取られるため利用者の声を聞くことにはおろそかになる。</p> <p>これは、他方の仙台市福祉サービス協会が、同協会の運営する別な施設でヘルパーとして働き始めたスタッフを社会福祉士やケアマネジャーに育てている【水】の働きを兼ねていることに比べると経験による「専門性」に疑義を持たれてもしかたのない状況であると考えます。</p> <p>また、別の法人は、その他の介護施設や病院の運営も行っている法人であり、地域ケアプラザに配置する社会福祉士、保健師/看護師はそれらの施設で経験を積み、その期間にケアマネジャーの資格をとった者に限定されていた。これは介護保険料からケアプラン作成に対する報酬が支払われることからみても、介護保険料を納めている者として納得がいく運営であると考えた。</p> <p>第8期計画の有効性のある実現、また、将来のために専門性を持った人材を育成してゆくためにも、地域ケアの運営を市が委託する指定管理事業者に仙台市社会福祉協議会を選任し続けることは、長期において市にとって不利益であり、市民に対する行政サービスの低下につながると考える。</p>	施策5
126	電子申請			<p>近所の地域包括支援センターが無くなってから新しいものはできないのか。 身近になく不便です。</p>	施策5
127	電子申請	太白区	89	<p>1. 人材確保と育成 - 地域包括ケアシステムへの人材流入を促進するため、医療・介護スタッフの採用促進プログラムを展開。同時に、継続的なトレーニングやスキルアップの機会を提供し、専門的な資格を取得する支援を充実させる。</p> <p>2. 情報共有と連携の促進 - デジタルプラットフォームを導入し、異なる機関や関係者間での情報共有を効率的に行えるようにする。標準化された電子カルテやコミュニケーションツールの利用を推進し、患者のケアプランが円滑に進行するようにする。</p> <p>3. 効果的な資金配分 - 地域ごとのニーズに合わせて資金を配分するメカニズムを構築。地域包括ケアシステムの拡充や改善に資するプロジェクトに対して、効果的な予算を確保する仕組みを構築する。</p> <p>4. 地域差異の解消とアクセシビリティ向上 - 地域ごとの差異を解消するために、必要な医療・介護リソースをより均等に配分する。また、モバイルクリニックや訪問診療の拡充など、遠隔地域へのアクセス向上を図る。</p> <p>5. テクノロジーの普及とデジタル格差の解消 - 高齢者やデジタル機器の利用が難しい層を考慮したテクノロジーの導入。トレーニングプログラムやサポート体制を整備し、デジタル格差の解消を目指す。同時に、患者と医療者とのオンラインコミュニケーションを円滑に行える仕組みを整備する。</p> <p>これらの具体的な取り組みにより、地域包括ケアシステムはより効果的で包括的なサービスを提供し、課題に立ち向かう強化された体制を築くことができるでしょう。</p>	施策5
128	電子申請	青葉区	56	<p>在宅医療連携拠点と通所事業所の連携はどの様に行っていくのか？医療連携拠点の仕組みや連携・活用方法が今一つ分かりにくい状況 項目では、医療との連携が地域ケアプラザやケアマネジャーに限定して強化するかのように見えるが、事業所としてはどの様に連携するべきと考えれば良いか？ 医療との連携がしやすい形を行政のバックアップを得て行く事も、事者および家族の支援として大変重要。家族として、医師に何を伝えどんな治療を得るかがわからないまま居るケースが多い。 運営規定の指定居宅介護支援事業者等との連携に在る様に「指定認知症対応型通所介護は、医療が必要とされる場合があることから、医療が円滑に提供できるよう、常に保健医療サービス等を提供する者との連携の確保に努めなければならないこと」が規定されている。 しかし、現状、デイとして利用者の主治医に状況を説明しにくい立場が依然としてある。医療としては「ケアマネを通じての情報」が正しい連絡の筋道と考えているケースが多いが行政としてスキーム作りをされるとすればどの様な形になりますか？</p>	施策5

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
129	電子申請	太白区	89	<p>地域包括ケアシステムは高齢化社会において重要な役割を果たしていますが、今後もいくつかの課題に直面することが予測されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人材不足 地域包括ケアシステムに従事する医療・介護スタッフの不足が懸念されます。需要が拡大する中で、適切な資格を持ったプロフェッショナルの確保が課題となり、これがサービスの品質に影響を与える可能性があります。 2. 情報共有と連携の課題 異なる機関やプロバイダーが関与する中で、情報共有や連携のスムーズな進行が求められます。しかし、情報の非連携や連携の不足が、患者のケアの連続性に影響を与え、最適なサービス提供を妨げる課題があります。 3. 財政的な制約 地域包括ケアの提供は、複雑で多岐にわたるサービスの統合が必要ですが、そのためには十分な資金が必要です。財政的な制約や予算不足が、充実したサービスの提供に制約をかける可能性があります。 4. 地域差異とアクセシビリティ 地域ごとの医療・介護インフラの差異が存在し、これがアクセシビリティの格差につながるものが課題です。遠隔地域や地方コミュニティにおいて、充実したケアサービスの提供が難しい場合があります。 5. テクノロジーの活用とデジタル格差 新たなテクノロジーの導入が進む中で、これを活用した効果的なケアの実現が課題です。また、高齢者や地域住民の中にはデジタル機器の利用が難しい方もおり、デジタル格差が生じる可能性があります。 <p>これらの課題に対処するためには、包括的で調整されたアプローチが必要です。地域包括ケアの進化と課題の克服に向け、持続可能で包括的なケアモデルの構築が求められます。</p>	施策5
130	市民説明会等			P81に「認知症の人同士が早期に出会える体制づくりの検討」とあるが、この取り組みの背景と具体的な取り組みのデザインについて伺う。	施策6
131	市民説明会等			認知症ピアサポーターの実例は多くあるのか。	施策6
132	市民説明会等			ピアサポートの活動は認知症カフェで行われているのか。	施策6
133	市民説明会等			ピアサポーターというのはオーソライズされているのか。ピアサポーターと話がしたい時はどのようにすればいいのか。	施策6
134	市民説明会等			当事者の会（おれんじドア）の窓口は広報されているのか。	施策6
135	市民説明会等			今回の計画は厚労省のオレンジプランに関連したものか。	施策6
136	市民説明会等			P77の新しい認知症観を広めていくために、何か説明会のようなものは開催するのか。	施策6
137	市民説明会等			新しい認知症観を広げるための動画はいつ頃完成予定か。	施策6
138	市民説明会等			「認知症の人同士が早期に出会える体制づくりの検討」について、若年性認知症の方と、高齢による脳の萎縮で認知機能が衰える人では状況が違う。同じ立場で同感し合える人がいればまた違うと思うが。自ら施設に足を運べるような方が対象のように感じるが、集団で委縮してしまうような人へのアウトリーチ型の支援はないのか。	施策6
139	市民説明会等			もの忘れ電話相談について、自身の経験を一般化してしまうような方が多く見られる。自身の経験を述べるだけで、誰の相談かわからないようなことがある。	施策6
140	電子申請			いつもお世話になっております。 義歯作製などの口腔機能の向上や口腔ケアは認知症の症状改善等につながるものの、認知症の方の歯科受診率は非常に低いのが現状となっています。また歯科医師の認知症の方への関りも低いものとなっています。 認知症初期集中支援チームに歯科医師の参加を促したり、歯科健診制度の拡充、認知症ご家族への口腔の健康に関する啓発活動等、歯科医師の関りを増やしていくことにより、認知症の方がより幸せに地域で暮らしていくことができるだけでなく、医療費の削減にもつながっていくのではないかと思います。	施策6
141	電子申請			●意見の内容 もの忘れ検診に行った方が良い「小さな異常」が何かを、具体的に市民に伝えていってください。「高齢になったから、もの忘れて然」と考えずに「小さな異常」に気づき、検診に行く人が増えるかもしれません。	施策6
142	電子申請			若年性認知症も受け入れ先が少ない。	施策6
143	電子申請		48	古い認知症感とはどういうことか。 今までの価値観を否定している	施策6

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
144	電子申請	太白区	66	67才の夫のアルツハイマー病に気づいて、2ヵ月近く。普段から健康そのもの、社交的で、日々運動もかさず、人間ドックも毎年受けてきましたので、言じられませんでした。生活は一変し、日々、介護の生活を送っています。検査が続く頃から相談してきたことは、不安ばかりの毎日の中、精神的に助けられました。今、介護保険の申請中です。明日、ケアサービスの体験を予定しています。我ことになって、初めてこの計画の重要性を痛感しています。介護は、先のことではなく、いつ自分にふりかかってくるかもしれないことを、皆さんにも伝えたいです。	施策6
145	電子申請	青葉区	92	<p>若年性認知症には、治療方法や防止策について理解を深めることが重要です。以下に、それぞれの側面に焦点を当てて詳しく述べていきます。</p> <p>治療方法</p> <p>薬物療法 一部の若年性認知症は、アルツハイマー病や他の原因に基づくものであり、特定の薬物（コリンエステラーゼ阻害薬やグルタミン酸拮抗薬など）が症状の進行を遅らせる効果が期待されます。薬物療法は個々の症例に合わせて検討され、医師の指示のもとで行われます。認知リハビリテーション 認知リハビリテーションは、記憶や言語などの認知機能を向上させるためのトレーニングを提供します。これには言葉の練習や問題解決の活動が含まれます。認知リハビリテーションは専門のスタッフが適切に指導し、患者の生活機能の維持を支援します。行動療法は、認知症に伴う問題行動や感情の管理に焦点を当てます。カウンセリングや行動の変容を促す方法が組み合わせられ、患者と家族のストレスの軽減を図ります。サポートグループの活用 若年性認知症患者とその家族のためのサポートグループは、情報の共有や励まし合いの場として機能します。共通の経験を持つ他の参加者からの支援は心の健康を促進します。</p> <p>防止策 健康的な生活習慣の維持： 良好な食事、適度な運動、十分な睡眠は脳の健康を維持するために重要です。これらの生活習慣の改善が若年性認知症の予防につながります。認知機能のトレーニングや脳トレーニングゲームは、脳を刺激して活性化させる助けになります。これにより、神経細胞の結びつきが促進され、認知症の発症リスクが低減します。心身の健康の維持 高血圧、糖尿病、高コレステロールなどの生活習慣病の管理が重要です。これらの疾患は脳の健康に悪影響を与える可能性があり、予防が若年性認知症に対する防御策となります。社会的な活動の促進 社会的な活動は脳の活性化に寄与し、認知症の予防に効果があります。趣味や友達との交流、新しいことへの挑戦は精神的な健康を促進します。近年、脳トレーニングアプリが開発されており、スマートフォンやタブレットを使ったゲーム形式のトレーニングが可能です。これらのアプリを利用することで、気軽に脳を刺激することができます。若年性認知症には遺伝的な要因も関与しています。遺伝的リスクを知り、適切なカウンセリングを受けることで、予防策を早期に検討できます。早期の症状の発見やリスクの評価のために、専門の医師による診察や定期的な健康チェックが重要です。異常が見つかった場合、早期の対応が若年性認知症の進行を遅らせる助けになります。</p> <p>これらの治療方法と防止策を総合的に組み合わせることで、若年性認知症に対する包括的なアプローチが可能となります。早期の介入や予防活動が、患者とその家族の生活の質を向上させる一助となります。</p>	施策6
146	電子申請	泉区	67	認知症という記載をやめてほしい。認知症で困ってる人に失礼だと思います。	施策6
147	電子申請	青葉区	68	認知症もいろいろな人がいる。暴力・問題行動がある人が難しい。	施策6
148	電子申請			認知症予防対策の推進強化をしていただきたいです。また、認知症事業の行政担当職員の人材を育成してほしいです。	施策6
149	電子申請	青葉区	92	身の回りの認知症の方は困っています。早く支援策を検討し実行してください。	施策6
150	電子申請			認知症の家族への支援が足りていない。	施策6
151	電子申請	青葉区	92	高齢者は認知症のリスクが増加します。加齢とともに脳細胞が減少し、認知機能が低下する傾向があります。予防策として、健康的な生活習慣の維持、認知トレーニング、社会的な活動の促進が重要です。早期の検診や医療の受診も大切です。	施策6
152	市民説明会等			認知症の人の行方不明が多くなっていることであるが、警察官の認知症の人への理解を深めないといけないのではないかと感じている。	施策6
153	市民説明会等			認知症の本人と家族より、「行政職員が本人や家族のところへ行き、声を拾ってほしい。」「私たちの声をどのように届けばいいのか。」という意見があった。忙しい中であることは承知だが、さらに本人、家族のもとへ足を運んでほしい。	施策6
154	市民説明会等			認知症グループホーム協会共催の研修会にて、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」について栗田圭一先生が講演をされた。その際、認知症基本法の肝は「共生社会というビジョンを実現するために、権利ベースのアプローチを通して認知症フレンドリー社会を創り出す」ことだとおっしゃっていた。多職種連携を考える場合に権利ベースのアプローチがどのようなものなのかを共通言語としていく必要があると考える。啓蒙に関して配慮していただきたいと思う。	施策6

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
155	市民説明会等			認知症疾患医療センターは4か所あるが、診断後支援としてのピアサポートを厚労省から要請されている中なかなか進んでいないのが現状である。認知症疾患医療センターの地域連携室を中心にピアサポートを行っている。その連携室の職員同士の交流や勉強会、当事者を中心とした共同創造をするため集まり等を定期的に仙台市のほうから声掛けしていただければありがたい。	施策6
156	市民説明会等			チームオレンジの取り組みについて、国の資料からすると、サポーターや推進員等や地域の方がチームをもって、当事者や家族の支援を行っていく地域の中での支えあいの体制づくりだと思う。現状、町内会等の担い手不足は回避できない部分があり、チームオレンジの実現が可能かどうか不安を感じている。ぜひ実現していただきたい。	施策6
157	市民説明会等			歯科医師会では認知症の方の早期対応を学ぶため、毎年度認知症対応力向上研修会を実施している。在宅訪問歯科等、認知症の方と関わる場合、重度の方が多く、本人がどうしたいかを訴えることができない場合が多い。対応力向上研修会を実施しているため認知症初期の方と関わりたいがタイミングがない。仙台市は定期健診を妊婦も含めて世代別にやっているため、認知症の患者に対しても認知症の診断が出たらすぐに歯科に行くという仕組みがあれば、歯科医師は認知症初期の段階で協力できると考える。	施策6
158	市民説明会等			「介護支援専門員（ケアマネジャー）等への、認知症の人の意思決定支援をするためのツールの活用等の啓発」は大変興味深い。現状、リスク、心配、やさしさ等から本人の意思ではなく、家族や支援者等の思いを優先するということが多くなりがちである。その人のことはその人と話し合う、その人の権利から考えるというヒューマンライフベースド・アプローチ、人権モデルで考えることが必要である。ケアマネジャーだけでなく、認知症の人に関わるいろいろな専門職が同じ視点でなくてはならない。ケアマネジャー協会としては認知症の人と関わる福祉や医療、その他諸々の方々と勉強会を続けていきたい。	施策6
159	市民説明会等			サテライト型グループホームの基準が創設されたことにより、今回の計画においては相当数のグループホームが増えるものと考えていたが、計画に記載がない。この点はどうなっているのか。	施策7
160	電子申請	青葉区	65	介護医療院は、病院と違うのですが	施策7
161	電子申請			特養ホーム増設して下さい。特養ホームはもっと増やしてほしい特別養護老人ホームが足りない。箱もの建設行政でも、福祉施設の建設に予算執行を。そもそも、特別養護老人ホーム自体が足りないのです。箱もの建設行政でも、福祉施設の建設に予算執行を。施設整備について ・特養整備、今、どのくらい必要なのか、これからどれだけ必要なのか ・老健などは、利用希望者を紹介してほしいという声も聞く ・作って、利用者がいないのではまずいのでは施設入所待ちを解消する、必要に見合った数、利用料の安い、身近に介護施設をつくってください2025年度をみすえて特養ホームの増床を是非して下さい。特養ホームの建設計画も進まない。市民の為にどうして使わないのか？特番を早く待って下さい。	施策7
162	電子申請			安心して入所できる特養の建設をして下さい。今まで納税、納保険料で国民としての責任を果たしました。これからは国の責任を果たしてください。	施策7

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
163	電子申請	太白区	70	<p>介護医療院の必要性和需要は、高齢化社会の進展と共にますます重要性を増しています。以下に、その要点をまとめます。</p> <p>必要性： <input type="checkbox"/> 高齢者の増加： <input checked="" type="checkbox"/> 四口の高齢化が進む現代社会において、高齢者の医療と介護が不可欠です。介護医療院は高齢者の特別なニーズに対応する施設として重要な存在です。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 複合的な医療ニーズ： <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者は慢性疾患や認知症など、複合的かつ専門的な医療ニーズを抱えることが一般的です。介護医療院はこれらの疾患に対する包括的な医療とケアを提供できる環境を提供します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療の限界： <input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療が進んでいるものの、一部の高齢者は自宅での生活が難しい状況にあります。介護医療院は、必要な医療と介護を提供しつつ、安心して生活できる場を提供します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 家族のサポートが限定的： <input checked="" type="checkbox"/> 家族が介護や医療のサポートを行うことが難しい場合もあります。介護医療院は、患者とその家族に安心感を提供し、プロのスタッフが専門的なサポートを行います。</p> <p>需要： <input checked="" type="checkbox"/> 専門的な医療と看護ケア： <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者は慢性的な病気や複数の健康課題に直面しています。介護医療院は専門的な医療と看護ケアを提供し、入居者の健康を維持向上させる役割を果たします。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 認知症ケアの需要： <input checked="" type="checkbox"/> 認知症が増加する中、そのケアが求められています。介護医療院は認知症患者に対する専門的な支援と安心した環境を提供します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> リハビリテーションと日常生活のサポート： <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者は体力や機能の低下が起こりやすく、リハビリテーションが必要な場合があります。また、介護医療院は入居者が日常生活を快適に送るためのサポートを提供します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 安心できる居住環境： <input checked="" type="checkbox"/> 全てで清潔な施設で、プロのスタッフが24時間サポートを提供する介護医療院は、高齢者やその家族にとって安心できる居住環境を提供します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 家族の助けが限定的な場合： <input checked="" type="checkbox"/> 家族が介護に負担を感じる場合や、高齢者が孤独を感じる場合、介護医療院が支えとなり、安心感を提供することが求められます。</p> <p>以上の要因から、介護医療院は高齢者やその家族にとって、専門的で包括的なサポートを提供する不可欠な存在となっています。</p>	施策7
164	電子申請	青葉区	56	<p>定期巡回（随時）訪問介護サービスを行っている者です。8期の素案を拝見して今後「24時間地域密着サービスの推進」とあり、それならばご提案させて頂きたくメッセージを入れました。今、私達のサービスを撤退しようかという話が出ています。それはこのサービスの知名度が低くなかなかご利用者が増えず、またサービス柄度などご利用者も多いため亡くなられたり入退院をされるなどあり24時間体制の中PR活動などの時間も取れない現状があります。そのため利益が出にくく赤字が続き本部から警告が出ているところです。</p> <p>私は施設勤務も経験しましたが、確かに定期巡回（随時）訪問介護サービスはご家族が遠くにいらっしゃる方、認知症の方、ご家族の介護離職防止、末期ではあるが自宅に戻りたい医療の必要な方、また退院後施設検討までだけでも自宅という方など在宅の限界点を上げており、とても社会貢献度の高いサービスだと思います。</p> <p>利益が出にくい理由として認知不足でご利用者が増えない事が大きいです。</p> <p>ケアマネや包括などへの営業活動などの自助努力もさることながら、市の広報などでももっとPRしていただき市民の皆様幅広く知っていただきたいです。またケアマネ研修などでも取り上げていただきたいです。</p> <p>小規模多機能などは度々広報やマスメディアなど出ていますが、定期巡回（随時）訪問介護サービスはあまり出ていません。</p> <p>私達は大変ではありますがご利用者やご家族にとっても喜ばれているこのサービスを市の今後の方針に沿うのであれば何とか存続させてお役に立ちたいと思っています。</p>	施策7
165	電子申請			<p>今介護が必要な高齢者は、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの影響でデイサービスなどに通えず、身体機能、認知機能が低下した高齢者が増えている。また、新型コロナウイルス感染症の影響による介護事業所のダメージは深刻である。仙台市として状況を把握し、適切に対応できるための事業計画を策定すること。</p>	施策7

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
166	電子申請	青葉区	63	<p>特別養護老人ホームの現状の課題や改善点には様々な側面があります。まず第一に、人口の高齢化に伴い需要が増加している一方で、適切な施設やケアスタッフの不足が顕著です。これにより、入居待ちの高齢者が増え、待機期間が長くなることが問題となっています。また、これらの施設での介護人材の質や量に関するトレーニングや確保の課題も存在します。</p> <p>さらに、高齢者の個々のニーズや健康状態は多岐にわたりますが、それに対応できるカスタマイズされたケアが不足していることが挙げられます。運営者やスタッフが入居者の個別の要望や健康状態に敏感に対応するための体制の整備が求められています。</p> <p>その他、施設内の環境整備やアクセシビリティの向上も重要です。バリアフリーな施設への改修や、認知症などの特別なケアが必要な入居者への適切な環境提供が必要です。同時に、居住者同士のコミュニケーションや活動の場を増やすことも、心身の健康促進に資するでしょう。</p> <p>財政的な課題も考慮すべき点です。施設の運営コストや入居者の負担が高まりつつあり、これが入居者の選択肢を狭める一因となっています。公的な支援策や助成金の増加、施設の効率的な経営手法の導入が必要です。</p> <p>このような課題への取り組みとして、地域社会との連携を強化し、在宅介護の充実を図ることも一つの方策です。また、テクノロジーの活用や効果的な施設マネジメント手法の導入も、サービスの質を向上させるために必要です。</p> <p>総じて、特別養護老人ホームの現状の課題への対応には、施設の拡充や改善だけでなく、包括的で持続可能なアプローチが求められています。</p>	施策7
167	電子申請	宮城野区	78	<p>特別養護老人ホームは入所待ち期間を半年以内に短縮されるよう整備すること。介護保険料が高くなる一方で利用できるサービスが減り、特別養護老人ホームにも1年も待機させられている人もいます。</p>	施策7
168	電子申請			<p>「介護保険事業者に対する指導・監査の強化」について この度のコロナ禍で、おわかりになったと思いますが、すみませんが、市当局の皆さんはお役に立ちませんでした。（正確には人員や体制の緊縮事情で、その気があっても出来なかったのでしょうか・・・）これらを踏まえると、皆さん（市や委託業者）に、事業者を指導監査する資格はないと考えます！（必死に頑張っている）介護保険事業者を単に委縮させるだけの摘発めいた指導ではなく、本当に事業者の支えになるような支援、助言、ロールモデルを示せるような計画作りをお願いします。</p>	施策7
169	電子申請	青葉区	90	<p>最近の高齢者施設の利用について、昔と違って色々な制度が絡み合っとなかなか分かりにくい。また特養は費用が安いけど待機者が多いと聞いている。最近聞いた話で、特定施設でお世話になっているが領収書も一目瞭然で分かりやすく、費用も抑えてもらっていると聞いた。なぜこのようなシンプルな建物が増えていかないか不思議である。先を見越した考えをお持ち願いたい。</p>	施策7
170	電子申請	青葉区	63	<p>特別養護老人ホームの課題へのアプローチには、包括的で継続可能な取り組みが必要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人材確保とトレーニングの強化 ケアスタッフの不足に対処するために、介護人材の確保を促進し、継続的なトレーニングプログラムを提供します。 専門的な介護技術や認知症ケアに特化したトレーニングを強化し、高度なケアができるスタッフを増やします。 2. 個別ケアの充実 入居者の個々の健康状態や要望に応じたカスタマイズされたケアプランを導入します。 入居者とその家族との連携を強化し、定期的な面談を通じてケアの調整を行います。 3. 施設の改善とアクセシビリティ向上 バリアフリーな環境整備を行い、特に認知症などに対応した設備の充実を図ります。 屋外や共用スペースを整備し、居住者同士の交流やアクティビティの機会を増やします。 4. 財政的な支援策の検討 公的な支援策や助成金の拡充を推進し、入居者やその家族の経済的負担を軽減します。 施設の経営効率を向上させるための支援プログラムを提供し、コスト削減の余地を模索します。 5. 地域社会との連携 地域の在宅介護資源との協力を強化し、高齢者ができる限り自宅で生活できるよう支援します。 地域ボランティアや専門機関との連携を通じて、高齢者の社会参加や孤立の軽減に寄与します。 6. テクノロジーの活用 介護ロボットやヘルスケアテクノロジーの導入を検討し、スタッフの業務負担軽減と入居者の健康モニタリングを強化します。 デジタルヘルスレコードの導入など、情報共有を円滑にし、ケアの連携性を向上させます。 <p>これらのアプローチは単独ではなく、総合的に展開することで、特別養護老人ホームの課題に対する持続的な改善が期待できます。 ぜひ展開してください。</p>	施策7

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
171	電子申請			特養ホームも、もっと増やしてほしいです。	施策7
172	電子申請	宮城野区	78	施設整備について ・特養整備、今、どのくらい必要なのか、これからどれだけ必要なのか ・老健などは、利用希望者を紹介してほしいという声も聞く ・作って、利用者がいないのではまずいのでは	施策7
173	電子申請			本庁舎の建物と土地を売却して、同じ場所に介護施設を作ろう。庁舎内に介護施設をつくれれば、高齢者が生き生きと生活できる空間づくりが可能になる。もしも断るのなら4,500字以上5,000字以下で簡潔に述べよ。	施策7
174	電子申請			私の田舎で該者（老夫婦二人暮らし）から話を聞きました施設の入所待ちは5年、待っている間に命が切れてしまいますその方は、夫は認知症で清潔、不潔に関係ないふるまい、介護度3になったと言います夫人は足腰の具合が悪く対応しきれないでも施設は入所者いっぱい、ショートステイも利用者いっぱい施設料が高くてとても入れない「高い保険料払っているが、介護保険っていったいどうなっているんでしょう」とこぼしています夫人は、「愚痴をこぼせる人もいない、聞いてくれるだけでも気持ちが悪くなる」と言って話してくれました 近所の方のお話を聞いています横浜市でも入所待ちは11か月とか、近くに施設がない、施設に入った時には、いろいろの使用料、利用料が高い、結局、入所をあきらめたといいますそれは、すぐさま、対応する家族に大きな負担としてのしかかります母の介護を体験したこの方は、「私が年をとったころにはもっとよくなっているかしら」と	施策7
175	電子申請	若林区	60	外国人介護人材の増加には慎重な検討が必要です。まず第一に、言語や文化の違いがコミュニケーションやサービス提供に課題を生じる可能性があります。また、介護は感情や人間関係が重要な要素であり、外国人介護者が患者との信頼関係を築くことが難しい場合があります。更に、地域社会においても外国人労働者の受け入れに対する課題や懸念が生じ、社会的な摩擦が懸念されます。これらの点を考慮し、国内の介護人材の養成や働きやすい環境の整備に注力することが先決であると言えます。日本人労働者の賃金を増やすことから目を逸らし、外国人を雇用するという安易な考えはやめていただきたい。	施策8
176	電子申請	宮城野区	67	日本の人口減少は介護職員の今後に深刻な影響を与える可能性があります。高齢者が増加する中、介護ニーズが増大している一方で、働き手となる若年層の減少が続いています。これにより介護職員の不足が深刻化し、質の高いサービス提供が難しくなるでしょう。人手不足が続けば、労働環境の悪化や介護の品質低下が懸念されます。解決策としては、介護職の働きやすい環境整備や効果的な教育プログラムの充実が重要です。同時に、技術やロボティクスを介した補完的なケア手段の開発も検討されるべきです。政府や企業は積極的に介護職員の確保策を講じ、将来にわたる社会的な課題に対処していく必要があります。	施策8
177	メール			介護人材の不足は業界全体として深刻な状況であり、介護サービス事業所は人材不足により、困難な運営状況となっているところも少なくありません。事業所のみでの経営改善による職員の処遇改善は、大変厳しい状況です。 介護人材を確保するためには、更なる処遇改善が実施できる報酬体系となるよう、国に対し積極的に働きかけ、実現するよう要求すべきであり、その旨を計画に明記すべきです。	施策8
178	メール			介護人材の不足は業界全体として深刻な状況であり、介護サービス事業所は人材不足により、困難な運営状況となっているところも少なくありません。事業所のみでの経営改善による職員の処遇改善は、大変厳しい状況です。 介護人材を確保するためには、更なる処遇改善が実施できる報酬体系となるよう、国に対し積極的に働きかけ、実現するよう要求すべきであり、その旨を計画に明記すべきです。	施策8

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
179	電子申請	青葉区	17	<p>介護現場で働くことは、人々の生活に深く関わり、社会に貢献する非常に意義深い仕事です。外国人労働者として介護に従事することで、異なる文化やバックグラウンドを持つ利用者との交流を通じ、共感力や人間性を深めることができます。</p> <p>まず、介護職は高齢者や障がい者など、支援が必要な方々の生活の質を向上させる役割を果たしています。彼らと共に過ごし、基本的な生活サポートから心のケアまで提供することで、彼らが尊重され、安心して生活できる環境を作り出すことができます。その結果、彼らの生きがいや幸福感が向上し、社会全体にポジティブな影響を与えます。</p> <p>外国人として働くことは、多様性と包括性を促進する要素でもあります。異なる文化を理解し、異なる言語を操ることで、利用者とのコミュニケーションが深まります。これにより、異なるバックグラウンドを持つ労働者同士が協力し合い、より良いケアを提供することが可能です。多文化共生の一環として、異なる価値観や習慣を尊重し、共に学び合うことが介護サービスの向上に繋がります。</p> <p>介護労働は、他の職種と比べて身体的・精神的な負担が大きい場合がありますが、その中で成し遂げる達成感ややりがいは非常に大きいものです。日々の小さな変化や進歩が、利用者との信頼関係を築く上で重要です。例えば、手の動きが不自由な利用者が、少しずつ自分でできるようになった瞬間や、認知症の方が笑顔で話しかけてくれた瞬間など、これらの瞬間こそが介護の醍醐味です。</p> <p>介護労働者は、患者や利用者と直接対話し、感情や喜びを共有する役割も果たします。これによって、単なる作業ではなく、人としての温かさや人間関係の重要性を深く理解することができます。利用者の生命体験や知識に触れることで、人間の多様性や共感力を高め、自身もより豊かな人間性を培うことができます。</p> <p>さらに、介護労働は将来的にますます需要が高まる分野であり、社会的にも重要視されています。そのため、介護労働者としてのスキルや経験は将来の職業安定性に繋がります。外国人労働者として介護の分野に身を投じることは、自らの成長とともに、社会に対する貢献も大きなものとなるでしょう。</p> <p>総じて、介護現場で働くことは単なる仕事以上のものであり、他者への成長や満足感をもたらす非常に意味深い職業です。外国人労働者としての貢献は、多様性を尊重し、共感力を培い、介護サービスの向上に寄与する素晴らしい機会となるでしょう。</p>	施策8
180	電子申請	青葉区	13	<p>私は60代の介護職員として、長いキャリアを積んできました。私の名前は「田中（たなか）」といいます。この道に進むきっかけは、自身の家族が介護を必要とした経験からでした。その経験が私に、他者を助けることの重要性や人間関係の深さを教えてくれました。</p> <p>私の仕事のやりがいは、何よりも利用者との交流と信頼関係の構築にあります。彼らと共に時を過ごす中で、笑顔や感謝の言葉をいただく瞬間が何よりも喜びをもたらしてくれます。介護は単なる仕事ではなく、人と人との繋がりを築くこと。利用者との一体感を感じることが、私にとって最大のやりがいとなっています。</p> <p>私は利用者が自立した生活を営む手助けをすることにやりがいを感じています。例えば、認知症を抱える方が、少しでも自分で何かできるようになったとき、その成長や喜びを共有できることが何よりも嬉しい瞬間です。また、高齢者としての経験や知識を活かし、利用者にとって心地よい環境づくりに努めています。自分の経験が、利用者の生活をより豊かにする手助けになればと考えています。</p> <p>また、仕事の中で特に大切にしているのは、利用者を単なる「介護の対象」としてではなく、一人の人間として尊重し、個々のニーズに真摯に向き合うことです。彼らの生活環境や趣味、家族構成など、細かいところまで理解し、その上で適切なサポートを提供することが重要だと感じています。</p> <p>しかしながら、介護の仕事にはさまざまな課題も存在します。まず、人手不足が深刻な問題となっています。利用者一人ひとりに十分なケアを提供するためには、時間と労力が必要ですが、限られたスタッフで多くの利用者を支えることは容易ではありません。これが、利用者との密なコミュニケーションや十分なケアを難しくする一因となっています。</p> <p>また、介護の現場では身体的・精神的な負担が大きいことも事実です。重度の障がいを抱えた利用者のケアや急変時の対応は、体力やメンタル面の強さが求められます。これが続くと、労働者のストレスや疲労が蓄積され、長期的なキャリアを継続することが難しくなります。</p> <p>特に60代という年齢層では、身体の衰えや健康状態に気を配る必要があります。しかし、それでも私は利用者との触れ合いやサポートが私にとっての生きがいであり、引退を考えるほどではありません。むしろ、経験と知識を生かし、後輩や若手スタッフにサポートを提供することで、組織全体の力を高めていくことが大切だと考えています。</p> <p>社会全体で介護の重要性が高まる中、介護労働者の働きやすい環境づくりや、スキル向上のサポートが必要です。さらに、労働者同士の連帯感や励まし合いが、困難な瞬間を乗り越える力となります。私は今後も利用者の笑顔と、同僚との協力を大切にし、介護現場において自らの経験と情熱を注ぎ続けていく覚悟です。</p>	施策8
181	電子申請	太白区	50	<p>高齢化社会の進展に伴い、介護事業所における働き手の需要が急増しています。地域社会の健全な機能を維持し、高品質な介護を提供するために、熱心で情熱的な方々の積極的な参加が必要です。介護の重要性を理解し、人間性あふれるサービスを提供できる仲間たちを強く求めます。</p>	施策8

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
182	電子申請	泉区	60	<p>円安が介護施設で働く人材の確保に及ぼす影響は複雑で多岐にわたります。まず、円安が進むと、日本国内での賃金水準が相対的に低下し、これが介護職における雇用の魅力を減少させる一因となります。以下に、この問題が引き起こす具体的な課題を詳しく探っていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> **経済的な影響と賃金格差:** 円安により、外国からの投資や輸出が促進される一方で、国内の賃金水準は相対的に低下します。これにより、介護施設で働く人材に対する賃金格差が拡大し、他の産業や外国での仕事が魅力的に映る可能性が高まります。結果として、介護施設が競争激化に直面し、優れた人材の確保が難しくなります。 **労働条件の悪化:** 円安による賃金低下が進むと、介護職における労働条件も悪化する可能性があります。これは働く意欲を低下させ、高度なスキルや専門知識を持つ人材が介護施設での雇用に二の足を踏む原因となります。長時間の勤務や厳しい労働環境が人材流出を招くことが懸念されます。 **人材確保の困難さ:** 介護施設は既に人材不足に悩んでおり、円安がこれを加速させることで、施設のスタッフ数不足が深刻化します。介護は高度なスキルが求められる職種であり、人手不足は質の高いサービス提供にも影響を及ぼします。適切な訓練を受けたスタッフの不足は、入居者のケアに支障をきたす可能性があります。 **外国人労働者の雇用増加の困難さ:** 介護施設は外国人労働者の雇用を検討するケースが増えています。円安が進むと外国人にとっての日本での労働が魅力的でなくなる可能性があります。通貨の価値低下により、外国人に支払う賃金を実質的に減少することで、外国人労働者の確保が難しくなります。 **施設の運営コスト上昇:** 円安は輸入品価格の上昇を招き、介護施設が利用する医療機器や薬品などの購入コストが増加します。これが介護施設の運営コストに直結し、予算の圧迫を引き起こす可能性があります。結果として、適切な設備やサービス提供が難しくなり、入居者に影響が及ぶ可能性があります。 **地域格差の拡大:** 円安が介護施設における雇用を不利にすることで、地域格差が拡大する可能性があります。経済発展の進んだ地域ほど、介護職の魅力を低下させる要因が増え、これにより地域間での人材流出が進むことが懸念されます。 **国の介護政策への影響:** 介護施設の人材不足が進むと、これに対応する形で国の介護政策が変更される可能性があります。しかし、円安が進む状況では、予算の制約から十分な支援が期待できないため、介護サービス全体の質が低下する懸念があります。 <p>まとめると、円安は介護施設で働く人材の確保に様々な課題をもたらします。賃金格差や労働条件の悪化が人材流出を招き、外国人労働者の雇用も困難になる可能性があります。これが施設の運営においてコスト上昇やサービス品質の低下を招く可能性があり、最終的には入居者やその家族にも影響を及ぼすでしょう。円安の進行に対する対策が求められる中、介護分野においても適切な人材確保と施設の持続可能な運営が重要な課題となります。</p>	施策8

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
183	電子申請	太白区	30	<p>処遇改善加算の増加が介護事業所において必要不可欠である理由は多岐にわたります。これには、職員の働きやすさ、サービス提供の質の向上、顧客満足度の向上などが含まれます。以下では、処遇改善加算の増加に関する重要な点を探りながら、なぜこれが介護事業所にとって重要なのか詳しく探ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> **人材確保と定着の促進:** 処遇改善加算の増加は、介護職員の賃金向上に繋がり、人材確保と定着に寄与します。高いモチベーションを持ちながら働くことができる職場環境は、介護職員が専念できる要因となります。これにより、質の高いケアが提供され、結果的にサービスユーザーにとっても満足度が向上します。 **職員の働きやすさと労働環境の向上:** 処遇改善加算の増加は、職員の働きやすさと労働環境の向上に直結します。介護職は非常に責任の大きな仕事であり、専門的なスキルと負担が大きい職務です。それにもかかわらず、十分な報酬が得られることは、職員にとって仕事へのモチベーションを維持する重要な要素となります。 **専門的なスキルの向上:** 適切な報酬を提供することで、介護職員は自身のスキルを向上させるために継続的な学習やトレーニングに参加する余裕を得ることができます。処遇改善加算の増加が実現すれば、組織内のトレーニングプログラムや教育施策を充実させ、職員全体の専門性向上に寄与するでしょう。 **サービス提供の安定性と質の向上:** 処遇改善加算が増加することで、介護事業所はスタッフの定着が増え、それに伴いサービス提供の安定性が向上します。安定した職員体制は、入居者やその家族にとって信頼感を生み出し、サービス提供の質の向上に寄与します。 **業界全体のブランド向上:** 処遇改善加算の増加は、介護事業所の雇用主としての評判向上にも繋がります。業界全体で職員への適切な処遇が行われることで、介護事業所は優れた雇用先としてのブランドイメージを確立でき、有資格者の引き込みや競争力の向上に寄与します。 **業界標準の向上と競争力の強化:** 処遇改善加算の増加は業界全体の賃金水準向上に繋がり、これによって業界全体の標準が向上します。競争が激化する中、優れた処遇を提供する介護事業所は有能な人材を引き寄せ、競争力を強化することができます。 **顧客満足度と信頼感の向上:** 処遇改善加算が介護職員に適切な処遇を提供することで、職員はより良いケアを提供し、それが顧客満足度の向上に繋がります。また、入居者やその家族にとっては、信頼できるケアプロバイダーとしての選択肢となります。 **効果的な人事管理と計画:** 処遇改善加算の増加は、人事管理と計画において効果的な施策を実行する余地を提供します。適切な報酬が得られることで、スキルや経験を持つ職員の配置や配置転換が柔軟に行え、効率的なチームの構築が可能になります。 **離職率の低減:** 処遇改善加算が増加すれば、職員の離職率が低減することが期待されます。離職率の低減は組織にとっての安定性をもたらし、新たな採用やトレーニングにかかる費用を削減する要因となります。 **経済的な側面と社会への影響:** 	施策8
184	電子申請	青葉区	40	<p>なんで介護人材確保の点で外国人の話が出てくるのでしょうか。 今いる職員の給料を引き上げることが先ではないでしょうか。 市役所はもっと近道を通して問題を解決してください。</p>	施策8

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
185	電子申請	太白区	56	<p>1. **教育プログラムの拡充:** 介護職に転職を考える人々に対して、必要なスキルや知識を提供するための教育プログラムを充実させましょう。</p> <p>2. **資格取得支援:** 介護職の資格取得に対する支援策を実施し、資格取得を促進することで、転職者を増やします。</p> <p>3. **雇用保証制度:** 介護保険事業所への転職を考える人に対し、安定した雇用を保証する制度を導入して不安要因を軽減しましょう。</p> <p>4. **経済的なインセンティブ:** 介護職に転職した場合に一定期間、特別な経済的なインセンティブを提供する政策を導入し、転職者を奨励します。</p> <p>5. **職業紹介イベントの拡充:** 介護保険事業所と求職者を結ぶための職業紹介イベントやフェアの充実を図り、双方のニーズをつなげる場を提供します。</p> <p>6. **職業紹介エージェントの活用:** 専門のエージェントを活用して、求職者と介護事業所をマッチングさせるサポートを提供します。</p> <p>7. **働きやすい労働条件:** 介護職の働きやすさを向上させ、柔軟な労働条件や福祉制度の整備を進めましょう。</p> <p>8. **地域社会との連携:** 地域社会との協力強化により、介護職に対する理解を深め、転職者の増加を図ります。</p> <p>9. **キャリアアップ制度:** 介護職におけるキャリアアップの機会を提供し、将来性を感じやすくするための制度を整備します。</p> <p>10. **職場環境の改善:** 介護保険事業所の職場環境を改善し、働きやすい環境を整えることで、転職者を引き寄せます。</p> <p>11. **新卒者へのアプローチ:** 大学や専門学校などからの新卒者に対しても、介護職への就職をアクティブに提案する支援策を講じます。</p> <p>12. **テクノロジーの導入:** 介護業務を支援するテクノロジーの導入やトレーニングを通じて、効率性を向上させます。</p> <p>13. **多様な働き方の選択:** フルタイムやパートタイム、フレキシブルな働き方を選べるような制度を導入し、多様な働き手を受け入れます。</p> <p>14. **介護職員同士の情報共有:** 現場で働く介護職員同士が情報を共有できるプラットフォームの整備を行い、仕事の魅力を広めます。</p> <p>15. **助成金制度:** 介護保険事業所が新たな職員を雇用する際の助成金制度を拡充し、雇用を促進します。</p> <p>16. **メンターシッププログラム:** 経験豊富な介護職員が新規転職者をサポートするメンターシッププログラムを実施し、安心感を提供します。</p> <p>17. **業界向けの求人ポータル:** 介護職の求人情報をまとめたポータルサイトを整備し、求職者が容易に情報収集できるようにします。</p> <p>18. **社会的な評価の向上:** 介護職の社会的な評価を向上させ、仕事のやりがいや重要性を広くアピールします。</p> <p>19. **職場体験プログラム:** 転職者が介護保険事業所での仕事についてリアルな体験をできるプログラムを整備し、魅力を伝えます。</p> <p>20. **地域住民との交流イベント:** 介護職員と地域住民が交流できるイベントを開催し、地域コミュニティとの一体感を強化します。</p> <p>これらの政策が連携して実施されれば、介護保険事業所への転職者を増やす一助となり、介護業界全体の発展に寄与することが期待されます。</p>	施策8
186	電子申請			<p>円安が介護保険に与える影響について考察します。円安は、日本の輸出企業にとっては好都合となる一方で、輸入品や原材料の価格上昇を招く要因となります。これが介護保険にどのような影響を及ぼすか、以下に示します。</p> <p>まず、円安が進行すると、輸入品や原材料の価格が上昇します。介護保険事業所が利用する医療機器や医薬品、介護用具などがこれに該当します。これにより、介護保険事業所の経営コストが増大する可能性があります。コスト上昇が続くと、サービス提供の安定性や質に影響を与える可能性があります。</p> <p>また、介護職の給与にも円安が影響を及ぼす可能性があります。介護職は人手不足が深刻な課題であり、職員確保が急務です。円安によって物価が上昇し、生活費が増加するなかで、介護職の給与水準が適切でない場合、人材確保が一層難しくなるかもしれません。</p> <p>一方で、円安が輸出企業にとって好都合であるため、経済全体が活性化される可能性もあります。経済の活性化が税収増に繋がり、それが介護予算の増額や支援制度の拡充につながる可能性があります。しかし、この好循環が介護に直接的な影響を与えるまでには時間がかかります。</p> <p>総じて、円安が介護保険に与える影響は複雑であり、コストの上昇や人材確保の難しさなど、介護サービスの維持・向上に対する課題が浮き彫りになります。政府や関係機関は、円安がもたらすリスクに対して早急に対策を検討し、介護サービスの安定的な提供を確保する必要があります。</p>	施策8
187	電子申請			<p>要介護の母を在宅介護しております。その中で、私は月回のケアマネージャー訪問が苦痛です。なぜなら、毎月一回、平日の訪問日を作らないといけない(仕事の調整が必要)からです。下記は一例ですが、まずケアマネージャーに一般企業に勤務する人間の大変さを理解して介護離職に追い込むことを止めて頂きたい。簡単に「仕事を休んで」と言われる。現在の景気を考慮したりしないのか疑問です。毎月休みを取ることに加えて、度々休む人間はリストラの第一候補になると思われそうですが、簡単に休めない事についてお伝えしても理解されない。また、女性には簡単に仕事を休めと言いますが、男性の兄に対しては「簡単に休むわけにはいかないですよ」とケアマネージャーに言われました。男女差別が甚だしいです。素案を読みましたが、絵空事にならないように人員教育をお願い致します。</p>	施策8
188	電子申請	太白区	26	<p>介護サービス職員です。職員の給料を上げると、負担軽減をお願いします。全く改善されず、支援されているとは思えません。</p>	施策8

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
189	電子申請			<p>介護サービスの拡充に関する提案</p> <p>拝啓、お世話になっております。このたび、介護サービスの拡充に向け、いくつかのアイデアを提案いたします。これらの提案は、需要の増加に対応し、提供するケアの質を向上させることを目指しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアプログラムの多様化: 様々なニーズに対応するため、特定の健康状態に特化したサービスや認知症ケアプログラム、リハビリテーションサービスなど、異なるプログラムを導入します。これにより、より広範な顧客を引き寄せ、個々の要件に対応します。 2. 在宅ケアサービスの提供: 利用者が自宅でケアを受けることを選ぶ場合に備え、在宅ケアオプションを追加します。特に移動が難しい方や最小限のサポートが必要な方に対して、有益なサービスとなるでしょう。 3. コミュニティパートナーとの協力: 地元の医療機関、コミュニティセンター、高齢者団体と提携を結びます。協力することで、サービスの範囲を広げ、紹介の増加を図り、様々なサポートサービスを統合することでケアのホリスティックなアプローチを提供します。 4. テレヘルスおよび遠隔モニタリング: 現代の技術を活用し、テレヘルスや遠隔モニタリングを導入します。これにより、利用者の健康状態をリアルタイムで把握し、必要なケアを効果的に提供できます。 5. 地域啓発キャンペーン: 地域に対してケアサービスの重要性を伝える啓発キャンペーンを実施します。地域住民に対して、利用者の声を交えたワークショップやセミナーを通じて、ケアサービスの理解を深めます。 <p>これらの提案を検討いただき、ケアサービスの充実を図り、地域の福祉向上に寄与できることを期待しております。何かご質問やご意見がございましたら、お気軽にお知らせください。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p>	施策8
190	電子申請	若林区	20	<p>介護の学生が事業所でアルバイトをする際に、規定の時給にプラスアルファの金額を上乗せする制度があれば、人材不足は解消する。 まあ、公務員は検討の検討を重ねると思いますけどね^_^</p>	施策8
191	電子申請		34	<p>介護人材について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅のヘルパーさん、高齢者が多い ・高齢のヘルパーがやめる事業所が多かった ・賃金、改善されてきたが、離職、人が来ないのは、賃金だけではないと思う ・業務の大変さが理解してもらえない ・初任者研修、実習がまったくない ・資格をとっても、いきなり現場に出て、パニックになり離職につながる 	施策8
192	電子申請			<p>85歳まで施設の入らず、自宅で生活できる北欧型の社会を実現することを第一義に、目標設定すべきです。そのためには、ITによる自宅介護監視システムや、介護のAI化、ロボット化等、技術開発やインフラ作りを、企業、大学と一緒に、本気になって、今やっつけていきたいです。スタッフや施設をこれ以上増やしても、介護保険や高齢者医療費がかかるばかりで、2030年以降のIT化、AI化社会には対応できていません。スタッフや施設は、増やすのではなく、段階的に減らしていくべきです。たとえば、新型コロナウイルス対策で既に実施されている、ラインを使った定期的な声掛け、介護相談、カメラ機能での会話、監視システムを構築すれば、介護ドライバーや施設スタッフのお世話になる必要はありません。</p> <p>また、デイケアで行うような健康体操、ストレッチ、日常会話、絵を描くなどの文化活動は、Zoomを使えば対応可能です。これは単なる一例です。</p> <p>こうしたIT化を実現するのに、問題は、専門家が仙台市にはいないということです。これは国も同じです。老人ホームや介護施設で現在行われている業務内容を、自己で実施するためには、どのようなハードやソフトの開発をすればいいのか、その根拠費用や期間はどのくらいかかるのかを、仙台市のタスクチームを作り、直縮して、1年以内に、提言案をまとめて下さい。よろしくお願ひします。</p>	施策8
193	電子申請	宮城野区	50	<p>外国人材の確保について事業内容を見直すべきである。まず、外国人材の受入れにおける経費補助について、詳細に示す必要がある。受入れやマッチングのみへの補助であると、管理団体へ基金が流れてしま外国人材は、うだけになり兼ねない。外国人材は、受入れ後の関わり方が本当に重要であることから、外国人材の育成に向けた学びの機会、コミュニティ形成、通勤手段への補填など基金の具体的な使途及び事業所の実情に合わせた柔軟な活用を求めます。また、共に働き・指導をしていく現場職員への労いや、外国人材、同僚の双方にとって働きやすく、教え・学びやすい環境作りに対する支援とすべきと考えます。</p> <p>研修の実施や定着支援、育成については、まず十分な人材がいてこそうで「これから検討」となっています。これでは、本当に期待できる内容とは思えません。計画ではなく今すぐに実行に移して現状の改善から始めた上で示してください。</p> <p>言葉の問題だけではなく、習慣や文化の違いからそれぞれの性格の違いが相まって意思疎通もままならないこともあります。体調を崩したときにもできる限りの支援は行っていますが、借金や母国への送金を担っている彼らの現状はとてつもないものがあります。本当に必要な補助は何かも考えてください。まず、ニーズを把握してから計画を立てて頂きたい。</p>	施策8

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
194	電子申請	若林区	22	ICT：担当者会議等では有効だと思いますが、各社所有するアプリケーションソフトの整合性やウイルス対策、個人情報管理など解決すべき課題は沢山あります。 介護ロボット：装着など事前準備の改善やそのメンテなど新たなコスト対策も必要です。 一方で個別機能訓練では1回/3か月程度の住環境訪問モニタリングや来年度法改正案で自宅入浴状況のモニタリングが提唱されている様ですが、少なくとも今のコロナ渦とICT活用という側面からは相反する加算要件だと感じています。 ICTを含むデジタル化推進においては、保険者・医療・居宅・包括・利用者・介護事業者等が共有出来るアプリの開発と普及が急がれます。	施策8
195	電子申請	泉区	36	訪問介護の今後の発展には、複数の視点からの総合的なアプローチが求められます。まず、テクノロジーの活用が鍵となります。人工知能やIoTの導入により、高齢者の健康モニタリングや介護の効率性が向上します。また、テレヘルスやビデオ通話の促進は、遠隔地に住む家族とのコミュニケーションを円滑にし、医療相談を容易にします。 次に、教育とトレーニングの強化が必要です。訪問介護のプロフェッショナルには高度な技術とコミュニケーションスキルが求められます。従って、専門的なトレーニングプログラムを導入し、現場で必要なスキルを身につけられるよう支援することが肝要です。 多職種連携も訪問介護の発展に不可欠です。医療機関や地域包括支援センター、福祉施設などとの緊密な連携により、患者の健康情報や状態の共有がスムーズになり、緊急時の対応も迅速かつ適切になります。これにより、総合的なケアが提供できます。 また、財政的なサポートと保険制度の見直しも重要です。経済的なサポートの拡充や介護保険制度の柔軟な見直しにより、訪問介護サービスの利用が広がりやすくなります。これにより、個々の高齢者に適したケアプランの実現が容易になります。 最後に、地域社会との協力も欠かせません。地域住民や地域の施設との連携を強化し、地域資源を活かしたケアサポート体制を構築します。地域全体でのサポートが可能になり、高齢者はより自宅に近い環境で生活できます。さらに、地域住民への啓発活動やコミュニティベースの支援プログラムを導入し、高齢者の健康促進と孤立防止に寄与します。 これらの取り組みを組み合わせることで、訪問介護がより発展し、高齢者が安心して自宅で生活できるサポートが提供できるでしょう。	施策8
196	電子申請			新卒サイトや転職サイトに介護事業者のブースを出店させれば良い 身近に感じてもらえるだろう	施策8
197	電子申請	青葉区	13	私は60代の介護職員として、長いキャリアを積んできました。私の名前は「田中（たなか）」といいます。この道に進むきっかけは、自身の家族が介護を必要とした経験からでした。その経験が私に、他者を助けることの重要性や人間関係の深さを教えてくれました。 私の仕事のやりがいは、何よりも利用者との交流と信頼関係の構築にあります。彼らと共に時を過ごす中で、笑顔や感謝の言葉をいただく瞬間が何よりも喜びをもたらしてくれます。介護は単なる仕事ではなく、人と人との繋がりを築くこと。利用者との一体感を感じることが、私にとって最大のやりがいとなっています。 私は利用者が自立した生活を営む手助けをすることにやりがいを感じています。例えば、認知症を抱える方が、少しでも自分で何かできるようになったとき、その成長や喜びを共有できることが何よりも嬉しい瞬間です。また、高齢者としての経験や知識を活かし、利用者にとって心地よい環境づくりに努めています。自分の経験が、利用者の生活をより豊かにする手助けになればと考えています。 また、仕事の中で特に大切にしているのは、利用者を単なる「介護の対象」としてではなく、一人の人間として尊重し、個々のニーズに真摯に向き合うことです。彼らの生活環境や趣味、家族構成など、細かいところまで理解し、その上で適切なサポートを提供することが重要だと感じています。 しかしながら、介護の仕事にはさまざまな課題も存在します。まず、人手不足が深刻な問題となっています。利用者一人ひとりに十分なケアを提供するためには、時間と労力が必要ですが、限られたスタッフで多くの利用者を支えることは容易ではありません。これが、利用者との密なコミュニケーションや十分なケアを難しくする一因となっています。 また、介護の現場では身体的・精神的な負担が大きいことも事実です。重度の障がいを抱えた利用者のケアや急変時の対応は、体力やメンタル面の強さが求められます。これが続くと、労働者のストレスや疲労が蓄積され、長期的なキャリアを継続することが難しくなります。 特に60代という年齢層では、身体の衰えや健康状態に気を配る必要があります。しかし、それでも私は利用者との触れ合いやサポートが私にとっての生きがいであり、引退を考えるほどではありません。むしろ、経験と知識を生かし、後輩や若手スタッフにサポートを提供することで、組織全体の力を高めていくことが大切だと考えています。 社会全体で介護の重要性が高まる中、介護労働者の働きやすい環境づくりや、スキル向上のサポートが必要です。さらに、労働者同士の連帯感や励まし合いが、困難な瞬間を乗り越える力となります。私は今後も利用者の笑顔と、同僚との協力を大切にし、介護現場において自らの経験と情熱を注ぎ続けていく覚悟です。	施策8
198	電子申請	太白区	50	なぜ外国人人材が仙台市に来てくれると思っているのか。	施策8

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
199	電子申請	太白区	30	<p>処遇改善加算の増加が介護事業所において必要不可欠である理由は多岐にわたります。これには、職員の働きやすさ、サービス提供の質の向上、顧客満足度の向上などが含まれます。以下では、処遇改善加算の増加に関する重要な点を探りながら、なぜこれが介護事業所にとって重要なのか詳しく探ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> **人材確保と定着の促進:** 処遇改善加算の増加は、介護職員の賃金向上に繋がり、人材確保と定着に寄与します。高いモチベーションを持ちながら働くことができる職場環境は、介護職員が専念できる要因となります。これにより、質の高いケアが提供され、結果的にサービスユーザーにとっても満足度が向上します。 **職員の働きやすさと労働環境の向上:** 処遇改善加算の増加は、職員の働きやすさと労働環境の向上に直結します。介護職は非常に責任の大きな仕事であり、専門的なスキルと負担が大きい職務です。それにもかかわらず、十分な報酬が得られることは、職員にとって仕事へのモチベーションを維持する重要な要素となります。 **専門的なスキルの向上:** 適切な報酬を提供することで、介護職員は自身のスキルを向上させるために継続的な学習やトレーニングに参加する余裕を得ることができます。処遇改善加算の増加が実現すれば、組織内のトレーニングプログラムや教育施策を充実させ、職員全体の専門性向上に寄与するでしょう。 **サービス提供の安定性と質の向上:** 処遇改善加算が増加することで、介護事業所はスタッフの定着が増え、それに伴いサービス提供の安定性が向上します。安定した職員体制は、入居者やその家族にとって信頼感を生み出し、サービス提供の質の向上に寄与します。 **業界全体のブランド向上:** 処遇改善加算の増加は、介護事業所の雇用主としての評判向上にも繋がります。業界全体で職員への適切な処遇が行われることで、介護事業所は優れた雇用先としてのブランドイメージを確立でき、有資格者の引き込みや競争力の向上に寄与します。 **業界標準の向上と競争力の強化:** 処遇改善加算の増加は業界全体の賃金水準向上に繋がり、これによって業界全体の標準が向上します。競争が激化する中、優れた処遇を提供する介護事業所は有能な人材を引き寄せ、競争力を強化することができます。 **顧客満足度と信頼感の向上:** 処遇改善加算が介護職員に適切な処遇を提供することで、職員はより良いケアを提供し、それが顧客満足度の向上に繋がります。また、入居者やその家族にとっては、信頼できるケアプロバイダーとしての選択肢となります。 **効果的な人事管理と計画:** 処遇改善加算の増加は、人事管理と計画において効果的な施策を実行する余地を提供します。適切な報酬が得られることで、スキルや経験を持つ職員の配置や配置転換が柔軟に行え、効率的なチームの構築が可能になります。 **離職率の低減:** 処遇改善加算が増加すれば、職員の離職率が低減することが期待されます。離職率の低減は組織にとっての安定性をもたらし、新たな採用やトレーニングにかかる費用を削減する要因となります。 **経済的な側面と社会への影響:** 	施策8
200	電子申請	若林区	20	<p>あと介護職の給料を上げてください。給料あげずに魅力ややる気と言われても、冷めます。しかも私たち日本人よりも外国人を優遇するんですね。差別ダメ絶対</p>	施策8
201	電子申請			<p>サービスの充実に向けて、事業者の人材育成や人材確保への支援を図るとあるが、併せて「人材離職防止への支援」も追加すること。 待機者解消のための特別養護老人ホームの増設計画を新たに作成すること。</p>	施策8

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
202	電子申請	泉区	36	<p>介護とICT（情報通信技術）の関係性は、高齢社会の進展とともにますます重要性を増しています。ICTは介護の効率性向上や高品質なサービス提供、介護対象者やその家族とのコミュニケーション強化など、多岐にわたる領域での利用が期待されています。以下に、この関係性と改善意見について詳しく掘り下げていきます。</p> <p>□健康モニタリングとテレヘルス ICTを活用した健康モニタリングは、高齢者の健康状態をリアルタイムで把握する手段として有望です。スマートウェアやセンサーを介して収集されたデータは、医療従事者にとって貴重な情報源となります。これにより、早期の問題発見や適切な治療の提供が可能になります。テレヘルスは、遠隔地に住む高齢者や偏在する地域における医療資源の不足を補完する手段となります。ビデオ通話やオンライン診療を通じて医師と患者がコミュニケーションをとり、病状のモニタリングや医療アドバイスの提供が可能で、これにより、高齢者は通院の負担を軽減し、医療サービスへのアクセスが向上します。</p> <p>□介護ロボットと人工知能 介護ロボットや人工知能は、介護の現場での作業負担軽減やサポートの向上に寄与します。例えば、移動補助ロボットは入浴やトイレなどの日常生活動作での介助を行います。また、音声認識技術や自動化されたスケジューリングシステムを導入することで、スタッフの効率的な業務遂行が可能となります。一方で、これらの技術が人間性や温かさを欠いていると感じられることがあります。改善策としては、ロボットやAIを活用する一方で、人間との対話やコミュニケーションを促進することが求められます。これにより、高齢者は技術の利点を享受しつつ、人とのつながりを感じることができそうです。</p> <p>□電子カルテと情報共有 ICTは電子カルテの導入により、医療・介護の連携を促進します。患者の医療情報がオンライン上で共有されることで、異なる医療機関や介護施設でも適切なケアが行えます。しかし、プライバシー保護や情報セキュリティの観点から、慎重な導入と運用が求められます。情報共有の改善には、異なるシステム間での標準化が必要です。共通のプロトコルやデータ形式を確立することで、異なる組織やサービス間での情報のシームレスな共有が可能になります。これにより、連携の強化とミスの軽減が期待されます。</p> <p>□教育と訓練の充実 ICTの進化に伴い、介護従事者に対する適切な教育と訓練が不可欠です。これにより、新しい技術やシステムの理解と運用が円滑に行えるようになります。教育プログラムは定期的な更新が求められ、現場の変化に迅速に対応できるスキルを養成する必要があります。同時に、高齢者やその家族に対してもICTの利用方法やメリットを理解しやすく伝える啓発活動が重要です。デジタルリテラシー向上のための支援が、介護サービスの利用拡大に寄与します。</p> <p>□倫理的・法的課題への対応 ICTの導入には倫理的な問題や法的な規制も検討されるべきです。プライバシーの保護や患者の権利、データのセキュリティに対する規制整備が必要です。また、介護ロボットやAIの使用においては、倫理的なガイドラインを策定し、その使用範囲や制約を定めることが必要です。倫理的・法的な枠組みの整備と透明性の確保により、介護サービスの利用者や提供者は信頼性の高い環境で活動できるようになります。また、技術の進歩に対して適切な規制を採用することで、新しい技術の導入が円滑かつ安全に行えます。</p> <p>□コミュニケーションの向上 ICTの導入は、高齢者とその家族とのコミュニケーションを向上させる一翼を担います。ビデオ通話やオンラインプラットフォームを活用することで、遠隔地に住む家族との交流が容易になります。これにより、高齢者は孤独感を軽減し、心理的な健康を維持できます。しかし、ICTの導入が高齢者にとって複雑で使いづらい場合もあります。ユーザーフレンドリーでシンプルなデザインや操作性を重視したICTツールの開発が求められます。高齢者がストレスなく利用できる環境を整備することで、ICTはコミュニケーション手段としてより効果的に機能します。</p> <p>これらの改善意見により、介護とICTの関係性がより効果的かつ効率的に進化し、高齢者の生活の質向上と介護サービスの充実が期待されます。</p>	施策8
203	電子申請			介護関連の大学や専門学校の学費を市が負担すれば希望者は増えます。	施策8
204	電子申請	太白区	30	<p>処遇改善加算の増加は、経済的な側面からも見逃せません。介護職員への適切な処遇が行われることで、経済全体においても雇用の向上や賃金の安定が期待され、地域社会に良い影響をもたらすでしょう。</p> <p>まとめると、処遇改善加算の増加は介護事業所において様々なポジティブな影響をもたらします。職員の働きやすさ、スキル向上、サービス提供の安定性、業界全体の競争力向上など、これらの側面が組み合わせられ、質の高い介護サービスを提供し、顧客や職員、地域社会に寄与することが期待されます。したがって、処遇改善加算の増加は介護事業所にとって極めて重要な要素であり、これが実現することでより健全で持続可能な介護環境が構築されるでしょう。</p>	施策8
205	電子申請		34	8期計画で見込まれるサービス量を確実に提供できるよう、市独自に人材育成計画を作成・推進すること。	施策8
206	電子申請			<p>パソコンやタブレット等の機器を医療者、介護者等が使用する場合は、下記を計画に書いてほしいです。「医療者、介護者等に、ウイルスメールに気をつける、不審なサイトに気をつける、誤った宛先にメールを送付しない、といったセキュリティの研修を仙台市が進めたり、セキュリティの研修を各事業者が実施するように依頼する。」</p> <p>私生活でパソコン等の利用状況は人によって異なりますので、研修なしで気をつけるのは難しいと思います。</p> <p>ウイルスメールの影響で、医療や介護に関わる情報が外部に流出したり、パソコンが使用不能になったら大変です。</p> <p>セキュリティの研修について第9期計画に書いてください。</p>	施策8

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
207	電子申請			外国人材の確保等について、次のように修正してほしい。 「外国人だけの補助でなく、介護事業所等に勤務する人材確保のためには、介護職員等が市内に住めるよう住居等の財政支援をする。」	施策8
208	電子申請	泉区	98	マンション団地の住民の中には高齢とはいえ、介護の補助ができる、知体能力のある方もおられます。ヘルパーなどの研修を施した上で、介護人材を創り出すことも進めてほしいです。	施策8
209	電子申請			介護事業は人材不足とニュースで聞いたことがありますが、人材確保はできているのでしょうか。	施策8
210	電子申請	若林区	30	・ケアマネの初任者研修が5万円程度かかるので助成を考えて欲しい。	施策8
211	電子申請	泉区	36	電子カルテを、導入することを、書いてほしい	施策8
212	電子申請			職員のパワハラをやめさせる施策を記載してください。ひどい場合はリストラする等	施策8
213	市民説明会等			介護人材の安定的な確保・育成が現場でも大きな課題と認識している。若い世代が介護に関わる仕事を志さないということが目に見えているため、各施設、事業所での自助努力が必要となる。しかし、行政からの様々なアプローチや支援も必須であるため協力しながら行っていければと思う。	施策8
214	電子申請		34	介護人材について ・整備、まず、人ありき ・コロナにより、ボランティアが入れない ・新規採用厳しい ・9期計画に良い話を入れてほしい ・訪問看護、人材不足 ・STとしては、新卒受入の体制を整える ・在宅訪問看護、3.6%の伸び ・なかなか人が増えない	施策8
215	電子申請	青葉区	13	私は60代の介護職員として、長いキャリアを積んできました。私の名前は「田中（たなか）」といます。この道に進むきっかけは、自身の家族が介護を必要とした経験からでした。その経験が私に、他者を助けることの重要性や人間関係の深さを教えてくれました。 私の仕事のやりがいは、何よりも利用者との交流と信頼関係の構築にあります。彼らと共に時を過ごす中で、笑顔や感謝の言葉をいただく瞬間が何よりも喜びをもたらしてくれます。介護は単なる仕事ではなく、人と人の繋がりを築くこと。利用者との一体感を感じることが、私にとって最大のやりがいとなっています。 私は利用者が自立した生活を営む手助けをすることにやりがいを感じています。例えば、認知症を抱える方が、少しでも自分で何かできるようになったとき、その成長や喜びを共有できることが何よりも嬉しい瞬間です。また、高齢者としての経験や知識を活かし、利用者にとって心地よい環境づくりに努めています。自分の経験が、利用者の生活をより豊かにする手助けになればと考えています。 また、仕事の中で特に大切にしているのは、利用者を単なる「介護の対象」としてではなく、一人の人間として尊重し、個々のニーズに真摯に向き合うことです。彼らの生活環境や趣味、家族構成など、細かいところまで理解し、その上で適切なサポートを提供することが重要だと感じています。 しかしながら、介護の仕事にはさまざまな課題も存在します。まず、人手不足が深刻な問題となっています。利用者一人ひとりに十分なケアを提供するためには、時間と労力が必要ですが、限られたスタッフで多くの利用者を支えることは容易ではありません。これが、利用者との密なコミュニケーションや十分なケアを難しくする一因となっています。 また、介護の現場では身体的・精神的な負担が大きいことも事実です。重度の障がいを抱えた利用者のケアや急変時の対応は、体力やメンタル面の強さが求められます。これが続くと、労働者のストレスや疲労が蓄積され、長期的なキャリアを継続することが難しくなります。 特に60代という年齢層では、身体の衰えや健康状態に気を配る必要があります。しかし、それでも私は利用者との触れ合いやサポートが私にとっての生きがいであり、引退を考えるほどではありません。むしろ、経験と知識を生かし、後輩や若手スタッフにサポートを提供することで、組織全体の力を高めていくことが大切だと考えています。 社会全体で介護の重要性が高まる中、介護労働者の働きやすい環境づくりや、スキル向上のサポートが必要です。さらに、労働者同士の連帯感や励まし合いが、困難な瞬間を乗り越える力となります。私は今後も利用者の笑顔と、同僚との協力を大切にし、介護現場において自らの経験と情熱を注ぎ続けていく覚悟です。	施策8
216	電子申請	青葉区	68	総合事業は保険給付から外された要支援者 1,2の事業であることから、サービス見込み量の算出に、要介護者を含めないこと。	介護保険制度全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
217	電子申請	若林区	53	<p>98ページ 要介護認定の適正化について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 明確な改善目標の設定: 文章中で具体的な適正化の目標が明示されていません。例えば、認定調査の正確性向上や審査時間の短縮など、具体的な数値や指標を設定し、それに向けた計画を示すことが重要です。 2. 透明性の向上: 認定調査の透明性を高めるため、認定調査員の研修や評価結果についての情報を一般に公開するなど、公正性を担保するための手段が不足しています。 3. 技術向上の強調: 技術向上を図るための具体的なプログラムや取り組みが言及されていません。研修や助言指導において、どのような方法やテーマが取り入れられるかを具体的に示すことが必要です。 4. ペーパーレス化の詳細な説明: ペーパーレス化やオンライン開催に関する詳細が不足しています。具体的なシステムやセキュリティ対策についても触れ、業務の効率化だけでなく、情報セキュリティも確保することが求められます。 5. 医師会との連携の具体化: 医師会との緊密な連携についても、どのような形で連携が行われるかや具体的な事例が欠如しています。これにより、連携が抽象的なままとなっています。 	介護保険制度 全般
218	電子申請	宮城野区	14	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の高齢化が進む現状を踏まえ、介護保険事業計画は将来的な需要に対応する柔軟性を持つべきです。 2. 利用者の声を重視し、サービスの質を向上させるために、アンケートやフィードバックのシステムを強化すべきです。 3. 専門職の育成と雇用を促進し、介護サービスの提供者のレベルを向上させるための施策が必要です。 4. 介護職の労働環境改善に重点を置き、人材確保・定着を促進する施策が重要です。 5. ICT技術を活用し、介護の効率化とサービス提供の透明性を高めるべきです。 6. 地域社会との連携を強化し、地域密着型の介護サービスを展開することが求められます。 7. 介護保険料の適正な設定と、公平な負担分担を考慮した財政計画が必要です。 8. 予防的なアプローチを強化し、高齢者の健康促進に向けた取り組みを充実させるべきです。 9. 高齢者だけでなく、障がい者や困難な状況にある他の層も含め、包括的な支援を提供する方針が重要です。 10. 多様な介護ニーズに対応するため、柔軟で多様なサービスモデルの開発と実施が求められます。 	介護保険制度 全般
219	電子申請	青葉区	26	<p>介護保険と性的サービスの関係は、高齢者や障がい者の生活の質を向上させる観点から考えられます。性的サービスは、個々の性的ニーズや権利を尊重し、福祉の一環として提供されることがあります。介護保険がこの分野にどのように絡んでいるかを理解するためには、以下のポイントが考えられます。</p> <p>まず、性的サービスは個別の要望に基づくものであり、介護保険がそれをサポートする場合、そのニーズに合わせた適切なケアが提供されることが期待されます。例えば、特定の性的指向や性別に関連するサービスが必要な場合、介護保険がそれをサポートすることで、受ける側の生活の質が向上します。</p> <p>また、性的サービスは精神的な側面も含んでいます。高齢者や障がい者にとって、性的な関係や表現は健康で充実した生活において重要な要素となり得ます。介護保険がこれらのニーズを理解し、心理的な側面にも焦点を当てたサポートを提供することで、総合的なケアが実現されます。</p> <p>ただし、性的サービスに関しては文化や価値観の違いが存在し、一概に受け入れられるものではありません。介護保険が提供する性的サービスが、受ける側や関係者にとって適切かどうかを検討する際には、慎重なアプローチが必要です。特に、倫理的な観点や法的な制約も考慮しながら、バランスを取ることが求められます。</p> <p>総じて、介護保険と性的サービスは、利用者の個別のニーズや権利を尊重し、生活の質向上に向けた取り組みとして関連しています。適切な提供と十分な配慮があることで、高齢者や障がい者が豊かな人間関係や健康な性生活を享受できるようになります。</p>	介護保険制度 全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
220	電子申請	若林区	36	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険は私たちの税金を適切に使用する代わりに、無駄な制度となり、生活保護受給者に不公平な負担を強いています。 2. 制度が過度に複雑であるため、介護保険によって生活保護の利用者が混乱しやすく、本来の目的を果たしていないと考えます。 3. 介護保険は高い保険料を要求し、経済的に苦しんでいる私たち30代の生活保護受給者には負担が大きすぎます。 4. 介護保険の仕組みが複雑であるため、実際に必要な支援が遅れ、効果的なサービスが提供されないことがあります。 5. 制度があまりにも一般的で、個々のニーズや状況に適応できないため、受給者が最も効果的なケアを受けることが難しいです。 6. 介護保険の制度が効率的でないことが、公平なサービス提供を阻害していると感じています。 7. 制度が適切な対策を講じないまま成長しており、本来の目的を見失っています。 8. 介護保険の手続きや申請が複雑すぎて、私たち生活保護受給者が利用する際にハードルが高すぎます。 9. 生活保護を受給する者にとって、介護保険の恩恵を享受することが難しく、格差を感じています。 10. 制度が透明性に欠け、どのように予算が配分されているかを理解することが難しいです。 11. 介護保険が提供するサービスが、実際には必要のないものや重複しているものが多く、効率性が欠如しています。 12. 制度が拡大していく一方で、予算の割り当てが不透明なままであることが問題視されます。 13. 介護保険が特定のグループや地域に焦点を当てすぎ、均等なサービス提供がなされていないと感じています。 14. 生活保護受給者に対しては、介護保険制度が十分なサポートを提供していないと考えます。 15. 介護保険が事務手続きに過度な時間を要し、効果的なサービス提供が滞っていると感じます。 16. 制度が過度に複雑であるため、必要なサービスを受けるまでのプロセスが長すぎます。 17. 介護保険の予算が十分でないことが、本来の目的を果たせない原因となっています。 18. 制度が介護業界における混乱を招いており、品質の低下を招いていると考えます。 19. 生活保護受給者にとって、介護保険は経済的負担を増加させるだけであり、助けになっていないと感じます。 20. 制度が透明性を欠いており、予算の適切な使用が保障されていないと懸念しています。 	介護保険制度 全般
221	電子申請			<p>私は地球環境問題と介護保険制度について深刻な懸念を抱いており、この手紙を通じて私の意見やクレームを述べたいと思います。これは私の心からの願いと懸念が込められたものであり、改善への協力をお願いするものです。</p> <p>まず、地球環境問題について。私は地球の健康と環境の保全に対して真剣な心構えを持っています。しかし、介護保険制度の運用や実際のサービス提供において、地球環境に与える影響が不透明であることが懸念材料となっています。</p> <p>介護業界においては、多くの資材が使用され、廃棄物も発生していることが事実です。しかし、その具体的な取り組みや環境への負荷軽減策について、制度運営者がどれだけ考慮しているのか、透明性が不足していると感じています。地球環境に配慮した方針や具体的な実践があれば、その情報を広く公開し、市民に対して環境への取り組みを明確にするべきです。</p> <p>また、介護保険料の増額に関する情報提供においても、環境への影響やその用途についての説明が欠如しています。私たちが支払う介護保険料がどのように地球環境に寄与するのか、その情報を提供することは、納得感を生み出すだけでなく、持続可能な社会の構築にも寄与するでしょう。</p> <p>さらに、介護保険制度の実効性においても地球環境への影響が懸念されます。効率的で環境に優しい介護サービスの提供や、再生可能エネルギーの導入など、具体的な取り組みがどれだけ進んでいるのか、その詳細が十分に明らかにされていません。</p> <p>こうした不透明さは、私たちの介護保険制度への信頼を揺るがせます。地球環境への意識が高まる中で、制度運営者は積極的に環境に配慮した施策を打ち出し、その取り組みを透明かつ分かりやすく市民に伝えることが求められます。</p> <p>もちろん、地球環境問題だけでなく、介護保険制度自体においても改善が望まれます。労働環境の改善や、介護職のスキル向上のためのトレーニングプログラムの強化、高齢者や障がい者が安心して生活できるようなサービス提供の拡充が求められます。</p> <p>この手紙を通じて、私の心からの懸念と要望をお伝えしました。地球環境問題への対応と介護保険制度の改善において、透明性を高め、市民との対話を大切にすることが必要です。これによって、持続可能な社会の実現に向けて共に歩んでいけると信じています。お時間をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>敬具、</p>	介護保険制度 全般
222	電子申請		60	<p>市税のお知らせの封筒には広告があるのに、なんで介護保険の封筒には広告がないのか。広告をつけたら、広告料収入があるのではないかな？</p>	介護保険制度 全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
223	電子申請			<p>### 日本の介護保険制度 #### 仕組み: 日本の介護保険は、高齢者や障がい者に対して、必要な介護サービスを提供するための仕組みです。主に国と自治体が協力して運営され、被保険者は介護保険料を支払い、その対価として介護サービスを受けることができます。介護度に応じてサービスが提供され、ホームヘルプ、デイサービス、特養などが含まれます。 #### 課題: 1. 人手不足: 介護職員の不足が深刻であり、これがサービスの質や提供の遅れに影響を与えています。 2. 財政的課題: 介護保険料の増加と財政的な圧力があり、将来的な持続可能性に対する懸念が存在します。 3. 制度の複雑さ: 制度が複雑で理解しにくいいため、利用者や家族が適切なサービスを受けることが難しい場合があります。</p> <p>### フィンランドの介護保険制度 #### 仕組み: フィンランドの介護制度は、健康と社会福祉を統合した社会的なモデルを採用しています。国全体が均等にサービスを提供し、個々のニーズに応じたサービスを提供します。福祉国家の一環として、市民は公的な福祉サービスにアクセスできます。 #### 課題: 1. 予算の圧力: 人口の高齢化とサービスの需要が増加しており、予算への圧力が高まっています。 2. 適切な医療と連携: 介護と医療の連携が課題であり、効果的な連携が行き渡っていない場合があります。 3. 私営化の影響: 一部のサービスが私営化されており、これが均等なサービス提供への影響をもたらすことが懸念されています。</p> <p>### 共通の課題: 1. **人材確保:** どちらの国も介護職員の不足が深刻な問題であり、これがサービス提供に影響を与えています。 2. **財政的持続性:** いずれの国も将来的な介護ニーズへの対応と、そのための財源確保が重要な課題です。 3. **サービスの質と均等性:** 介護サービスの質と利用者への均等な提供は、共通して解決が求められる問題です。 簡潔にまとめましたが、これは大まかな概要であり、各国の詳細な制度や課題は多岐にわたります。</p>	介護保険制度全般
224	電子申請			外国人労働者云々の話があるが、外国人の介護保険利用者の問題は把握しているのか。	介護保険制度全般
225	電子申請			保険料を払っている人がサービスを受けられず、保険料を減免している人がサービスを利用している不公平感はどうなのか	介護保険制度全般
226	電子申請	宮城野区	45	要介護認定の申請をしているがなぜ即日結果が来ないのか。 助けを必要としているを放置して何が楽しい。 効率化とあるが具体的にどう効率化するの	介護保険制度全般
227	電子申請	青葉区		介護の訪問調査まで時間がかかっている。 なぜ保険料を払っているのに早くサービスを受けられないのか	介護保険制度全般
228	電子申請			95ページの公費とは何のことですか。保険料と書いてください。	介護保険制度全般
229	電子申請	泉区		総合事業については、2024年度以降も現行相当サービスと報酬を維持すること。	介護保険制度全般
230	電子申請			憲法25条とりわけ第2項「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」との公的義務を国・地方自治体が果たすことが求められている。 団塊の世代を狙い撃ちするような、介護保険料の負担増と介護給付の切り下げがないよう、最大限の保障を実現するため、基礎自治体として国にも働き掛けてほしい。	介護保険制度全般
231	電子申請	宮城野区	100	介護の明るい未来は、技術と人間の手が共存し、より個別化されたケアが提供される世界です。高度なテクノロジーが介護業界に取り入れられ、効率的で質の高いサービスが普及します。同時に、人間らしい温かいケアが重要視され、専門職と地域の協力が盛んになり、高齢者が尊重され、自立した生活を営むことが当たり前となります。この未来では、誰もが安心して老後を迎え、地域全体が支え合い、希望に満ちた生活が広がります。	介護保険制度全般
232	電子申請	青葉区	54	100ページの介護サービスに関する苦情の内容は公表してはいかがか。適切な対応とはどういうものなのか？ 市民の感覚と市役所の感覚は違うということを認識しろ	介護保険制度全般
233	電子申請			介護申請をしてから認定がされるまで遅すぎる	介護保険制度全般
234	電子申請			自立支援・介護予防・重度化防止の取組について。 介護給付の適正化については、チェックリストによる判定が行われているが、希望するすべての人に対して従来どおり介護申請（認定）を受けさせること。	介護保険制度全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
235	電子申請	宮城野区	41	<p>40代の介護保険不要論</p> <p>現代社会において、40代の一部の人々は介護保険の必要性に疑問を投げかけています。彼らは様々な理由から介護保険に対する懐疑的な立場をとり、個別の負担感や社会的責任に懸念を抱いています。以下はその主な視点と理由のいくつかです。</p> <p>1. 自己責任の視点</p> <p>40代の中には、「自分の老後や介護に備えるのは個人の責任であるべきだ」との立場を採る人がいます。彼らは、自己責任の重要性を強調し、公的な介護保険に頼る前に個人が賢明な計画を練ることが求められると考えています。個人が自分の将来に備えることが、社会全体の負担を減らす一助になるとの信念があります。</p> <p>2. 社会的責任への懐疑</p> <p>一部の40代は、介護保険制度が社会的な責任を逃れ、家族や地域のサポート体制を弱めていると見ています。彼らは、家族や地域社会が共に支え合う文化が重要であり、公的な介護保険がこれを損なっていると立場をとります。介護保険があることで、家族や地域の連帯感が希薄になり、個人の責任感も低下すると懸念しています。</p> <p>3. 負担感と経済的不安</p> <p>介護保険料の増加や将来的な負担感が、40代の一部の人々に経済的な不安をもたらしています。収入が限られている状況で、将来の介護保険料が増大することへの懸念があります。これが生活の充実度や将来への不安を引き起こし、介護保険に対する反感を生む要因となっています。</p> <p>4. 選択肢の幅と個別ニーズ</p> <p>40代の一部は、介護保険の制約が個々のニーズやライフスタイルに合わないと考えています。個人が自身の健康状態や希望に基づいて保険商品を選択し、柔軟に対応できるシステムの必要性を主張しています。介護保険がより多様性と柔軟性を持つならば、賛同を得やすいと述べています。</p> <p>5. 予防と健康維持の重要性</p> <p>40代の中には、将来の介護を避けるために予防と健康の維持が重要だと主張する人がいます。健康な生活習慣や予防医療への投資が、将来の介護ニーズを減少させるとの立場をとります。介護保険に頼る前に、社会全体が予防に焦点を当てるべきだと認識が広がっています。</p> <p>6. 制度の効率性と透明性</p> <p>40代の一部は、介護保険制度が効率的に機能していないと感じています。介護サービス提供者への支払いの透明性や、行政の使途の明確さが求められています。効果的な運用と透明性が確保されれば、制度への信頼が向上すると期待されています。</p> <p>まとめ</p> <p>40代の介護保険不要論は、個人の自己責任強調や社会的なつながりへの信頼、負担感と経済的な懸念、個別ニーズの重視、予防の重要性、制度の効率性・透明性の要望など、多岐にわたります。これらの立場や懸念は、今後の社会制度の検討において重要な視点として考慮されるべきです。</p>	介護保険制度全般
236	電子申請	太白区	50	<p>日本の雇用状況を強化し、国内の労働力を最大限に活用するために、まずは積極的な日本人の雇用を優先すべきです。国内の雇用率向上が先決であり、外国人の採用よりもまずは国内の有能な人材を確保するよう強く要求いたします。</p>	介護保険制度全般
237	電子申請			<p>制度の周知が足りていない。 現在どのように介護保険制度を周知しているのか</p>	介護保険制度全般
238	電子申請	宮城野区		<p>事業所が送迎サービスを辞めるという話を聞いた。これではなんのために保険料を払っているのかわからない。保険料を払わなくても良いか</p>	介護保険制度全般
239	電子申請			<p>介護サービスの充実、本来国や自治体の公的責任として実施すべきである。地域住民の「自立・互助」に押し付け、丸投げしてはならない。住民の「助け合い」については、現行サービスをさらに使いやすく充実させるとともに、地域における支え合いや地域づくりを促進するものとして位置付けること。 自立支援・介護予防・重度化防止の取組について。 要支援者の通所介護・訪問介護が介護給付から除外され、自治体独自の総合事業に移った。現行の予防要支援者の通所介護・訪問介護が介護給付から除外され、自治体独自の総合事業に移った。現行の予防給付相当サービス・区独自基準サービスのサービス基準を引き下げることなく存続させること。 自立支援・介護予防・重度化防止の取組について。 介護給付の適正化については、25項目のチェックリストによる判定が行われているが、希望するすべての人に対して従来どおり介護申請（認定）を受けさせること。</p>	介護保険制度全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
240	メール	宮城野区	66	<p>計画中間案を拝見すると高齢者の増加に伴い、介護保険費用が財政に大きな負担となっていて今後も増加の傾向は続くことが予想されるとの事。しかし、単に高齢者に自己負担を増やすのは、不公平であり、効果的ではありません。高齢者には、様々な所得やニーズがあります。また、高齢者は、社会の一員として尊重されるべきです。高齢者が悪役にされたり、集団自決を求められたりするような発言は、許されません。</p> <p>そこで、以下のような見直しを提案します。（要支援1～要介護度4）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の介護サービスの質と費用について、徹底的に調査し、適切な水準を明確に示す。 介護保険の給付を、必要最低限のサービスに限定し、それ以外のサービスは自己負担とする。 介護保険の自己負担率を、所得に応じて段階的に変更する。 介護に必要な人材の確保と待遇の改善に取り組み。外国人労働者の活用も検討する。 <p>※勿論外国人労働者の差別的な待遇は言語道断である事は言うまでもない。</p> <p>※高齢者が増えればサービス人員もそれに伴って増やさなければ介護に関わる労働者の労働環境が過酷なものになってしまう恐れもある。</p> <p>このようにすることで、高齢者の経済的な不安を和らげるとともに、財政の負担も軽減できます。また、高齢者の健康寿命の延伸や消費の活性化にもつながります。高齢者の増加は、社会全体の課題です。制度の抜本的な見直しを求めます。</p> <p>過剰なサービス及び適切な水準に満たないサービスの防止をする事により市民に分かり易く必要な所に必要なサービスが行え、高齢者への最低限ではあるが公平公正なサービスの提供と事業の健全化と持続可能な制度を目指す事が出来る。</p> <p>水準を明確にする事で本人及び家族は介護の設計を立てやすくなり、不安で老後の為の過剰な貯蓄資金をしなくても良いと感じる事が出来れば、他の消費活動に向ける事が可能になり経済も回ると考える。</p> <p>ある程度DXにより事務手続き等の効率化で改善は見込まれるが、DXはDXで課題もある。</p>	介護保険制度全般
241	電子申請			仙台朝市のお店が破産したということで、今後どのような介護保険の支援を行なっていきますか？	介護保険制度全般
242	電子申請			介護福祉士を増やしてほしいです。	介護保険制度全般
243	電子申請			<p>The challenges within the realm of long-term care but also places a burden on the available workforce in the caregiving sector.</p> <p>Financial sustainability is a significant hurdle for LTCI programs globally. The cost of providing long-term care services, whether in institutional settings or through home and community-based services, is substantial. Funding these services becomes a considerable challenge as the demand rises, often resulting in increased premiums for policyholders or additional financial burdens on the government. Striking a balance between ensuring quality care and maintaining the financial viability of LTCI programs is an ongoing struggle.</p> <p>The LTCI system also faces challenges related to accessibility and disparities in service provision. In some regions, there may be a shortage of caregiving facilities, creating issues of accessibility for individuals in need. Rural areas, in particular, often experience difficulties in offering a diverse range of long-term care options. Additionally, there may be disparities in the quality of care provided, with certain groups facing barriers to access due to socio-economic factors or geographic location.</p> <p>The nature of long-term care poses another challenge as it often involves a complex array of services, including medical, personal, and social care. Coordinating these services effectively requires a high level of integration among healthcare providers, social services, and other stakeholders. Fragmentation and lack of coordination can result in suboptimal care and increased costs. Therefore, enhancing the integration of services and improving care coordination are critical aspects that need attention. Many individuals express a preference for aging in place, receiving care services in their homes rather than institutional settings. This preference challenges the traditional models of long-term care delivery and requires adjustments in LTCI policies to support home and community-based care adequately. This shift in preference also necessitates investments in caregiver training and support to ensure the quality and safety of care delivered in home setting.</p> <p>The caregiving workforce shortage is a pressing issue within the long-term care insurance landscape. As demand increases, there is a growing need for qualified and compassionate caregivers. Addressing this shortage involves developing initiatives to attract individuals to the caregiving profession, providing adequate training programs, and improving the overall work environment. Enhancing the status and compensation for caregivers is crucial to retaining talent and ensuring a sustainable workforce.</p> <p>Technological advancements present both opportunities and challenges for LTCI. On one hand, technology can improve the efficiency of care delivery, monitor health conditions remotely, and enhance communication between caregivers and care recipients. On the other hand, the integration of technology</p> <p>In conclusion, the challenges within the realm of long-term care insurance are intricate and demand comprehensive solutions. Addressing the financial sustainability, improving accessibility and service quality, enhancing care coordination, adapting to evolving care preferences, tackling workforce shortages, and leveraging technology are critical aspects that need attention to create a robust and responsive LTCI system for the future.</p>	介護保険制度全般
244	電子申請			介護の費用確保のため、ふるさと納税やクラウドファンディングを活用する事を書いてください	介護保険制度全般

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
245	メール	宮城野区	66歳	介護制度は少子高齢化や歳入の問題により、現状維持が困難であると考えます。介護制度の目的は、高齢者の尊厳と最低限の生活の質を保障することであり、今とこれからの財政難に於いての優先する事は満足度の向上ではありません。そのためには、要支援1から要介護5までの最低限のサービスと費用の把握が必要です。 以下の点について情報を提供していただきたいと思います。 ●要支援1から要介護5までの利用者情報（自己負担と保険からの支払い）	介護保険料
246	電子申請	青葉区	57	市役所が介護保険料の増額を検討していることに反対します。既に高齢者や家庭において負担が増している中で、さらなる負担増は市民にとって重荷となります。増額の必要性やその背後にある具体的な計画について透明性が不足している場合、市民は理解しにくくなります。まずは既存の予算を有効活用し、効率的な経費削減や他の資金調達手段を検討することが求められます。市民の声や意見を適切に取り入れ、負担の軽減を図る方策を模索していただくことが望ましいです。	介護保険料
247	市民説明会等			所得段階を見直した上で、今までの基金を取り崩して100円の値上げに抑えているというのはよく理解するが、本当にこれでいいのか。特に非課税世帯の区分については、本人が非課税でも家族が課税の場合などがある。非課税者があらゆる場面で優遇されているので、非課税・課税での区分分けに疑問がある。	介護保険料
248	郵送	太白区	75	介護保険料について24日朝日新聞朝刊3面「厚労省社会保障審議会部会」発表掲載。今回の資料から変動するものと理解できました。	介護保険料
249	メール			仙台市の介護保険料は3年ごとに引き上げられ、介護保険制度創設時である平成12年度の月額基準2,863円の2倍以上になります。際限のない保険料の引き上げは、物価高騰等に苦しむ高齢者の家計をじりじりと圧迫しています。所得により介護保険料を支払えない高齢者も増えているのが現状としてあり、介護保険制度への信頼を揺るがしかねない問題です。保険料の高騰を抑えるためには国の負担割合を大幅に引き上げることでしか実現できません。仙台市として国に対し国の負担割合を引き上げるよう求めるべきです。また、剰余分の積み立て基金の活用により、第9期の保険料の引き上げを抑制することになりましたが、介護保険事業財政調整基金の減少は将来の保険料の値上がり要因にもなりかねません。介護保険事業財政調整基金の活用について方向性を計画に明記すべきです。	介護保険料
250	メール			仙台市の介護保険料は3年ごとに引き上げられ、介護保険制度創設時である平成12年度の月額基準2,863円の2倍以上になります。際限のない保険料の引き上げは、物価高騰等に苦しむ高齢者の家計をじりじりと圧迫しています。所得により介護保険料を支払えない高齢者も増えているのが現状としてあり、介護保険制度への信頼を揺るがしかねない問題です。保険料の高騰を抑えるためには国の負担割合を大幅に引き上げることでしか実現できません。仙台市として国に対し国の負担割合を引き上げるよう求めるべきです。また、剰余分の積み立て基金の活用により、第9期の保険料の引き上げを抑制することになりましたが、介護保険事業財政調整基金の減少は将来の保険料の値上がり要因にもなりかねません。介護保険事業財政調整基金の活用について方向性を計画に明記すべきです。	介護保険料
251	市民説明会等			介護保険料の算定は国と連動してのものか。	介護保険料
252	電子申請	太白区	40	<p>尊敬される行政の皆様へ、</p> <p>私は介護保険料を支払っている一介の市民であり、この機会を借りて、介護保険制度に対する不満や疑問、特にその周知不足に対する懸念をお伝えしたいと思います。この手紙は、利用者や支払い者としての経験から生まれる様々な課題に焦点を当て、より効果的で透明性のある介護保険制度を実現するための提案も含みます。</p> <p>まず第一に、介護保険料に対する理解と周知が不足していると感じています。保険料を支払う私たち市民が、どのようなサービスや制度に対して貢献しているのかが明確でないことがあります。透明性を重視し、保険料がどのように運用され、地域社会にどのような影響をもたらしているのかを広く知らせる努力が求められます。これによって市民は、支払った保険料がどのような価値を生み出すのか理解し、より積極的な参加が期待できるでしょう。</p> <p>次に、介護保険制度においては、サービスや福祉の充実度にばらつきがあると感じています。地域差やサービスの質に一貫性がなく、同じ介護保険料を支払っているにも関わらず、地域によって提供されるサービスに格差があることが不満です。均等なサービス提供がなされるよう、制度全体の改善が望まれます。また、介護保険を利用する際の手続きが複雑であると感じ、もっと使い勝手が向上するような改善策が求められます。特に高齢者や介護が必要な方々にとって、手続きの簡素化は大きな助けになるでしょう。</p> <p>さらに、介護保険制度の周知が不足していることが大きな問題です。特に若い世代や初めて介護保険料を支払う方々に対して、制度の利点や使い方についての情報提供が十分ではないと感じています。行政は積極的な広報活動を行い、市民が介護保険について理解を深め、将来に備えられるようにする必要があります。これによって、市民は介護保険が自分や家族にとってどれほど重要なものかを理解し、より積極的に参加できるでしょう。</p> <p>また、介護保険料の増額に関する情報が事前に不十分であると感じます。予測できない増額により、生計が困難になる可能性があるため、これについての情報提供や十分な説明が必要です。透明性と予測可能性を確保することで、市民は財政計画を立てやすくなり、生活に対する不安が軽減されるでしょう。</p> <p>最後に、介護保険制度の将来への展望や改善策についても不安を感じています。高齢化社会が進む中で、介護ニーズはますます増加しています。この状況に適応し、持続可能な介護保険制度を確立するためには、将来の課題や計画について市民に対して明確に伝える必要があります。これによって市民は、将来にわたる介護サービスの安定性や質の向上に期待を寄せ、制度への信頼感が生まれるでしょう。</p> <p>総じて、介護保険料を支払っている市民として、制度の透明性、均等性、手続きの簡素化、広報活動の充実、費用の予測可能性、将来への展望に関する不満と懸念があります。行政の皆様におかれましては、これらの課題に真摯に向き合い、市民の期待に応えるための改善策を検討いただければと切に願っています。将来にわたって持続可能かつ効果的な介護保険制度を築くために、行政と市民が協力し、共に歩んでいけるよう期待しております。</p>	介護保険料

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
253	電子申請	青葉区		介護保険料は適切に使われているのか。市役所職員が決めているということは、余剰金は職員の懐に入っているはず。説明責任を果たせ	介護保険料
254	電子申請	青葉区	46	<p>介護保険料を支払っている住民としての私たちの気持ちは、複雑でありながらも重要なものです。この料金は、将来の介護サービスへの備えとして支払われていますが、その一方で様々な感情が交錯しています。</p> <p>まず、私たちは介護保険料の支払いに対して、将来の不安や不確実性を感じています。高齢化社会が進むなかで、介護の必要性が増えることは理解していますが、その具体的なサービスや支援がどのように提供され、自分や家族がどのようにサポートを受けることができるのか、それが十分に理解できていない現実があります。</p> <p>同時に、介護保険料の増額に対しては経済的なプレッシャーを感じています。生計を立てる上での課題や他の生活費とのバランスを保つことが難しくなっています。増額に伴う生活の変化や予測できない負担に対して、適切な説明や予測可能性の向上が期待されます。</p> <p>一方で、介護保険料の支払いは将来の自分や家族への安心感も生むものです。万が一に備え、介護が必要になったときに、制度が提供するサービスに頼れることは心強いものです。支払った料金が地域社会の介護インフラの向上に寄与し、安心して暮らせる環境づくりに貢献できることを期待しています。</p> <p>また、介護保険料の支払いが、地域社会への貢献でもあるという認識もあります。地域の高齢者や障がい者への支援が充実することで、共に住む地域社会全体が健康で支え合いのある場所になることを期待しています。そのためには、介護保険制度が公平かつ透明で、地域において均等にサービスが提供されることが不可欠です。</p> <p>このような複雑な感情が介護保険料を支払っている住民たちの中に存在しています。私たちは、将来の介護に対する備えとしての一環として料金を支払っていますが、その対価として透明性やサービスの向上を期待しています。介護保険料の支払いは、個々の生活状況や家族構成によっても異なるため、行政や制度の改善が求められると同時に、市民への情報提供や理解促進も重要です。将来にわたり、より良い介護サービスと、安心して生活できる社会が築かれることを願っています。</p>	介護保険料
255	電子申請			<p>尊敬する自治体の関係者の皆様へ、私は介護保険料を支払っている住民として、制度に対する不安や不明瞭な点について心からの思いをお伝えしたいと考えています。この手紙は、制度への理解不足や周知不足に対する不安感、そしてより透明性のある情報提供を求める住民たちの共通の気持ちを代弁し、改善への期待と要望を述べています。</p> <p>まず、私たち支払者は介護保険料を納めているものの、制度に対する理解が追いついていないと感じています。具体的なサービスや制度の仕組み、また将来的にどのようなサポートが期待できるのかといった情報が不足しています。これが私たちを不安に陥れ、介護保険料の支払いが抽象的なものとなっている原因と言えるでしょう。自治体はもっとわかりやすい情報提供を行い、住民が自身の将来を見据えられるようサポートしていただきたいと考えています。</p> <p>同時に、介護保険料の増額についての情報提供が十分でないと感じています。増額に関する予告や説明が十分になされないまま、料金が上がることで生計に対するプレッシャーが生まれています。将来のために支払いをしていると理解していますが、その変動が予測できず、生活費に影響が出ることにに対する心配が頭をよぎります。これに関しては、より透明性のある料金体系や増額の予測を知らせていただきたいと切に願います。</p> <p>また、制度にはサービスの格差や手続きの煩雑さがあるように感じます。地域によって提供されるサービスが異なり、また手続きが複雑であることが、利用者としての私たちを混乱させています。特に高齢者や障がい者にとって、シンプルで分かりやすい手続きは喜ばしいことです。制度全体の均等性や使いやすさを向上させ、住民が自分のニーズに合ったサービスを利用しやすくなるよう取り組んでいただきたいと思っています。</p> <p>さらに、制度への周知が不足していることが大きな問題です。特に若い世代や初めて介護保険料を支払う方々に対して、制度の利点やメリットについての情報提供が行き届いていないように感じます。介護が必要になった場合にどのようなサポートが得られるのか、自身が支払っている保険料の価値を理解できるような啓発活動が求められます。自治体は、より積極的に効果的な広報活動を行い、住民が制度に関する理解を深めるサポートが必要です。</p> <p>また、介護保険制度は将来もっと重要な存在になると考えられます。高齢者が増加する中、介護サービスの需要も増すことが予想されます。これに備え、制度の将来への展望や改善策についての情報提供が不足していると感じます。将来の介護サービスに対する安心感や期待が高まるよう、自治体は今後の展望についても住民に対して透明性をもって伝えていただきたいと思っています。</p> <p>総じて、介護保険料を支払っている住民たちは、制度に対する不安や疑問を抱えています。同時に将来への備えとして期待も寄せています。透明性のある情報提供、料金の予測可能性、手続きの簡素化、均等性の向上、そして将来への展望についての明確なコミュニケーションが、住民と自治体との信頼関係を築く鍵となるでしょう。私たちは、より健全で理解しやすい介護保険制度を築くために、自治体と協力し、対話を重ねていきたいと考えています。</p>	介護保険料
256	電子申請			今後の保険料の目安20年程度を出してほしい	介護保険料
257	電子申請			95ページで所得が低い方への対応を記載しているが、所得が高い市民への対応は何もないのか。このような不公平を許すわけにはいかない。	介護保険料
258	電子申請		65	なぜ介護保険料や敬老乗車証ばかり値上げされるのか。我々は働いていない弱者だ金額が高すぎるので職員等を減らして金額を安くせよ	介護保険料
259	電子申請			介護保険料は毎年上がり続けているが、いかがなものか	介護保険料

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
260	電子申請	泉区	56	<p>**介護保険料の値上げに反対する論考** 近年、物価高やコロナ禍によって多くの市民が生活に厳しい状況に直面しています。その中で、介護保険料の値上げが提案されていますが、これには強い反対の声が上がるべきです。以下に、その理由を詳細に述べた論考を示します。</p> <p>### 1. **生活負担の増大** 物価高やコロナ禍により、既に多くの市民が生活の充実度や安定感を失っています。介護保険料の値上げは、生活負担の更なる増大を招くことになり、経済的に厳しい立場にある市民にとっては過酷な状況をもたらすでしょう。生活費がますます圧迫されるなかで、介護保険料の増額は生計維持の難しさを一層増幅させることとなります。</p> <p>### 2. **経済的な不平等の拡大** 介護保険料の値上げが実施されると、その影響は経済的な不平等を拡大させる可能性があります。特に低所得層や困難な状況にある市民にとっては、保険料の増加がますます負担となり、経済格差がより広がるのが懸念されます。公共サービスへの平等なアクセスを実現するためには、経済的な負担の平準化が不可欠です。</p> <p>### 3. **社会的連帯感の低下** 介護保険料の値上げが進むと、市民の中で社会的な連帯感が低下する危険性があります。保険料の増額によって経済的な負担が増すことで、市民が公共サービスへの信頼を喪失し、社会全体の連帯感が弱まる可能性があります。社会的な公正や共感が欠如すると、市民は協力しにくくなり、社会全体が機能しづらくなるでしょう。</p> <p>### 4. **他の財政手段の模索** 介護保険料の値上げが不可避とされるならば、他の財政手段の模索が不可欠です。たとえば、予算の見直しや無駄の削減、税制改革など、様々な方法が考えられます。単に市民に負担を求めるだけでなく、より公正で効果的な財政手段を採用すべきです。</p> <p>### 5. **効果的なサービス提供の確認** 介護保険料が増加する場合、その対価として市民はより効果的で質の高い介護サービスを期待するでしょう。介護保険料の増加によって提供されるサービスが本当に市民の期待に応えるものであるか、その効果的な提供が確認されるべきです。適切な対価を支払っている市民には、十分なサービスが提供されることが求められます。</p> <p>### 6. **市民への説明とコミュニケーションの強化** 最も重要なのは、市民への説明とコミュニケーションの強化です。介護保険料の値上げがなぜ不可避であるのか、どのようにその資金が使われ、市民の生活や社会にどのような影響を与えるのか、これらの情報を透明かつ分かりやすく提供することが必要です。市民がその必要性や意義を理解し、賛同できるように説明が求められます。</p> <p>### まとめ 介護保険料の値上げは、生活の厳しさが増す中で市民にとって大きな負担となり得ます。これには生活負担の増大、経済的な不平等の拡大、社会的連帯感の低下などの懸念が伴います。審議会や政府は、市民の利益を最優先に考え、他の財政手段の模索や適切なサービス提供、そして十分な説明とコミュニケーションの強化を通じて、公正かつ合理的な介護保険料の運用を検討すべきです。</p>	介護保険料
261	電子申請	青葉区		人口は減っているのに保険料を増額する理由がわからない。もうちょっと考える増税反対	介護保険料
262	電子申請	青葉区	26	介護保険料の値上げに反対です。昨年も余っているのに、それを基金にし、今年また値上げとは、甚だおかしいことであり、理由がありません。絶対に反対です。その理由をはっきり市民に説明するべきです。	介護保険料
263	電子申請	宮城野区	56	介護保険料があがるのは納得できる理由が足りない思います。基金にお金を入れるのではなく、正しく介護保険のみに利用してください。	介護保険料
264	電子申請	泉区	7	介護保険事業は黒字なのに、何故保険料を上げるんですか。 高い保険料を払っても、なかなか利用できない状況で高額所得者の負担割合を見直してください。	介護保険料
265	電子申請	青葉区	54	保険料段階を増やし、より応能負担とすること。	介護保険料
266	電子申請	宮城野区		保険料の本市独自減免の対象者を拡大し、拡充すること。	介護保険料
267	電子申請	太白区	69	生活困窮による滞納者には、救済措置を講じること。	介護保険料
268	電子申請			全国的に高齢者が増加しています。高齢者になれば生活は年金がメインとなります。その年金額も減額されるばかりで政府の「全国民型社会保障」に基づいて「地域包括ケア計画」が作成されたと思います。貧苦者負担ということは、何でも貧苦者に負担させるという古い考え方を踏襲するのは如何なものでしょうか？今でさえ、収入が足りない方々は、病院に行くことも出来ず、又皆、我慢しているとも聞きます。ムダな税金の使い方をやめて、本当に必要な所に予算配分することなど考えないのでしょうか？それから高額所得者のみを優遇するのか納得できません。所得税の累進課税にして、収入の多い方から何故、徴収することをしないのか分かりません。弱者いじめは、止めてもらいたい。持てる人々から徴収することを何故、実行できないのか理解できません。しかも保険料基金の収支はクロ字なのに何故保険料を上げるのかつじつまが合いません。暮らしやすさを再考し、保険料値上げに反対します。	介護保険料
269	電子申請		70代	介護保険はまだ介護利用をしていませんが、70代後半なので関心があります。二人で保険を支払うとかなりの保険料になるので高いと思っていました。しかし、再度値上げが行われる事には、大反対です。	介護保険料

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
270	電子申請			介護保険料の値上げは反対です。いまコロナで大変です。主人もデイケアを利用していますが、コロナの景響で利用者も少なくなっています。高齢者、障害者弱い立場の人たちは、収入も少なく生活が困難です。音楽ホールや施設などに予算がかかるならもっと高齢者の社会福祉や障がい者のために予算まわしてください。介護保険を安くしてください。安心して豊かな生活ができるようにしてください。お願いします。	介護保険料
271	電子申請			・基金があるのに、何故それを使わない。	介護保険料
272	電子申請		八十八	お金持ちの方から、負担額を増やして。ひとくりに高齢者が増加するからと勝手に見直ししてほしくない。	介護保険料
273	電子申請	太白区	135	何でも上がりますね。国民年金ぐらしには痛手です。特に介護保険はこれから年をとっていき我が身には心配の種です。現在82才ですが、75才を過ぎた頃から、風邪をひきやすく、すぐにくらびけががたえません。骨折で入院もしまして、現在も通院中です。もう3年ちかく薬と注射の日々。薬代、病院の支払うお金が段々多くなります。この上介護保険や、物価が上がりますと、生活に支障をきたします絶対反対！！	介護保険料
274	電子申請	泉区	695	介護保険料が高くなりすぎ負担が大変です。これ以上値上げしないで下さい。介護保険料の減免制度をつくるよう国に要望すべきであり、市としても減免適用基準を緩和して、多くの人が適用できるようにして下さい。	介護保険料
275	電子申請			介護保険料の値上げをやめて下さい。決算黒字を活用して、介護保険料の値上げをやめ、保険料減免制度を拡充すべきです。	介護保険料
276	電子申請	青葉区	39	介護保険は利用しないので保険料は払いたくない	介護保険料
277	電子申請	青葉区		年金から保険料が勝手に引かれていた。私の年金を返してほしいです	介護保険料
278	電子申請	青葉区	104	96ページの保険料の段階をもっと細かく設定して欲しい。 高齢者から税金をとるのはやめてください	介護保険料
279	電子申請	青葉区	999	介護保険料をもっと増額する ↓ 予算が増える ↓ 介護職への補助金が増える ↓ 介護職が増え、人材難が解消される ↓ 職員が増えるため、質の良い介護サービスができる ↓ 介護者の満足度が上がる ↓ もっと保険料を払いたくなる	介護保険料

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
280	電子申請	宮城野区	41	<p>なぜ介護サービスを使っていない40代から介護保険料を徴収するのか不明。</p> <p>深刻な問題に直面している市民たちが、介護保険料が無駄に使われている現状に対して悲痛な叫びを發しています。これは、システムの不備や適切なサービス提供の不足により、本来の目的である高齢者や障害者の介護に使われるべき資金が効果的に活用されていないことを反映しています。</p> <p>無駄な支出と市民の悲痛な声</p> <p><input type="checkbox"/> 行政の不透明性 <input checked="" type="checkbox"/> 介護保険料の徴収や使途が不透明であるため、市民はどのように資金が使われているのかを理解できていない。透明性の欠如が市民の不信感を生んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業者への適切な支援不足 <input checked="" type="checkbox"/> 介護サービス提供事業者が適切な支援を受けられず、質の高いサービスの提供が難しい状況が見受けられる。市民はこの点に強い不満を抱いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 防災への不十分な投資 <input checked="" type="checkbox"/> 防災や地域づくりに介護保険料が充てられていないため、高齢者や障害者がより良い状態で自立できるような環境づくりが進んでいない。 <input checked="" type="checkbox"/> 適切なケアの提供不足 <input checked="" type="checkbox"/> 介護保険料が適切なケアに充てられていないため、高齢者や障害者が本当に必要なサービスを受けられていない。市民はこれに強い不安を感じている。 <input checked="" type="checkbox"/> 経済的な負担の重さ <input checked="" type="checkbox"/> 介護保険料の増額や負担の重さが市民にとって大きな負担となっており、その割に効果的なサービスが受けられていないとの不満が広がっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急時対応の不足 <input checked="" type="checkbox"/> 災害時や緊急時において、介護サービスの迅速な提供が難しい状況が見受けられ、市民は安心感を欠いている。</p> <p>改善すべき課題</p> <p><input type="checkbox"/> 透明性の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 行政が介護保険料の使途を透明かつ分かりやすく公開し、市民がどのように貢献しているのかを明確に伝えるべきである。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業者へのサポート拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 介護サービス提供事業者に対する支援策を拡充し、質の高いサービスが提供される環境を整えるべきである。 <input checked="" type="checkbox"/> 防災への投資増加 <input checked="" type="checkbox"/> 介護保険料の一部を防災や地域づくりに充て、高齢者や障害者がより良い生活を送れるような環境整備を行うべきである。 <input checked="" type="checkbox"/> 適切なケアの充実 <input checked="" type="checkbox"/> 介護保険料を適切なケアに充て、高齢者や障害者が本当に必要なサービスを受けられるようにするべきである。 <input checked="" type="checkbox"/> 負担の軽減策の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 介護保険料に関する負担軽減策を検討し、市民が経済的に安心して貢献できる仕組みを整えるべきである。 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急時対応体制の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 災害時や緊急時における介護サービスの迅速な提供を確保するため、適切な体制を整え、市民の安全を確保するべきである。</p> <p>市民の期待と未来への展望</p> <p>市民はこれらの問題点に対して、真剣な改善策の検討と実行を期待しています。介護保険料の無駄遣いが続くことで、高齢者や障害者だけでなく、支払いを続ける市民も不安と不満に直面しています。将来を見据え、より効果的で公平な介護保険制度の構築が求められています。</p>	介護保険料
281	電子申請		70	<p>保険料が安い 高いと言ってる奴はしっかり働いていないやつ 保険料が安いのもっと値上げしろ。 いくらでも払う</p>	介護保険料

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
282	電子申請		137	<p>お世話になっております。今般、介護保険料の見直しについての意見を述べたく、ご一読賜りたく存じます。</p> <p>高齢化が進む中、介護サービスの充実が不可欠となりつつあります。私は、介護保険料の値上げが必要であると考えており、その背景や効果的な用途についてご理解いただきたいと願っております。</p> <p>介護保険料が増額されることで、介護職員の充実な報酬、施設の改善、そして利用者により質の高いサービス提供が期待されます。これにより、地域全体の福祉と生活の充実度が向上すると確信しております。</p> <p>しかしながら、その際には透明性と公平性が確保されるべきであり、住民に対しても十分な説明と情報提供が行われることが肝要です。地域住民が介護保険制度の変更に理解を示し、共感を抱くことができるよう、十分な配慮をお願いいたします。</p> <p>最後に、地域全体の発展を見据え、介護保険料の増額をぜひ実現していただきたく、心よりお願い申し上げます。</p> <p>貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。</p>	介護保険料
283	電子申請	泉区	7	<p>介護保険などの社会保険料をとにかく引き下げてください。そのうえでさまざまな諸問題の解決にあたってください。人間の命をおろそかにして社会や国の発展はありません。</p> <p>それでもどうしても上げるといふならば、「安楽死法案」の成立を検討ください。個人負担を増やしたら生きていけません。矛盾を承知で懇願いたします。お願いします。</p>	介護保険料
284	電子申請			<p>高齢者は税金や介護保険料で金がなくなり、今まで住んでいた家を泣く泣く手放している。サービスを利用していないのに支払わせるのは不公平ではないか。</p> <p>市役所は誰も助けてくれない</p>	介護保険料

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
285	電子申請			<p>**介護保険料の値上げの理由**</p> <p>介護保険料の値上げは慎重かつ繊細な問題であり、社会的な影響が大きいため、その理由は慎重に検討されるべきです。以下では、介護保険料の値上げが提案される理由について詳細に探究していきます。</p> <p>### 1. **高齢化社会の到来**</p> <p>現代社会は急速に高齢化しており、高齢者の増加が介護ニーズの拡大をもたらしています。高齢者が増加する中、介護サービスの需要も増加しており、それに伴い介護保険料の適切な資金確保が求められています。高齢者の数が増加すれば、介護保険料の充実、社会全体の健康な機能に不可欠です。</p> <p>### 2. **介護サービスの充実度向上**</p> <p>介護保険料の値上げは、介護サービスの質と範囲を向上させるための資金確保を意味します。高齢者の増加に伴い、より多くの人々が介護サービスを必要としています。これに対応するためには、より多くの資金が必要であり、介護保険料の値上げはその資金確保の手段として検討されるのです。</p> <p>### 3. **労働力不足と介護人材の確保**</p> <p>高齢化社会において介護人材の需要が急増している一方で、介護人材の確保が難しくなっています。介護職の特殊性や労働環境の厳しさが影響して、十分な介護人材が確保できない実情があります。介護保険料の値上げは、介護人材に対する適正な報酬を確保し、労働環境を改善するための資金を提供する手段とされています。</p> <p>### 4. **医療技術の進化と介護の高度化**</p> <p>医療技術の進歩により、高度な介護が可能になっています。しかし、これには追加の費用がかかります。例えば、医療機器の導入や専門的な訓練を要するスキルの向上があります。介護保険料の値上げは、これらの高度な介護サービスの提供に必要な資金を確保する一環として検討されています。</p> <p>### 5. **社会保障制度の持続可能性確保**</p> <p>介護保険制度は社会保障の一環であり、その持続可能性を確保する必要があります。高齢者の数が増加し、医療や介護の進歩に伴いサービスの需要が増すなかで、介護保険料が将来的な制度の持続に資する役割が期待されます。</p> <p>### 6. **予防的・総合的なアプローチの強化**</p> <p>介護保険料の値上げは、予防的なアプローチや総合的な介護サービスの提供を強化するための資金を確保します。高齢者がより早い段階で適切な介護を受け、予防措置が行われることで、将来的な介護の負担が軽減されることが期待されます。</p> <p>### 7. **経済的な安定と社会的な連帯強化**</p> <p>介護保険料の値上げは、制度全体の経済的な安定をもたらす、社会的な連帯感を強化することが期待されます。安定的な資金確保により、介護サービスの提供が安定し、社会全体が安心して老後を迎えることができる状況が築かれます。</p> <p>### まとめ</p> <p>介護保険料の値上げが提案される理由には、高齢化社会、介護サービスの充実度向上、介護人材の確保、医療技術の進化、社会保障制度の持続可能性、予防的・総合的なアプローチの強化、経済的な安定と社会的な連帯強化などが挙げられます。これらの理由は、将来の社会を支え、高齢者や介護を必要とする人々が健康で安心して生活できるようにするための戦略として検討されています。</p>	介護保険料
286	電子申請			<p>市独自の減免は、第4段階の人にしか行っていないということ、他の第1段階から16段階の人の減免を行っていないのは不公平だ。 天下りの対象か</p>	介護保険料
287	電子申請		137	<p>今後高齢者人口が激増するということは、費用も激増するのではないかと先を見据えて早めに高額な保険料を徴収すべき。仙台市の適当な計画のせいで資金不足が起こってしまいそう。2025年問題に向けて早く介護保険料の安全余裕率を達成してほしい。</p>	介護保険料
288	電子申請			<p>あと市職員も数いっぱいいるのに仕事してないので解雇してその分介護保険料にお金回してください</p>	介護保険料
289	電子申請	泉区	7	<p>介護保険の基金を活用するなど、あらゆる手立てを講じて保険料負担の軽減をはかること。</p>	介護保険料

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
290	電子申請			私は年金生活者ですから、収入は年金のみです。毎年目減りしている年金から自動的に介護保険料が引かれ、残った分から食費と医療費を賄うこととなります。歳を取ればどうしても医療費は増えます。他に必要な物を買う金がないため結局、1円でも安い食料品を選んで節約しています。それでも赤字になれば葬式費用に溜めたわずかな貯金を取り崩して生活費にあてています。介護保険料を約10%の値上を検討していることを知り、何も言えない私たちから、強引に金をむしり取るかのようなことは、弱いものに対する仕打ちではないかと考えてしまいます。私は、介護保険料の値上げに絶対反対です。	介護保険料
291	電子申請			過去の議事録を見ると保険料についての議論が全くなされていないと思う。中間案で意見が出なければ、このまま静かに保険料が決まるのか。物価高で生活が苦しいのに保険料を下げる議論は行なってほしい。	介護保険料
292	電子申請			保険料とっても安いです。もっと高くしてください	介護保険料
293	電子申請		137	介護保険は全員が利用しているサービスだと思う。なのに人によって保険料を段階的に変えているのには疑問。一人一人の向き合った段階設定の細かい保険料にして公平な制度をしてほしい。	介護保険料
294	電子申請	青葉区	40	仙台市は高齢者を増やしたいのか減らしたいのかわからない。どちらなのか、教えてください	その他
295	電子申請	青葉区	60	近隣の自治体に意見を聞くと、やはり仙台市が一番安心して生活しやすいという感じである。これ以上とは言わないが、現状を維持していただけたら有難い。	その他
296	電子申請	若林区	90	高齢者とは誰の事を言うのか	その他
297	市民説明会等			市民説明会の参加者が少ない。事前の周知が少ないのではないか。	その他
298	郵送	太白区	75	市民説明会の参加者が少人数であったことについて、本市の高齢者保健福祉・介護保険事業の施策に理解と満足を得ている市民が大多数であると考えられる証である。席上意見を述べさせていただいたが帰途強く感じました。	その他
299	電子申請	青葉区	54	令和5年11月15日の第9回審議会の議事録が公開されていない。他の回は議事録があるのに、審議会の議事録を作成しないような、こういう隠蔽体質から改善すべきなのでは？	その他
300	電子申請	青葉区	60	敬老乗車証や県内病院の移転などニュースにたくさん高齢者関係のニュースがたくさん出るのに、介護保険のこの事業計画のニュースは全くニュースにならなかった。説明会が行われることも知らなかった。周知不足ではないか。	その他
301	電子申請	泉区	55	審議委員の欠席者が多すぎる。また傍聴者も0。これで広く意見を集めると言われても	その他
302	電子申請	青葉区	66	地域包括ケア推進課ってなんですか	その他

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
303	電子申請		42	<p>**審議会の委員の選任方法に関する論考** 審議会の委員の選任方法は、その性質や役割に応じて慎重かつ透明なプロセスが求められます。審議会は公共の利益を代表し、重要な意思決定に影響を与える組織であり、そのメンバーの選任は社会的信頼性や適正性が求められる重要な課題です。以下に、審議会の委員の選任方法について考察していきます。</p> <p>### 1. **透明性と公正性の確保** 委員の選任においては、透明性と公正性が優先されるべきです。これは、一般の市民が審議会の構成やメンバーの資格に理解を持てるようにするためです。透明性は、候補者の選考基準や採用プロセスを明示し、個々の意思決定がどのようになされたかが公にされることを指します。</p> <p>### 2. **広範な意見・専門性のバランス** 審議会が多様な意見を反映し、様々な専門性を有するメンバーで構成されるべきです。これにより、幅広い視点からの提言や助言が得られ、より健全な審議が期待できます。選任プロセスにおいては、公共の利益を代表できる個人が選ばれるよう、広範な広報や求人告知が重要です。</p> <p>### 3. **市民参加の機会** 市民は審議会の意思決定に影響を与える重要な利害関係者です。そのため、委員の選任においては市民参加の機会を提供することが肝要です。公開の求人広告や市民団体との協力を通じて、市民が候補者として応募できるような仕組みを築くことが望ましいでしょう。</p> <p>### 4. **専門性と経験の考慮** 審議会の性格によりませんが、特定の専門性や経験が求められる場合、その要件を明確に定義し、選任において優れた専門性を有する人材を招聘することが重要です。これにより、的確な意思決定が可能になります。</p> <p>### 5. **公職選挙との違いを理解** 一般の市民と異なり、審議会の委員は通常、公職選挙で選ばれるわけではありません。そのため、審議会の選任プロセスは選挙とは異なる特有のルールや基準に基づいていることを理解しておく必要があります。ただし、市民が候補者に対して十分な情報を得られるようなプロセスが重要です。</p> <p>### 6. **中立性と利益衝突の防止** 委員の中立性は、公正で透明な審議を実現する上で不可欠です。そのため、委員の選任においては、潜在的な利益衝突に対処するメカニズムや規定を整備する必要があります。例えば、金融や産業などの特定の分野での経験者が委員になる場合、利益衝突の可能性を考慮し、対応策を明示することが求められます。</p> <p>### 7. **委員の教育とトレーニング** 審議会の委員には専門的な知識が求められることがあります。そのため、選任後には必要な知識やスキルを補完できるような教育プログラムやトレーニングを提供することが望ましいです。これにより、委員が業務に対して適切に対応できるようになります。</p> <p>### 8. **外部評価の導入** 委員の選任プロセスにおいて、外部からの評価や監査を導入することで、公正性や透明性が担保されます。外部の専門家や独立機関によるレビューが、市民の信頼を築く要因となります。</p> <p>### 9. **再選や任期制限の導入** 委員の再選や任期制限を設けることで、新たなアイデアや視点を取り入れつつ、権力の集中を防ぐことが可能です。これにより、審議会の健全な機能を保つことが期待されます。</p> <p>### 10. **候補者プールの多様性** 委員の選任においては、候補者プールの多様性を確保することが望ましいです。性別、年齢、民族など様々な要素から成る多様な候補者が、より広範な市民の利益を代表できるようになります。</p> <p>これらのポイントを踏まえ、審議会の委員の選任プロセスを慎重に構築することが、公正で効果的な意思決定を促進し、地域社会全体の発展に寄与するでしょう。</p>	その他
304	電子申請			これまでの審議会の議論では課長さん達の逃げる姿勢が目につきました。	その他
305	電子申請			実際にケアすると、医療、介護、税金、市区町村サポート、家計、相続など解決しなければならない課題が多岐にわたることを実感しています。介護はケアマネージャー、医療はかかりつけ医、市区町村は各自自治体などなど、各課題をケアする自分達が手続きをすることになります。しかし、自分達の知識不足もあり、勉強しつつ、人づてに聞いたりしながら、いろいろな手続きをしている現状です。もしこれらすべてを総合的に網羅的に、ファイナンシャルプランナーのようなアドバイスしてくれるコントローラー（仮称シルバープランナー）のような方がいればとても安心できると思っております。介護、医療、税金、相続、パーソナルファイナンシャルなど一気通貫で支援アドバイスしていただける仕組みの構築をお願いします。	その他
306	電子申請	泉区	59	区民説明会をやって下さい。	その他
307	電子申請	青葉区	60	審議会に携わるものは選挙で選ぼう	その他

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
308	電子申請			中間案の冊子をもらいに行ったら、窓口でそんなものは無いと言われた。冊子の配布はしてないのですか	その他
309	電子申請	泉区	40	これは一言一言いじらずに掲載するこ 計画中間案に関する意見募集を無報酬で行うことに対して、抗議の声をお伝えいたします。意見の提供は時間と知識の投資であり、その価値は無視されるべきではありません。専門的な意見やアイデアは社会全体の発展に寄与しますが、無報酬での募集はその貢献を適切に評価しないものとなります。 多岐にわたる議論や提案を得ることは、計画の質を向上させる上で極めて重要です。しかし、参加者が報酬を得ないまま意見を寄せることは、その価値を適切に評価されていない状態となります。このような状況では、多くの有益なアイデアが見逃され、専門知識を有する人々が参加をためらうことが予想されます。 報酬を与えることは、提供された意見やアイデアに対する尊重と認識を示すものであり、コミュニティ全体の協力意欲を高める手段です。無償での参加を要請することは、専門家や関係者に対して不当な負担をかけ、公正な協力の場を提供しないものとなります。 計画における重要な意見募集は、社会の進展に直結するものであり、その過程においては適正な評価と報酬が付されることが求められます。皆様の貢献が適切に評価され、尊重されるよう、改めて報酬の導入を検討いただくことを強く提案いたします。 ご理解とご協力をお願いいたします。	その他
310	電子申請	宮城野区	70	高齢者だけでなく若者に関する計画も作成してはどうでしょうか	その他
311	電子申請	泉区	100	敬老乗車証の説明会は全部の区役所と市民センターとテレビとラジオでやっていますが、この計画は初めて知りました。市民に十分な説明をしないまま意見を求められても何も答えられません。お金が厳しいので保険料を下げてほしい	その他
312	電子申請	宮城野区	80	区民説明会をやって下さい。	その他
313	電子申請	青葉区		委員会で話し合った記録が見当たりません。	その他
314	電子申請	青葉区	60	羽生結弦くんが市のホームページに載っているのが今日初めて計画を見ました。意見を募集する期間が短いように思います。せめて2月中までは意見を募集し、最新の状況や意見を計画に反映させるべきだと思います。	その他
315	電子申請	青葉区	0	この計画中間案の開催が1回と言うのは少ない。説明する気概が感じられない。敬老乗車証は10回行っている。 この差が大きくなる。 また意見の募集期間も短い来年度の意見なのだから、遅くとも夏くらいから始めて、年越しで2月頃に意見募集終了するくらいじゃないと意見を集めることにはならないだろう。 市民に全く見せないまま意見を作り、説明会と意見募集をやってるふりして根拠のないそれっぽい数字並べるだけの市は楽な仕事ですね こちら介護事業者のことなんて何も分かってないのに	その他
316	電子申請	青葉区	62	計画を作る際は市民も含めて幅広く議論すれば良いのではないかと また市民委員に同じ人が何回もいるのだから、入れ替え等はしないのか 私も熱い議論をしたいです	その他
317	電子申請		42	委員の選任についても、どうやっているのかわからない。 同じ人が何回もやっているようだが、それで公平な議論がされるのか。 選考基準の公表や、1年ごとの入れ替えなどをして活性化させるなどの議論活性化に向けた取り組みを行うおう。 また、男性と女性の割合も不均衡だと思う。 仙台市は男女共同参画を推進しているのであれば、男女比が50%ずつになるのではないかと 男性を優遇している姿勢から見直すべきでは	その他
318	電子申請	泉区	56	敬老乗車証は各区役所で説明会があったようだが、この計画の説明はされていない。説明を行わず、市民の声を聞かずに計画を立ち上げるのか。	その他
319	電子申請	泉区	100	区役所や町内会に対してしっかり説明してはいかがでしょう。 他の自治体では住民に丁寧に説明しています。 私が現役の時は丁寧に対応していましたが今の役所には期待がもてません。	その他
320	電子申請			仙台市の計画に対するやる気や姿勢をぜひ見せてほしい。	その他
321	電子申請	泉区		高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違え事故が全国で起きている。仙台市は1件も起こさないよう対策をお願いします	その他
322	電子申請	若林区	20	高齢者のために未来ある若者が潰れていくのは見てられないです。改善よろしくをお願いします。	その他

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
323	電子申請	青葉区	68	安心して、老後がすごせるように。年金での暮らしは大変なんですヨ。	その他
324	電子申請		19	<p>ヤングケアラーについての記載がないように感じます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学業と家庭のケアの両立が難しい。 2. 精神的なストレスが常に存在する。 3. 疲労や睡眠不足が慢性的な問題となる。 4. 同年齢の仲間との交流が制限される。 5. 家庭内の責任が通常の若者よりも大きい。 6. 勉強や将来への不安が増加する。 7. 社会的な孤立感が生じやすい。 8. 心身の健康への影響が懸念される。 9. 通常の青年期の経験が制約される。 10. 家庭内での感情的な負担が重い。 11. 親の健康状態に関する心配が絶えずつきまとう。 12. 社会参加や学校行事への参加が難しい。 13. 親のケアにかかる負担が経済的な影響をもたらす。 14. 家庭の経済状況が不安定である。 15. 個々の感情や希望を抑えがちである。 16. 親の病気が進行することに対する心の準備が難しい。 17. 進学や進路選択において悩みや不安が生じる。 18. 通学や通院の移動手段に関する問題がある。 19. 親の介護に時間を費やすことが通常の生活を圧迫する。 20. 家族の中での役割が早期に担われる。 21. 将来の結婚や家庭を築くことが難しくなる。 22. 自己肯定感が低下しやすい。 23. 将来の職業や社会参加に対する不安が強まる。 24. 忙しさから運動や趣味の時間が取りにくい。 25. 精神的なケアを求める機会が少ない。 26. 親の病気に対する不理解や偏見に苦しむことがある。 27. 家庭内でのコミュニケーションが難しくなる。 28. 兄弟姉妹との関係が複雑化する。 29. 家族の問題が学業や仕事に影響を及ぼすことがある。 30. 健康や安全に関する懸念が絶えない。 31. 他者に理解されにくい特殊な状況である。 32. 緊急事態が頻繁に発生する。 33. 将来の不確実性に対する不安が強まる。 34. 他の家族との交流が限定的である。 35. 自身の将来に対する夢や目標が制約される。 36. 家族の健康状態により友人との関係が難しくなる。 37. 将来のキャリアプランに対する制約が生じる。 38. 親の治療やケアに関する情報収集が難しい。 39. 自分の感情やストレスを適切に表現する機会が限られる。 40. 家庭の中での非常時の対処が求められることがある。 41. 親の病気に対する誤解や認識のずれが生じる。 42. 親の意志や要望を理解することが難しい。 43. 家族の中での助け合いが求められるが、そのバランスが難しい。 44. 学業や仕事において適切なサポートが得られにくい。 45. 親のケアが急に必要になることがあり、予測が難しい。 46. 親の入退院に伴う変動が生活の安定を脅かす。 47. 親の病気により家庭のルールや構造が変化する。 48. 健康状態が不安定である親に対する看病が必要な場合がある。 49. 家族全体の心理的な健康に影響を受ける。 50. 親の病気に関する情報が得られる場が限定される。 <p>等々大変です。</p>	その他
325	電子申請		19	<p>ヤングケアラーの項目を新設してください。 また委員にヤングケアラーを追加し、当事者の声を聞いてください。本当に大変なんです。</p>	その他
326	電子申請			高齢者の生きがいとは何なのでしょう。	その他
327	電子申請			高齢者が自分らしく生活するとはどういうことなのでしょう	その他
328	電子申請			<p>少子高齢化って何、 数少ない子供が高齢化するのか。だいたい何歳くらいから高齢化なのか 成人になったら高齢なの？ 計画作る前にまず単語の定義を決めようよ、</p>	その他
329	郵送			今回この報告書を偶然にも大野野老人福祉センターで見つけた。報告書発行のPRを拡大して欲しい。	その他
330	電子申請			市役所と区役所の介護保険課の違いは何か 電話するたびに間違えてします	その他
331	電子申請			ケアマネージャーではなくケアマネジャーです。 誤字気をつけてください	その他

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
332	電子申請			<p>Societal impacts are equally profound. With fewer young people, communities may face challenges in sustaining vibrant local economies, educational institutions, and cultural traditions. Intergenerational relationships and support systems may undergo transformations, affecting the social fabric of communities.</p> <p>**Potential Strategies for Mitigation:**</p> <p>Addressing the challenges of an aging population and declining birth rates requires comprehensive and innovative strategies. Policymakers, businesses, and communities must collaborate to implement solutions that promote sustainable demographic balance.</p> <p>1. **Family-Friendly Policies:** - Implement family-friendly policies, including subsidized childcare, parental leave, and flexible work arrangements, to alleviate the economic burdens associated with raising children.</p>	その他
333	電子申請			<p>2. **Education and Awareness:** - Launch educational campaigns to raise awareness about the importance of family planning and the benefits of maintaining a balanced age structure. Dispelling myths and misconceptions about fertility and parenthood can contribute to a more informed society.</p> <p>3. **Economic Incentives:** - Introduce economic incentives, such as tax breaks and financial support for families, to alleviate the financial strain associated with raising children. Affordable housing initiatives can also play a crucial role in encouraging family formation.</p> <p>4. **Promoting Gender Equality:** - Promote gender equality in the workplace to ensure that women can pursue both professional and family aspirations. This includes closing gender pay gaps, providing equal opportunities for career advancement, and challenging traditional gender roles.</p> <p>5. **Elderly Workforce Integration:** - Encourage the integration of elderly individuals into the workforce through measures like flexible retirement options, skills training programs, and promoting age-inclusive work environments. Leveraging the experience and skills of older workers can mitigate labor shortages.</p> <p>6. **Technology and Innovation:** - Harness technology and innovation to create solutions for elderly care, healthcare management, and assistive technologies. Investing in research and development in these areas can enhance the quality of life for elderly individuals and alleviate the strain on healthcare systems.</p> <p>7. **Community Engagement:** - Foster community engagement initiatives that promote intergenerational relationships and support networks. Programs that encourage collaboration between different age groups can strengthen social bonds and contribute to a sense of shared responsibility.</p> <p>8. **Global Collaboration:** - Encourage international collaboration to share best practices, research findings, and innovative solutions. Given that demographic challenges are a global phenomenon, cross-border cooperation can enhance the effectiveness of strategies and policies.</p> <p>**Conclusion:**</p> <p>The challenges posed by an aging population and declining birth rates are complex and multifaceted, requiring concerted efforts from governments, businesses, and communities. By implementing a combination of family-friendly policies, economic incentives, and innovative solutions, societies can navigate the demographic transition more effectively. Achieving a sustainable balance between generations is not only crucial for economic prosperity but also for maintaining the social fabric and well-being of communities in an ever-changing global landscape.</p>	その他

No.	方法	お住まいの区	年齢	中間案に関するご意見	分類
334	電子申請			<p>説明：一連の地域包括人的支援活動は支援者が被支援者の要望に応じて活動できることが前提で成り立つ。</p> <p>課題：被支援者が高齢化するだけでなく、支援側も高齢化により一連の活動が先細りになり社会的な損失の増大を招く。</p> <p>対策：一連の地域包括人的支援活動を継続させるためには、部を電子化し支援者の活動を軽減し補充すると共に新たなソフト・ハードが混在したシステムを開発・商品化により、実現できる。</p> <p>具体策：被支援者の生活状況を最低限の事故防止に限定して必要な支援者に視覚的通報し、最終的に未然に防止できる低価格システム開発を実施する。※現時点で実証実験中、名称：地域包括人的見守り支援機器「向こう三軒両隣」</p> <p>結果：一連の地域包括人的支援活動の継続を可能にし、社会的な損失を軽減できるだけでなく、支援者の経済的基盤を確立、継続でき、その結果、働き甲斐をもたらし、総合俯瞰的に正のスパイラルをもたらす。</p> <p>方法：行政やその地域高齢者支援窓口、民間企業がまずは最低限の情報による連携すれば実現できる。</p>	その他
335	電子申請			<ol style="list-style-type: none"> 1. 学業とケアの両立 学校や大学との連携により、柔軟な学習環境や特別なサポートを受けられるようにする。学業の計画を事前に立て、必要な場合は担当教員や学校のカウンセリングを活用する。 2. <input type="checkbox"/>精神的なストレス管理 カウンセリングやメンタルヘルスの専門家の協力を得て、ストレスの管理方法を学ぶ定期的な休息やリラクゼーション法の導入を心がける。 3. <input type="checkbox"/>睡眠と疲労の管理 睡眠時間を確保し、質の高い睡眠を得るための環境整備を行う。休息の時間を意識的に取り、適切なリフレッシュを図る。 4. <input type="checkbox"/>同年齢の交流の促進 ヤングケアラー同士の交流イベントやサポートグループを設け、仲間とのつながりを強化する。学校や地域でのサポートプログラムに参加する。 5. <input type="checkbox"/>家庭内責任の分担 家族や親とオープンにコミュニケーションを取り、家庭内の責任を共有する。親の状態に応じて、家族全体でタスクの優先順位を設定する。 6. <input type="checkbox"/>勉強と将来に向けたサポート 学校や大学での進路相談やキャリアセンターを活用し、将来の進路についてのサポートを受ける。学業と将来の夢を両立させるための効果的な計画を作成する。 7. <input type="checkbox"/>社会的な孤立感の軽減 サポートグループやオンラインコミュニティに参加し、他のヤングケアラーと交流する。学校や地域でのイベントやアクティビティに積極的に参加する。 8. <input type="checkbox"/>心身の健康の維持 健康的な食事、定期的な運動、ストレス管理技術を取り入れ、心身の健康をサポートする。定期的な健康診断や医療機関での相談を行う。 9. <input type="checkbox"/>通常の青年期経験の確保： 可能な限り通常の青年期経験を享受できるよう、自分自身への時間や趣味に積極的に取り組む。サポートが必要な場合、学校や地域のリソースを活用する。 10. <input type="checkbox"/>家庭内での感情的な負担の軽減： カウンセリングや心理療法を通じて感情を整理し、ストレスの原因を理解する。家族全体で感情を共有し、お互いに理解し合う環境を築く。 	その他
336	電子申請			<p>専門知識を有さない人たちでの話し合いのメリット：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>新しい視点とアイデアの発掘： <input type="checkbox"/>専門知識がない参加者は、問題に対して独自の視点からアプローチする可能性があります。これにより、新しいアイデアや創造的な解決策が生まれることがあります。 <input type="checkbox"/>共感と理解の向上： <input type="checkbox"/>専門外の人々が参加することで、専門用語や複雑な概念を避け、理解しやすい言葉でコミュニケーションが行われることがあります。これにより、参加者全体の理解と共感が深まります。 <input type="checkbox"/>包括的な視野：<input type="checkbox"/>専門知識がない参加者は、特定の視点に偏ることなく、様々な側面から問題を見つめることができます。これが、包括的かつ総合的な視野を提供する要因となります。 <input type="checkbox"/>コミュニケーションの促進： <input type="checkbox"/>専門知識のないグループでは、遠慮なく意見を交換することができ、異なるバックグラウンドを持つ人々がコミュニケーションを円滑に進めることが期待されます。 <p>専門知識を有さない人たちでの話し合いのデメリット：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>正確性の不足： <input type="checkbox"/>専門知識がない場合、提案されたアイデアや意見が不正確である可能性が高まります。これが、計画やプロジェクトの品質に悪影響を及ぼす可能性があります。 <input type="checkbox"/>専門性の要求： <input type="checkbox"/>特定の領域においては、専門的な知識が必要な場合があります。その場合、専門家でない参加者が必要な洞察を提供することが難しくなります。 <input type="checkbox"/>誤解や混乱： <input type="checkbox"/>専門知識のないグループでは、用語や概念の理解に誤解が生じる可能性があります。これがコミュニケーションの混乱を招く要因となります。 <input type="checkbox"/>解決策の制約： <input type="checkbox"/>一部の問題には、専門的な知識が不可欠である場合があります。そのような場合、専門性のないグループでは最適な解決策を見つけることが難しいことがあります。 <p>総じて、専門知識を有さない人たちでの話し合いは、新しいアイデアを生み出す可能性がありつつも、正確性や解決策の効果的な導入には制約が生じる可能性があります。バランスを取りながら、異なるバックグラウンドを持つ人々が共同で議論し、知識と経験を共有することが、最良の成果を生むでしょう。人材確保</p>	その他